

杜の都仙台で固い結束

第19回東北支部総会盛大に開催



▲東北管区警察局長 佐田泰業殿

▲宮城県警察本部長 金澤章夫殿

「第十九回東北支部総会並びに懇親パーティ」が去る一月二十五日(木)午後六時より「仙台国際ホテル」二階「平成の間」に於いて盛大に挙行された。

支部総会は評議員若尾泰三氏の司会で進められ、出席者は来賓として佐藤東北管区警察局長殿、金澤宮城県警察本部長殿をはじめ各県警察本部の幹部、並びに管区機動隊員、各県警察機動隊員等百四十名の参加を得、一方励ます会側は、本部を代表して鈴木本部理事長、支部役員、東北六県からの評議員、一般会員等約三百名の参加があり、広

い会場は熱気に溢れ、立錐の余地もないほど盛況であった。最初に東北支部長柴田秀次郎氏より「昨年は大震災、オウム、APECと県外派遣が多く、隊員の皆様のご活躍に心から感謝申し上げます。支部としても各県に副支部長を設けた等、一層支援活動を充実させたい」と挨拶があった。

次いで鈴木實理事長より、「県外派遣活動が広がる中、立派に警備を完遂されていることに対し深謝しております。後も激励と支援の輪を国民の間に広げていきたい。昨年は大震災のために延

期になったハワイ観察旅行もようやく実現することができたが、来年以降も続けていきたいので、頑張つて欲しい」と激励の言葉があつた。

次に来賓祝辞に入り、先ず東北管区内で機動隊員は集団警備力の中核として日夜努力している。本年も自衛隊PKO派遣に伴う警備等重要案件が林立しており、一致団結して任務を全うしていく」と力強い挨拶があつた。

次いで宮城県警察本部長金澤章夫殿が挨拶に立ち、「近年親しまれる警察という面がクローズアップされてきたが、昨年のように重大事件が頻発する中では、いざという時に頼りになることもての部分がやはり必要。機動隊員は治安維持の最後の砦としてその期待に応えていく」と決意表明された。

祝辞の後に、東北支部理事千賀孝氏の音頭により乾杯の杯が高々と挙げられた。そこで司会は勵ます会の石沢義久氏にバトンタッチされ、懇談パーティーに入つた。

今年はよりゆつたりと懇親の時間をとるためにアトラクションは取り止め、代わりにピアノ・テナーサックス・ドラムス・ベースによる生バンド「片倉加寿子とグッドワインズ」が会場の雰囲気づくりに大きく貢献し、大好評を博した。

会も佳境に入り、今年度より新設された各県毎の副支部長の紹介の後、恒例の「福引」が行われた。紹介に続いて、最初に支部を代表して東北支部長柴田秀次郎氏より「昨年は大震災、オウム、APECと県外派遣が多く、隊員の皆様の心から感謝申し上げます。支部としても各県に副支部長を設けた等、一層支援活動を充実させたい」と挨拶があつた。

次いで鈴木實理事長より、「県外派遣活動が広がる中、立派に警備を完遂されていることに対し深謝しております。後も激励と支援の輪を国民の間に広げていきたい。昨年は大震災のために延べて、お手伝いをさせていただいた事を覚えております。その後、はからずも千葉支部長を仰せつかり、以来四年目を迎えておりますが、その間も本部理事長を始め、各理事の方々並びに千葉支部の会員の方々のご指導ご支援を頂き、少しでも機動隊の皆様の心の支えになればと念じて、活動を広げております。そのため多くの人々は、警察官及び機動隊員の方々の心温まる陰の思い遣りのある守りがあることを忘れていいと思います。彼等、隊員の思い遣りのある陰の力を信じ、我々国民が平和な日々を過ごせる事を伏してお願いする次第です。

の世を花にするために」を合唱した。続いて青森県警察機動隊長佐藤正樹殿から謝辞が述べられ、東北支部評議員林福一氏の音頭で万歳三唱の後、若尾泰三氏の閉会の言葉をもってさしも盛大を極めた支部総会も終了を迎えた。



▲福引の様子

今月の言葉

姿となり、目を覆うばかりの惨状は、天を仰ぎ慟哭する毎日でありました。

その被害地をいち早く警察官及び機動隊員の皆様が、身命を賭しての救助活動があつたればこそ、被災地の人々の心も何等くじける事なく再建に邁進する事が出来たのであります。

私は、常日頃警察官および機動隊員の皆様が若しこの世に存在しないと想定した場合には、私達は自分で自身を守るしかないのです。

（理事・千葉支部長 浦一）



▲目録授与式の状況

全国優秀機動隊員を
警察事情視察旅行に招待

去る一月十九日、全国優秀機動隊員として表彰された七十名と、昨年、阪神・淡路大震災警備のため中止になつた七十名、計一四〇名の機動隊員に対し、励ます会は、現地の警察事情を視察して、今後の勤務に活用してもらうため、ハワイ旅行に招待し、無事終了しました。

十七日、突然神戸地区を中心に強大な地震に襲われ、人も家族も悲惨な思えば昨年は、年明け早々の一日

する店のものなしと、豊かな自然に育まれた素材の全てが、ゆとりと語らいの和をなごやかに拡げ、心と体で、その味わいを楽しむことができる。ある。

当隊にも、「深大寺そば」にゆかりを持つ(?)隊員の「腹の味覚」を十分に満たす「七機そば」があり、隊員から好評を得ている。

このように古い歴史と輝かしい伝統を持つ「深大寺の味覚」は、いつも最高の笑顔で楽しませてくれるのである。

私の故郷は、旭川市という所で、夏は暑く、秋は木々が燃えるようになりつつあるように思えてなりません。

それは、私が生まれも育ちも北海道で、四季の移り変わりを味わいながら大自然の中で育つたからだと思います。

私の故郷は、旭川市という所で、夏は暑く、秋は木々が燃えるようになりつつあるように思えてなりません。

それは、私が生まれも育ちも北海道で、四季の移り変わりを味わいながら大自然の中で育つたからだと思います。

私は北海道に住んでいたころは、日々の母の手作りの食べ物の中に季節を十分味わえていたように思います。

例えば、春の味覚と聞かれてすぐには思い浮かぶものは山菜です。山菜と言つても沢山あります。私は特に「たらんぼの芽」という山菜が大好きです。「たらんぼの芽」というのは、ウコギ科の落葉低木で、葉や茎にとげがあり、若芽をあえものやてんぷらなどにして食べる。すると何とも形容しがたい故郷そのものの味がします。

まだ雪が残る山に父と入り、よ

警視庁第八機動隊



家常 豊
「春の味覚」

警視庁第九機動隊



小野 賢一
「春の味覚」

「たらんば」を取つては母が心をこめててんぶらにしたもの在家族で食べたものです。ここ数年口にしていませんが、春と聞くたびにあの味となつかしく父母を思い出します。

く「たらんば」を取つては母が心をこめててんぶらにしたものをお父さんと一緒に食べたものです。

ここ数年口にしていませんが、春と聞くたびにあの味となつかしい父母を思い出します。

警視庁第九機動隊

小野 賢一
「春の味覚」

私の田舎は、東西南北山に囲まれた見渡す限り田園風景の広がる片田舎、宮城県伊具郡丸森町である。その片田舎の野山で採れたものは何でも「春の味覚」と言えるかどうかわからぬが、私にとっては「懷かしい思い出の味覚」である。

中でも懷かしく思い出深いものは、田舎で「もちぐさ」と言われている「よもぎ」である。

雪がとけ、春の兆しが見えはじめた頃、母親が幼い私の手を引きよもぎ採りに出かける。初めの頃は、なぜ草を探りにいくのかわからなかつたが、袋一杯に採つてしまつた「よもぎ」を、両親と兄とがついた餅の中に入れ出来上がりつた餅が春の味覚「よもぎ餅」であり、私が春の味覚「よもぎ餅」でもある。の懐かしい思い出でもある。

東京に来て六年、都会の和菓子屋にも「よもぎ餅」があり、見る度に懐かしく思い、買ってみるのだが、色形は同じでも私の思い出のものではない。

仕事の関係で春の帰省もなかなかできず、この季節になると「食べたいな」と思うだけで、田舎の「よもぎ餅」を作つた「よもぎ餅」をたらふく食べてみたいと思う毎日である。

春の味覚と聞いて頭に浮かんくるのは人それぞれだと思いますが私は、母が作ってくれた「よもぎ餅」を思い出します。

小学生の頃、家で獣犬を飼つたこともあり、よく父と一緒に多くの山に犬の散歩に行きました。犬は山に入ると鳥を追いかけことに夢中になり、しばらくはつて来ないので、その間を利用し、ワラビやせんまいなどの山菜や、もぎの葉を探りました。

よもぎは、私の好きな「よもぎ餅」を作つてもらつたのです。

独特の匂いのよもぎは、「よもぎ餅」になると不思議と匂いが気にならなくなります。

家に帰り、犬の体を洗つてやりがら、私は母が作ってくれる「よもぎ餅」の出来上がるのを待ちにしてました。よもぎの匂いがそこら中につくると、いても立つてもいられくなり、母のいる台所へ行き、出来るのを何度も確認したものでした。出来上がつたばかりの「よもぎ餅」を両手にとつて一口一杯にほり、思う存分味わいました。それを見ていた父に「そんなあわてなくとも餅は逃げないとよく言われたものです。

今思えば、なぜそれまでに「よもぎ餅」が好きだったのか…。それは、子供だった私にとって、父と過ごす時間ががとても楽しみだしたこと、そして、母が採つてきたこと、かりのよもぎを料理し、一生懸で作つてくれたのが「よもぎ餅」だからだと思います。

「よもぎ餅」の味は、幼い頃の思い出とともに、今も忘れられない大切な味となっています。



▶災害用二輪走行の訓練由

訓練を行つてきたが、昨年十二月には、交通機動隊の指導の下で諫早市内のモトクロス場で四日間のオフロード走行訓練を受けた。

オフロード走行の経験がまったくない私たちは、当初、速度も出し切れず恐る恐るバイクに乗ついていたが、時間が経過するとともにバイクにも慣れてきて、気分は「モトクロスレーサー」になつた感じで、元気よくコーナーを攻めはじめたが、短時間の訓練で素人がプロになれる訳はなく、次々に転倒し、訓練用バイクを壊したり、練習場の泥を全身に浴びて「黄粉餅」へと変身する者が続出した。

このような厳しい訓練であつたが、途中リタイヤする者もなく、無事四日間の訓練を終了することができた。

最後に、いつ発生するかわからない大規模災害に備えて、私たちは訓練を継続していくわけだが、我々が活動すべき災害が二度と発生しないことを心から願っている。



▶四日間のオフロード走行訓練を終えて

岡 部 株 株
栗 田 工 業 株
高 周 波 熱 錬 株
株 三 榮 商 会
株 スチールセンタ一
(株)日鐵流通センタ一
ツツミ 金 屬 株
村 山 鋼 材 株
木 村 政 次
黒 田 一
高 島 浩 一
国 見 山 株
谷 本 鐵 鋼 株
明 鋼 材 株
岡 谷 鋼 機 株
日 鐵 物 流 株
丸 定 產 業 株
岡 部 株
南 部 建 材 工 業 株
中 條 鋼 材 株
北 越 メタル 株

者場の広読



大阪府警年頭視閲式に招待されて

西野 公庸
(理事・大阪支部長)

昭和十九年満二十歳の私は現役召集された日本帝国軍人の一兵卒として兵役の努めを果していました。この時は自分の時間は無くて寝てる時間以外の時間は全てぎつり体力と精神力を陶冶するための訓練と演習そして実戦、と明日の生命は保証せんと上官より申し渡されておりまして、国を守るために生命をかける気力と氣概に満ちていた私の青春時代を想い出し、感無量の思いの中に本日の行事が重なりました。

一月九日万博公園広場に大阪府警本部長前田健治氏の視閲を受けるため、府警の精銳一、四七〇名が集合され本部長の視閲後、府警音楽隊の行進曲演奏の中を女子カラーガード隊を先頭に威風堂々の行進に入り五十年前の軍隊生活を想い出しました次第ですが、私達の生活が平和であるためにこんなに多くの府警の皆様が支えていて下さることを目の当たりにして、私だけではなく見学者全員が本当に目頭が熱くなれる想いを受けられることと拝察します。

昨年は阪神・淡路大震災、オウム地鉄サリン等の他、特に当地ではAP E C大阪国際会議の警備を悉く果たされ、大変ご苦労が多かつたと思われます。昨年十二月末に私達に対し前田本部長様より感謝状と記念品の贈呈が

あり大変嬉しく存じております。木村前大阪支部長の後を受けて大阪支部長に就任しました。力の及ぶ限り誠心誠意努力致しますので、ご関係先の皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、私達の生活の安全無事を見え隠れしながら守って下さっている全国警察の皆様に重ねて心から厚く御礼申し上げます。



風化するわが町わが時代

鵜川 涉
(理事・東京本部)

昨年十一月、サトウハチロー記念館が閉館になつた。詩人のサトウハチローさんが故人となられるまで三十数年

夫人の没後、いつたんは文京区がこれを継いで保存しようという動きもあつたが、移転と決まって、名残を惜しむ参觀者ががにわかに増えた。閉館直前の週末などは、観光バスが乗りつけ、それまではひつそりしていたそのあたりが往来に不自由するほどだつた。

近代詩はたいてい難解で、とつつき難いものが多いが、サトウハチローさんは例外的に一般の人間にとつともきわめて親しみやすい心温まる作品を多く残されている。

いわゆる不朽の名作といえば国民歌謡として永く歌い継がれている「ちいさい秋みつけた」などが挙げられるであろうが、戦中戦後に多感な時代を迎えた人々にとつて最も忘れ難いのは何といつても「リングの歌」であろう。

焼け跡に立つて、あるいは外地から復員してきて、この歌に鮮烈な感動を受けて涙した人は多かつた。かくいう私もその一人。戦後日本の復興はまさにこの歌から始まつたといつても過言ではない。

今は昔、町内のモニュメントのひとつとして愛されてきた古びて懐かしい家のたたずまいすらも消え去ろうとしている。わが町わが時代の確実な風化を目の当たりにする思いで迎えた新年、平成と元号が改たまつてからでさえ早くも八年の月日は流れた。



平成八年警備部武道始式

香川県警察機動隊

当隊では山奥隊長の「普通の警察官にできない事でも、機動隊に頼めばできるよう努力しなさい」という言葉を目標に、隊員一丸となつて訓練に励んでいます。精神論を中心の伝統を引き継ぎ、合理的とはいがたいのが現状でした。そこで負担が少なく、合理的な体力の向上を目的とする講演会を計画し、講師には、香川大学教育学部助教

当隊では山奥隊長の「普通の警察官にできない事でも、機動隊に頼めばできるよう努力しなさい」という言葉を目標に、隊員一丸となつて訓練に励んでいます。精神論を中心の伝統を引き継ぎ、合理的とはいがたいのが現状でした。そこで負担が少なく、合理的な体力の向上を目的とする講演会を計画し、講師には、香川大学教育学部助教

【スポーツトレーニング論】講演会を実施

香川県警察機動隊

授の山神真一先生を迎えて、「スポーツ・トレーニング論」について講演を行いました。今回の講演を今後の訓練に反映し、得られる機動隊を目指して、精進していくことを決意を新たにした次第です。

授の山神真一先生を迎えて、「スポーツ・トレーニング論」について講演を行いました。今回の講演を今後の訓練に反映し、得られる機動隊を目指して、精進していくことを決意を新たにした次第です。



お知らせ

○三月十二日(火)午後六時より、札幌市中央区南十条西二一ー一ー「札幌パークホテル」において、北海道支部総会を開催いたします。

○五月二十四日(金)午後六時より、福岡市中央区渡辺通「ホテルニューオータニ」において、九州支部総会を開催いたします。



多数のご参加をお待ちしております。

でチャリティーバザーを開催して、好評のうちに完売し、翌日小隊長より義援金が届けられた。

名古屋支部総会開催



〔第二十回名古屋支部総会〕が去る二月七日(水)午後五時三十分から名古屋市内メリパルク名古屋において盛大に挙行された。総会には、来賓として中部管区警察局、愛知県警察本部の幹部、並びに愛知、三重、岐阜、福井各県警察機動隊、中部管区機動隊の幹部、隊員、更に婦人機動隊幹部、隊員の方々の多數の参加を得て、その数二百名を超す程度であり、更に愛知県警察音楽隊四十一名の参加もあって、一層華やかさを盛り上げ、広い会場は立錐の余地もなく、その熱気は溢れるばかりであった。

国民の皆様の負託に応えてほしいとの御示があつた。次いで、当支部が第二十回花を添えた。次いで、新日鐵常務取締役愛知県機動隊長永井賢二殿が壇上に立ち、我々励ます会会員に対し「お礼の言葉」が述べられた後、新日鐵名古屋支店長白神賢志殿の音頭で万歳を三唱して盛況のうちに閉会となつた。

明と機動隊の果たすべき役割の重要性を述べられ、隊員に対し治安維持の担任となるよう訓示があった。愛知県警察本部長吉田正弘殿からは、励ます会の日頃の支援活動に謝辞述べられると共に、昨今の厳しい情勢の中、治安維持の「要」である機動隊の任務の重要性と機動隊員に対しては「治安の闇土」たることを胸に秘め、たゆまぬ努力訓練により活動隊員に対する激励がなされた。

支那にて開催して同國文部省長が主事、日本
神・淡路大震災、オウム真理教事件、ECC大阪会議への派遣などに伴う警戒警備に団結力と行動力を發揮してその任を全うした勞に対し感謝の意を表明すると共に、練度の高い精銳の誇りと信頼感とともにづく活動を期待すると激励し、国民との架け橋となるよう努めるとの決意を表明した。次いで、本部を代表して鈴木理事長が挨拶に立ち、まず機動隊員の日頃の労をねぎらい、治安警備に万全を期して頂くよう隊員を激励し、今後一層物心両面からの支援を行うとの決意の披瀝があつた。続いて中部管区警察局長・木村正義局長より、昨年度の警備活動状況の説明がなされ、各課題に対する改進方針が示された。

卷之三

發行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
(但し、会員の中には購読料を含む)

大阪支部総会開催 第二十二回



いて、近畿管区警察局、大阪府警察本部など警察幹部の方々、臨席のものと、更に今回より新たに婦人機動隊員の参加を含め総勢百五十名の隊員の出席を得、本部より鈴木實理事長、大阪支部より新日本製鐵岡田明久常務取締役大阪支店長ほか世話人・会員多数の参加のうえ盛大に挙行された。大阪地区は一昨年秋、関西新空港の開港、昨年初の阪神・淡路大震災に引き続き関西では初の国際イベント、APECが開催され、大災害に伴う長期且つ極めて困難な救援活動、国内外の要人に対する警護等、息つく暇もない警察活動の連続となり、今回の総会も例年開催を二ヵ月余り遅れての開催となつた。司会は鳥居世話人によつて進められ、國歌斉唱に次いで十三年間の永きに亘り、大阪支部事務局長として貢献され、今般勇退された富士興業社尾直九殿がその功勞に対し近畿管区警察局公安部長

先日、警察の〇〇で、國の治安は警備機会があつた。そこで、國の治安は警備の悪いことを強調され、言い訳をいつた。犯罪が少ないといふと、虚に反省していく。体の慣の良さが一つ、優れた警察の一つはいけないと述べられた。

ていると云われているの警察がしつかりし素直に信じていた。

しかし、昨年は、オーラン事件があつた。それ以前にも、弁護士事件など凶悪な犯罪が明るみでてきて、動きがあつたのなら、手をうつて、犯罪のせげなかつたのかと悔え、オウム真理教以外で増加しているという。

今月の言葉

藤田喜多夫殿から記念品を、更に大阪府警察本部警備部長池田克彦殿から感謝状とメダルが贈呈された。次いで、西野新支部長の挨拶、鈴木理事長の励ましとねぎらいの言葉があり、引き続き来賓ご挨拶として近畿管区警察局長大山克己殿、大阪府警察本部長前田健治殿より、励まし会の諸活動に対する謝意と、今後予想される種々の警備活動について力強い対処のご決意が披露され、深谷理事の乾杯

卷之三

雇庸の面では、日本の特色であつた

確かに、失業率が、会では、犯罪の発生きて、日本の犯罪発いるのは、円高不況率が高くなっているるまい。特に、学校の失業者が増加して

先日、警察のOBの機会があった。その安が悪くなっているので、國の治安は警察のでないことを強調では、言い訳をいつては、謙虚に反省しているた。犯罪が少ないのではなくて、優れた警察のとつてはいけないといつてもううれど。

ていると云われているの警察がしつかりし素直に信じていた。

しかし、昨年は、オーラン事件があつた。それ以前にも、弁護士事件など凶悪な犯罪が明るみでてきて、動きがあつたのなら、手をうつて、犯罪のせげなかつたのかと悔え、オウム真理教以外で増加しているという。

今月の 日本の治安は、先進

藤田喜多夫殿から記念品を、更に大阪府警察本部警備部長池田克彦殿から感謝状とメダルが贈呈された。次いで、西野新支部長の挨拶、鈴木理事長の励ましとねぎらいの言葉があり、引き続き来賓ご挨拶として近畿管区警察局長大山克己殿、大阪府警察本部長前田健治殿より、励ましと謝意と、今後予想される種々の警備活動について力強い対処のご決意が披露され、深谷理事の乾杯

「発声を機に楽しい懇親パーティの席に移つた。宴だけなわには、婦人機動隊員の司会のもと、若い隊員の一年間の労苦を吹き飛ばす。本職も顔負けの種々アトラクションが続々、フイナーレは、警察、励ます会の幹部隊員、会員一体となって肩を組み合い、「この世を花にするために」の大合唱で新たな一年への糸を深め合つた後、口渡理事の万歳三唱の音頭で発声で締めくくり、無事総会を終了した。

治安と

卷之三

(副理事長)

・東京本部 佐々木 喜朗)

吉しておられる人を多くおられる方々が、支
援するためにも、政府も不当な凹凸を
回避する努力を重ねていただきたい
のである。

三月のテーマ 海外視察旅行を終えて

北海道警察警備隊



員の活躍に対するものと受けとめています。この賞に恥じないよう自己研鑽を続け、警備隊員として、微力ながらも治安の維持に努めさせていただきたいと思います。最後になりましたが、このような素動員等を励ます会の皆様方に深く感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

近畿管区機動隊第二大隊



気温マイナス十五度まで冷え込んだ北海道旭川からJR、国内線、リムジンバス、国際線と乗り継いで約十七時間、辿り着いた地は気温二十四度、常夏の島ハワイでした。

全国優秀機動隊員の受賞は、私に季節はずれの夏を与えてくれたのです。

澄み切った青い空、白い砂浜、マリンブルーの海、その光景は今でも日焼けの跡とともに私の脳裏に強く焼き付いています。その素晴らしい景色の中での水上スキーは格別でした。これが世界の観光地と呼ばれる由縁の一つなのでしょう。

また、この旅行は、語学力のなさを見つめなおす機会を与えてくれた旅行でもありました。観光ガイドを見てフランス料理を食べに行つたときのこと、ハワイは何處でも日本語が通じると油断していました私は、英語だけのメニューを渡されて悪戦苦闘してしまつたのでした。

しかし、この出来事は私に、英会話への向学心を駆り立てるとともに、警察官として国際社会における英会話の必要性を感じることができたのです。旅行中は、このように日本では得る事

ないように貴重な体験ができたのも上あってのことと感謝しております。

今回の受賞は、北海道警察警備隊全隊員の活躍に対するものと受けとめています。この賞に恥じないよう自己研鑽を続け、警備隊員として、微力ながらも治安の維持に努めさせていただきたいと思います。最後になりましたが、このような素動員等を励ます会の皆様方に深く感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

山梨県警察機動隊



後輩、同僚等に、この紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

地の人々は、快く我々を受け入れてくれました。機会があれば、もう一度行きたいものです。

おりに、縁があつて行動と共にした

隊員との出会いを大切にすると共に、こ

の機会を作つていただきた上司、先輩、

後輩、同僚等に、この紙面をお借りしま

してお礼申し上げます。

地の人々は、快く我々を受け入れてくれました。機会があれば、もう一度行きたいものです。

おりに、縁があつて行動と共にした

隊員との出会いを大切にすると共に、こ

の機会を作つていただきた上司、先輩、

後輩、同僚等に、この紙面をお借りしま

してお礼申し上げます。

世界で最も有名なワイキキビーチに立つた時、ぬけるような青い空、信じられないほど澄み切った海は、感激を通り越して興奮を覚えた程でハワイでの毎日が夢のようで瞬く間に過ぎてしまいました。

成田を飛び立ちました。

世界で最も有名なワイキキビーチに立つた時、ぬけるような青い空、信じられないほど澄み切った海は、感激を通り越し興奮を覚えた程でハワイでの毎日が夢のようで瞬く間に過ぎてしまいました。

世界で最も有名なワイキキビーチに立つた時、ぬけるような青い空、信じられないほど澄み切った海は、感激を通り越し興奮を覚えた程でハワイでの毎日が夢のようで瞬く間に過ぎてしまいました。

世界で最も有名なワイキキビーチに立つた時、ぬけるような青い空、信じられないほど澄み切った海は、感激を通り越し興奮を覚えた程でハワイでの毎日が夢のようで瞬く間に過ぎてしまいました。



一月二十七日、四泊六日のハワイ旅行のため関西国際空港から飛び立ちました。

約七時間の飛行の後、ホノルルへ到着しました。現地時間では午前八時、日本時間では夜中の三時です。私自身海外旅行は初めての経験だったので、当然時差ボケも初めてでした。着いてすぐにホノルル市内観光をしたのですが、ちょうど当番明けで観光をしている感じでした。



朝日奈孝志

今年度の全国優秀機動隊員に対し、機動隊員等を励ます会から海外旅行へのご招待を頂きまして、誠に有難うございました。警備部隊の一員として数多く

この度、全国優秀機動隊員という名譽ある賞をいただき、総勢七十名の隊員で、ハワイ州オアフ島へ行つきました。

日本では、コートを着ているのに、何とハワイでは、短パンにTシャツ姿で十分、まさに常夏の島でした。気温差は、約三十度で、あまりの気候の差に、驚かされました。

この度、全國優秀機動隊員という名譽ある賞をいただき、総勢七十名の隊員で、ハワイ州オアフ島へ行つきました。

日本では、コートを着ているのに、何とハワイでは、短パンにTシャツ姿で十分、まさに常夏の島でした。気温差は、約三十度で、あまりの気候の差に、驚かされました。

三日目は、マリンスポーツを楽しみました。南の海で泳いだのも初めてだったのです。珊瑚礁の海がとてもきれいに感じました。ガイドをしててくれた人たちはとても陽気で、とても楽しい一日となりました。



富山県警察機動隊

四日目は自由行動だったので、アラモアナへ買物に出掛けました。店によつては全く日本語が通じない所もあつて、会話にとても苦労しました。それでも外国人と仕事以外で話をする機会を持てたので、貴重な体験だつたと思ひます。

今回の旅行では、自分にとつていろいろな初めての貴重な経験をさせていたきました。文末となりましたが、旅行をお世話していただいた皆様に紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。



岩木 一功

この度栄えある全国優秀機動隊員として警察庁警備局長賞を頂き、感謝の意であります。

また、受賞に伴つてハワイ旅行ができましたことを、この紙面をお借りして貴会の皆様方にお礼と感謝を申し上げます。

ところで、ハワイは五年前に新婚旅行で訪れた所であり、私とりましては二回目で、初々しかった新婚時代を思い出ながらの出発となりました。

さて、私たち関西国際空港発着組三十名は、一月二十七日午後八時ユナイテッド航空八二四便に乗り込み、ホノルルに向かって飛び立ちました。六時間半後、目が覚めるとそこは常夏の島ハワイがありました。しかし、この島は我々をすんなりとは受け入れてくれず、時差ボケで眠気眼の我々の目の前に、着陸の振動で突如天井から酸素マスクが落ちてくるというハプニングが発生し、「レイ」ならぬ手荒い歓迎を受け、到着後に、皆で寿命が縮んだと大笑いました。そして、空港で成田発着組と合流し、一行七十名はホノルルの観光に出発、その後の日程は帰国日まで自由行動でしたが、隊員の行いが良いのか、これまた晴れ男が多いのか、滞在期間中の五日間は晴天で、常夏の青い空・青い海を満喫することができ、いろいろと見識を深めることができました。また、買物

にあつても、香川県警のT先輩と共に、妻子等から催促されていた土産の品探しに四苦八苦しましたが、円高のお陰でなんとか目的物も手にいれることができ、充実した五日間がありました。

夜は、全国各地から参加された機動隊員の方々と杯を交わしながらの語らいや、機能別部隊の情報交換など交流を深めることができましたことを喜んでおります。

あつという間の五日間で後髪を引かれながらの帰国であります。得たものは多く、この貴重な機会を与えていただき隊長はじめ、上司同僚に感謝致しましたと共に、今後益々職務に精進していく決心であります。本当にありがとうございました。

待と不安が交錯していましたが、いざ旅行にいってみますと、友人との出会い、初めて体験する事等たくさん思い出を作ることが出来ました。それから二三挙げて紹介させていただきます。

「ハワイは暑いところ!」そういう固定観念が強く残つており、服などもほとんど半袖Tシャツ、短パンだけで大丈夫だと思いこんでいました。ところが、マウイ島観光の際に三〇〇〇メートル程の山に登つたところ、寒くて寒くてバスの中から出ることが出来なかつた程でした。そういうことはガイドブックなどに載つていたので、事前におさえておぐべきでした。

「車両は右側通行!」習慣というものは恐ろしいもので、道路を横断しようとすると際どうしても、右・左・右という風にして安全確認をして渡ろうとしても何度も車に飛び込みそうになつたことがありました。

「台風が過ぎていった」滞在中に台風がやってきて、風が吹き出したかと思つたら、豪雨になり、二時間程で過ぎ去つてしまい、すぐに静かになりました。

今回の旅行に関しては、職場の上司、同僚の方々に大変お世話になりました。また機会があればぜひひとつも行つてみたいところでした。今度は一人で……。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

北から南から

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

しかし、私はこの道を選んだからには、自己研鑽とあらゆる条件の下でも果敢に挑戦出来る救助技術の向上に努め、今後とも警察の責務を全うすべく人命救助に邁進したい。

激流の中での行方不明者捜索

茨城県警察機動隊
川澄 朋也

数年ぶりの猛暑といわれ、真夏の太陽が容赦なく照りつける午後。

「釣りをしていた高校生二人が、余りの暑さに泳ぎ始めたところ、一人が深みにはまり行方不明となつた」との通報により、緊急出動要請がなされ、私たちアクララング部隊六名が必要資材を携行し、家族ら関係者多数が期待を込めた眼差しで見守る中、三名一组で水中捜索を開始した。

一見緩やかな川の流れも水深八メートルの淵は、激しいうず巻きで岸の斜面に沿つて強力な水圧がかかり、身につけた重りも何ら効果無く押し上げられる状態で、激しいうず巻きとの戦いとなつた。四五メートルの距離から覗き込むと、川底に横たわる人影を認め、全員夢中で引き上げ作業を開始した。

毛布を持ち、今にも川の中に入るようにして見守る家族の期待も虚しく、手当ての甲斐もなく帰らぬ人となつた。二時間以上の時間の経過は、医師等の危険を省みず夢中で捜索を行つても、結果次第で虚しさのみが残ることとなる。

<p

者場の広読

小林直樹
(理事・名古屋支部)



が期限切れで退院しなければならなくなつたが、行く所がないため必死になつて居残ろうとしている。医者や看護婦に毎日しつこく退院をいわれている。無理やり追い出そうとすると、動物に似た声で怒鳴り泣き叫ぶ。まさに悲惨そのものである。

後日この病院を訪れたとき、このお婆さんはもう居られなかつた。どうも一クラス下の病院に移されたようである。

また老人病院では一週間に一~二人は亡くなられるそうである。家族に見離された人が死に近づいて、医者や看護婦が様子を見に来るように何度も連絡しても返事だけは良いが結局やつてこない家族が多いと聞く。

医者や看護婦は毎日病人の世話をしながら、老人のぐちやわめき、泣き言を聞かされ続けてやりきれない状態になつてしているとのことである。

以前に老人問題で雑感を述べたことがあるが、もう一度この問題にふれてみたい。

最近公的あるいは準公的な老人用施設が増えてきているが実際にいいことであると思う。

世の中に老人保健病院（老人専門病院）が数多くあるが、これらは「病院」というより「老人養護施設」いわゆる寝たきり老人の収容施設というべきである。

核家族化の進展につれて、老人はだんだん息子、娘夫婦と離れていく、つまりこのこうした施設に入らざるを得なくなっている。一昔前だととんでもない話だと思われる方が多いと思うが、現在ではあたりまえと思っている人が多い。

老人専用病院を訪れたことがあるが、家族が長い間一度も様子を見にきてくれず放置されている人や、年金をもらつてゐるのに家族にとりあげられて小遣いもない人など想像に絶する人達もおられた。すべてがこのようではないと思つてゐるが、世の中の醜いところが露骨にさらされていて衝撃を受けた。

またこういうことにも出会つた。老人保健病院は原則三ヶ月間しか居れないことになつてゐるが、あるお婆さん

鷗外の旧居を訪ねて

滋岡長平

(東京本部)

一昨年の九月下旬、ドイツから東欧にかけて旅をした。東ベルリンの宿に泊つた翌朝、例のブランデンブルク門に程近い、森鷗外記念館を訪れた。

鷗外がライプチヒからミュンヘンを経て、この首都に移つて来たのは一八八七年（明治二十年）の四月十八日で、

ロベルト・コッホ教授について修業した後、翌八八年の七月、石黒軍医監と帰國の途につく迄、一年三ヵ月の間に二回転居して居る。

三ヵ所の下宿は凡て第二次大戦で破壊されてたつたが、最初に住んだこの四階建の建物だけが復元され、二階

ルイゼン通とマリエン通の交叉する角の四室が、十年前から、フンボルト大学その他の尽力で記念館として保存されているのである。

但し陳列されているものには、文献類を含めて余りめぼしいものはない。

フンボルト大學から派遣された、長身のマネージャー、ウェーバー夫人に案内されて奥の簡素な居室に入ると、それは

一九一一年（明治四十四年）の三田文學に「妄想」と題して書かれた鷗外の述懐の舞台であると直感した。二十五歳の彼が、処女の如き官能を持ち、凡ゆる出来事に反応して挫折のない力を蓄えていたが、さて下宿に帰りつくと、若干の家

具の他は何もない部屋に灯をともし着物を脱いで寝台に横たわって心の寂しさを感じるのはまさにこの時であると告白する。深い郷愁を払い切れず、意思と感情の相剋に悩まされ遂にハルトマン等の哲学に惹かれて行く過程が述べ

す。さんでいく日本人の精神をなんとかしてつと道德的なものにしたいと願つてゐる。

解決には精神的なもの以外に老人施設の充実のための国家予算が多く必要になることであろう。

すさんでいく日本人の精神をなんとかしてつと道德的なものにしたいと願つてゐる。

かしてつと道德的なものにしたいと願つてゐる。

そこで、私は鷗外が少時からの習慣を守つて、下宿の婦人に階下から湯を運ばせている光景を一瞬、幻想したのであつた。

由来、天才には常人の及びもつかない発想や奇行がある。六十歳で没した鷗外は、人間は寿命に制約される、従つて事を為さんとする者は時間が必要だとして、自らの睡眠時間を節約して勉強したと傳えられている。

何等為す處無く惰眠を貪り、徒らに馬齢を加えている私などにはまことに耳の痛む話である。

皆様お誘い合わせのうえ、ご出席ください。

◎六月十二日（水）午後五時より、東京都港区元赤坂明治記念館において

○五月二十四日（金）午後六時より、福岡市中央区渡辺通ホーテルニューオータニにおいて、九州支部総会を開催いたします。

◎五月二十一日（火）午前七時より、

○三月三日（水）午後六時より、東京都明治神宮外苑繪画館前広場において、「警視庁機動隊観閲式」が開催されます。

参加される方は、五月十日（金）まで事務局までご連絡ください。

音楽クラブ競演

警視庁機動隊

二月二十一日、警視庁術科センター

において、「平成八年武道小隊警備部長

査閲・音楽クラブ競演」が行われた。

剣道・柔道の個人戦のほかに、警視庁機動隊十個隊の音楽クラブが日頃の腕

を競い合う、演奏会が行われた。

警視庁に関連する曲と、自由曲の二曲ずつでの競演となつたが、優勝

は第三機動隊、準優勝は第四機動隊、第三位には第八機動隊が入賞を

はたした。



第18回

北海道支部総会並びに懇親会が開催されました



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

今月の言葉

この数年、日本の経済は深刻な状況になつてゐる。

神戸の大震災や奇怪な宗教団体による世情不安の追い打ちもあつたが、昨夏、経済緊急対策として実施された十三兆円にのぼる施策は半年もたたず大方は忘れ去られた。その成り行きを糾し、成果を問う声を聞かない。

膨大な資金を投入しても動きをみせない程日本経済は不況のなかに沈潜してしまったようだ。

そのうえ、今年に入つてから、住専問題の処理を迫られる政府・国会は経済の活動を閉塞状態にさせてしまった。

もともと、経済や景気は基本的には国民一人ひとりの働きであり、ひとつひとつの企業の行動である。政治や行政が丸抱えで世話をやけるものではない。企業家はこれを期待したところで救われるものではない。

国家・政府が担う究極の役割は防衛・治安・外交・教育だけであると言われる。

因みに今日の経済の凋落は戦後五十年、復興と発展のスピードの反動であり、疲労の結果と言える。

国民と企業が自らの経済発展の速度に追隨できず、足並みを乱し態勢を崩し今日の結果を露呈したもので

ある。その理由の一つは充分な体力にならないまま、過信と幻想とに魅せられ、アクセルを踏み続けたことである。

若さにまかせた疾走が徒になつた。もう一つの原因是商人の道をわきまえないマイナーの人々が倫理や道徳律に反して行動に走ったこと。

個人一人の経済活動に対し大数・集団になつた場合の影響度は累乗的に拡大される。この拡大がバランスを崩すことになればその逆数で転落する。

集団や組織でのつながりでは個人の活動の許容範囲は当然制約をうけ、自分だけが漁夫の利をむさぼることはできない。法律や制度以前の倫理の問題に帰着する。

正常な肉体の働きは一部の肥大化や均衡を欠いた活動は許されないと同じである。

今日、経済の水位低下によって、いろいろな醜い患部が露呈されている。隠されていた社会の病理や肥大化の利益を求めた手法が眼の前に見えてきた。

これはかえって好機であり、患部の切除にはまたとないチャンスである。だが、経済・景気の不如意は我々個々のつながりにおいて生じたものであり、無関係な世界によってひきおこされたことではない。

我々が共通してもち、進んできた経

済的パワーや活力が不幸な方向に噴き出したものであり、このパワーこそ本来の方向によりもどさなければならないものである。

一人ひとりが、またそれぞれの企業が生まれつきもつてゐる体内の生命力・パワーを新しく育てていかなければならぬのである。

不況としては長期になりすぎた日本経済はある。その中に閉じ込められている企業としてはまさに辛労の多い時期である。

活力の火種を再び育て、新しい商品・サービスの開発や営業活動によって需要を掘り起こし、生産活動を先導役として消費を拓き明日にあかりをともしたいものだ。

生涯かけた商売の世界から教えられることは誠に多い。苦しくとも屈ることなく恵みと汗と連帶で新しい時代と新しい社会を創る情熱を再び底辺から湧き興したい。

とは言え、社会や国家の治安になると新しく社会を創る情熱を再び底辺から湧き興したい。

我々市井の人達で支えることはできな

い。

残念ながら昨今、極悪犯罪は身近なところまで頻発し、日常生活の中にも蔓延しつつある。

今後とも機動隊の皆さんをはじめ治安当局の方々のご辛劳にまつことになる。

一層のご活躍を期待する次第である。

り上がつた。

予定時間も瞬時の勢いで経過し、渡辺機動隊長の謝辞に引き続き、「この世

を花にするために」の大合唱が行われ、安当局の方々のご辛劳にまつことになる。

最後に、藤光理事の万歳三唱をもつて

会は滞りなく終了した。

尚、鈴木理事長の挨拶の中で、昨年

の応援派遣に於ける北海道警察機動隊

の規律正しい働き振りが特に際立つ

ていたとのお詫びの言葉をいただき、

隊員はもとより励ます会員にとつて

もなによりの励みとなつたことを追記

第十八回北海道支部総会並びに懇親会は、去る三月十二日（火）午後六時より、札幌パークホテルにおいて開催された。

北海道警察本部からは、恵良警務部長殿を筆頭に機動隊員八十名を含む百名の出席をいただき、励ます会からは三百五十名が出席、総勢四百五十名の大盛会となつた。

初めに小原支部長より、昨年諸事件への応援派遣が頻発したため、励ます会の開催が繰延べになつたが、数度の派遣のご苦労の中で機動隊員が職務を

立派になし遂げられたことに敬意と感謝の意が表された。

次に、来賓としてご出席頂いた松田副知事殿及び石原札幌市助役殿より、それぞれお祝辞をいただき、地域の安全のため尽力される警察・機動隊の働きに感謝と期待が述べられた。

伊達警察本部長の代理としてご挨拶いたいたい恵良警務部長殿からは、励ます会へのお礼と、道民の信頼と期待に応えるべく引き続き職務に精励してゆきたいとの決意表明があり、鈴木理事長の励ましの挨拶の後、佐藤室蘭製



北海道副知事 利民松田



札幌市助役 弘之石原



北海道警察本部道信部長 恵良

四月のテーマ 東京の治安について

警視庁第一機動隊



中条 茂

不透明、混沌の時代と言われる現在、複雑・多様化する価値観、自分さえ良ければという個人主義が浸透する社会情勢の中、昨年は首都東京において「地下鉄サリン事件」「警察庁長官狙撃事件」「八王子署管内拳銃使用殺人事件」など未曾有の凶悪事件が発生し、治安の最後の砦といわれる機動隊員の任務は厳しく、責任も重大である。

私の信条は「粉骨碎身」で、何事にも積極的に身を粉にして取り組むことである。着隊して一年半だが、上司、先輩の指導を受け、今は何事に対しても、関心と問題意識を持つて取り組んでいる。

まだまだ未熟ではあるが、一步一步前進し、警視庁機動隊の輝かしい伝統と歴史を継承し、後輩に引き継ぐべく機動隊員の誇りでもある衿のバッジに恥じぬよう日々研鑽努力していく覚悟である。

そして、このことが、首都東京の治安の維持につながると確信している。

警視庁第二機動隊



結城 直後

昨年は、阪神・淡路大震災に始まり、オウム真理教関連事件及び武器犯罪等予期しない凶悪事件が連続して発生して、大きな社会不安が起きた中、警視庁機動隊

は、それぞれの警戒区域での任務に対処し、数多くの成果を残してきました。

昨今の厳しい情勢下、機動隊が警視庁の中核として活躍を続けているのは何故であるかを考えてみました。

それは第一に、「首都東京の治安を守る最後の砦である」という誇りを一人ひとりが持っているからだと思います。この誇りを持っていますからこそ、重防警戒・自己担当区の検索・車両検問等を積極的に実施し、旺盛な勤務意欲と警戒力が生まれ、警備完遂へとつながっているのではないかと思います。

第2に、「若さ」です。若い力が結集して仕事、勉学、柔剣道、警備訓練等で競い合い、共に訓練で汗を流し、週休には酒を酌み交わし将来を語り合います。

こうして培った人間関係が、いざという時に、機動隊の強さとして表れるのではないかと思います。

私も、首都の治安を守る最後の「砦」である警視庁機動隊の一員として、恥じることのないよう一生懸命自己研鑽し頑張つたがると信じている。

警視庁第三機動隊



小出 隆久

厳しい報道もされたが、私たち、治安のプロとして与えられた任務は地道にコツコツ遂行することが凶悪犯罪の予防検挙につながると信じている。

一時は、「東京の治安低下」について随分厳しい報道もされたが、私たち、治安のプロとして与えられた任務は地道にコツコツ遂行することが凶悪犯罪の予防検挙につながると信じている。

私の信条は「粉骨碎身」で、何事にも積極的に身を粉にして取り組むことである。

着隊して一年半だが、上司、先輩の指導を受け、今は何事に対しても、関心と問題意識を持つて取り組んでいる。

まだまだ未熟ではあるが、一步一步前進し、警視庁機動隊の輝かしい伝統と歴史を継承し、後輩に引き継ぐべく機動隊員の誇りでもある衿のバッジに恥じぬよう日々研鑽努力していく覚悟である。

そして、このことが、首都東京の治安の維持につながると確信している。

政治経済、外交の中心の東京は、官邸、政黨本部、大使館等の重要な防護対象が集中している。右翼団体はあらゆる抗議・街宣を行い、国会車両突入等の違法行為も敢行する。我々は、こうした政治活動に名を借りた違法行為は、看過するこ

となく検挙する方針で任務に臨んでいる。特に本年一月の皇民党右翼対策警備条例に基づき、騒音取締班による採証活動を徹底し、同法違反並びに合図不履行

等の道路交通法違反の検挙等により、その任務を完遂した。

私が新隊員だった十年前に比べれば、法の整備、資器材の充実等、右翼対策の実施方法は隔世の感がある。しかし、隊員の高い士気と能力が警備を支えていること

は、当時も今も変わりない。現在は幹部とりが持っているからだと思います。この誇りを持つていてからこそ、重防警戒・自己担当区の検索・車両検問等を積極的に実施し、旺盛な勤務意欲と警戒力が生まれ、警備完遂へとつながっているのではないかと思います。

そして今後も我々の実力を十分に發揮できるよう、万全の体制でこれに臨んでいくつもりである。

警視庁第四機動隊



石坂 浩二

日本は、国会議事堂を始め首相官邸、最高裁判所、その他各省庁等、日本の立法・行政・司法の中枢機関が集中し、また大手企業の本社ビルや各國大使館等があり、政治・経済・文化が集中した世界第一級の国際都市です。

この東京の治安を守るために、警視庁機動隊にはレスキュー隊や爆発物処理班など、それぞれ専門的な技術を身につけた部隊が数多くあります。

そのうちの一つに私の所属する「外国语分隊」があります。この分隊は、名前どおり英語をはじめロシア語、中国語や韓国語等、外国语に堪能な者で編成され、警備を通じて外国人を取り締まった際、活躍しています。

例えれば、賓客、公賓を迎えた警戒警備で外国人に対する職務質問を積極的に行ってきたことにより、国際テロ防止に大きな貢献をしたと自負しております。

私は、昨年から韓国語の講習を受けていました。韓国語に限らず、英語、ロシア語等の勉強もして世界第一の国際都市「東京」にふさわしい警察官となるためこれからも語学の能力向上に努め、警戒警備の現場で役に立つ外国語分隊員としているのだ。大蔵省に再度突入する

警視庁第五機動隊



芳賀 政宣

昨年は、阪神・淡路大震災に始まり、一連のオウム真理教関連事件、APECに伴う警備等世間の注目を集める事案ばかりで一年を通して忙しい年でした。

本年も、首都東京の治安を守るべく日夜各種警備、重防警戒に携わっています。

こうした中、わが隊は1月二十四日、「新宿駅動歩道」建設に際し、不法占拠者の排除に当たりました。これは、都が作る「動歩道」の予定地に、ホームレス援助と称する極左が一部のホームレスを率いて不法に居座っていたため排除したものです。

衆人監視の中、不法占拠者たちは卵や小麦粉を投げつけたり、別の場所で無許可デモを始めるなど大変気をつかう警備でしたが、不法行為を見逃すことなく、的確、迅速に対応できました。

私は、隊として間もなく一年となります。が、何かもが新しく、息をつく暇もないほどめまぐるしい一年でした。

今年一年目は、更なる充実を目指して、自分の役割を十分に認識し、誇りを持って首都東京の治安を守るために全力を尽して仕事をしていきたいと思います。

「治安のプロ」である機動隊の一員として、一層訓練に励み、教養・体力を身につけ、自分の役割を十分に認識し、誇りを持って首都東京の治安を守るために全力を尽して仕事をしていきたいと思います。

昨年三月二十日に発生した地下鉄サリン事件は、首都東京の人々の行き交う中、無差別大量殺人を犯した凶悪かつ卑劣なテロ事件であった。毒ガスに侵され、バタバタと倒れる人が出る中を逃げまどう人々は、まさにパニックそのものであった。こうした中、配置された広報班員が、人々を安全な場所に誘導する姿があった。

これら、空爆事件が発生した際、広報班員は、指揮官の命を受けながら常に正確な情報を放送するという任務がある。

庄司 隆

警視庁第六機動隊

高野 寛

警視庁第七機動隊

庄司 隆

機動隊の仕事は、いついかなる任務が来るか分からぬ。時には寝ないで警備活動をする時もある。しかし、辛い時こそ首都の治安を守るという重責を担っている事が実感できる。

私は機動隊の仕事に誇りを持ち、これからも努力精進していくつもりである。

かもしねない。急いで大蔵省に行かねば。中隊長の命令で直ちに転進すると、小隊長指示で増強配備がされている。絶対に大蔵省への突入はやるさないと、いう気迫に満ちていた。そして、「非番部隊は右翼車両集団を起きて配備している。絶対に大蔵省へも起きて配備している。」との命令で、太陽がようやく昇りはじめた頃、部隊は転進した。

結局、帰隊したのはその日の午後であつた。

そして、「非番部隊は右翼車両集団を起きて配備せよ」との命令で、太陽がようやく昇りはじめた頃、部隊は転進した。

合場所に転進、車両デモ出発まで検問配備せよ」との命令で、太陽がようやく昇りはじめた頃、部隊は転進した。

中隊長の命令で直ちに転進すると、小隊長指示で増強配備がされている。絶対に大蔵省への突入はやるさないと、いう気迫に満ちていた。そして、「非番部隊は右翼車両集団を起きて配備している。絶対に大蔵省へも起きて配備している。」との命令で、太陽がようやく昇りはじめた頃、部隊は転進した。

合場所に転進、車両デモ出発まで検問配備せよ」との命令で、太陽がようやく昇りはじめた頃、部隊は転進した。

つたように、今は人々が行き交っている。誰もあのような事件は今後起らぬ事を信じたいが、我々広報班員は、次に「イザ」のために、訓練を絶やす訳にはいかないのである。

警視庁第八機動隊



遠藤 貴

東京の治安は世界中で最も安全と言われております、各國から高い評価を得ています。これは我々の先輩達が、血と汗と涙の地道な努力で築き上げたものです。しかし、昨年来、オウム真理教による地下鉄サリン事件、拳銃使用強盗殺人事件など今までの安全神話を持ち碎くような事件が多発してきました。そのような情勢の中、私は機動隊を希望しました。先輩達の築いてきた治安を守り、更に人々が安心して暮らせる東京を守つてきました。私達機動隊は、日夜訓練に励み、常駐警備、治安警備等において不法行為を起さないよう、もし起きててもすぐに事案に対処し、人々の不安を少しでもなくすために努力しています。

そして、警備が完遂した時は、東京の治安を守ったという充実感が湧いてきます。これからは、事件も多様化、凶悪化、国際化し、治安を脅かす事案も増えてくるでしょう。しかし、それらに屈する」となく、教養を身につけ、訓練をし、柔軟な頭と強靭な肉体をもつて治安を守つてきました。東京の治安は世界一、そしてそれを築いているのは我々である」という自信と誇りを持つて今日も頑張っています。

警視庁第九機動隊



本田 英昭

梅の花も開きはじめた平成八年二月五日

日、私は第九機動隊に着隊した。機動隊は、六年ぶり二度目となるが、その使命が公共の安全と秩序を目指していることを踏まえると、その責任の重大さに身が引き締まる思いがする。

私が隊員であった当時、昭和天皇在位六十周年記念、東京サミット警備、英國皇太子同妃両殿下日警備、更に、昭和天皇崩御に伴う警備等、様々な警備を経験した。

時には、総理官邸警備における二十四時間体制の触角、ポイントで降り積もる雪を払いながら任務に従事したこと、一重橋での立ち番中、お掘の水が凍る音を聞きながら警戒に当たったこと、そして灼熱の太陽の下、完全装備で右翼対策の任務につき、右翼デモと対峙したこと、成田現地闘争等も体験した。

しかしそうで、機動隊員としてどんなに苦労しても任務を完遂したという自信から、「心張り棒」が培われたと考える。

私は新任小隊長であるが、東京の治安を担う機動隊員として、誇りと「心張り棒」を隊員の中に育てるため、隊員の身近にあって団結を深め、ともに苦しみ、ともに喜び、躍進していく所存である。

警視庁特科車両隊



住友 健司

忘れもしない昨年三月二十二日、我々特科車両隊員はカナリアを先頭に、第一セティアンに足を踏み入れた。急遽化学防護服の着脱訓練を行った翌日のことであります。

「東京の治安は世界一、そしてそれを築いているのは我々である」という自信と誇りを持って今日も頑張っています。

しかし、弱音を「口にする者は一人もない」と思っています。

しかし、弱音を「口にする者は一人もない」と思っています。しかし、それらに屈する」となく、教養を身につけ、訓練をし、柔軟な頭と強靭な肉体をもつて治安を守つてきました。東京の治安は世界一、そしてそれを築いているのは我々である」という自信と誇りを持つて今日も頑張っています。

あれから一年、富士の壮大な裾野も、やつと平穏を取り戻しつつある。厳寒はマインズ一度以下の寒さとの戦い。我慢の使命が公共の安全と秩序を目指していることを踏まえると、その責任の重大さに違いないが、泣き言は言つていられない。それが機動隊の使命と自分に言い聞かせている。現在の、複雑多様な社会情勢から考え

やつと平穏を取り戻しつつある。厳寒はマインズ一度以下の寒さとの戦い。我慢的取り組み、どのような不法事案にも即応できる強靭な気力、体力を培うとともに、技術向上を図り、万全の態勢で有事に備えていきたい。

そして、都民の期待に答えるため、日夜の努力を惜しまない覚悟である。

（どちらも広域緊急援助隊）

北から南から

にっぽん

合同防災訓練

岩手県警察機動隊
（大震災から一年）

阪神・淡路大震災からちょうど一年

目にある本年一月十七日、岩手県、盛岡市等各行政機関と合同で、防災訓練が行われた。

訓練は、早朝に盛岡市を中心に行われる。地震が発生し、ライフライン、その他施設等が損壊、火災が発生したとの想定により、非常参集（徒步による参集）訓練から始まった。

阪神・淡路大震災以後発足した広域緊急援助隊は、機動隊に参集後、直ちに出動し、セーフティーコーンで緊急

輸送路を確保しながら交通整理に従事すると共に、住民の避難誘導にあたつた。

訓練の当日は、真冬日が記録され、厳しい寒さの中での訓練であったが、消防車の放水する冷水に濡れながらも全隊員が終始真剣に取り組み、災害発生時に即応するという気持ちを互いに確かめあつた。

木 村 利 光 洋 商 事
株 周 東 商 会
杉 尾 榮 俊
西 戸 栄
白 神 賢
加 納 保 成
中 越 通 運
松 田 鉄 鋼
内 外 運 輸
三星金属工業株
豊 鋼 材 工 業 株
高 橋 重 廣
北 支
（株）機動隊員等を励ます会
（どちらも広域緊急援助隊）

写真右
避難誘導の様子写真上
緊急輸送路の確保

警備の中核

者場の広読



司馬遼太郎氏のこと

木下 英雄
(理事・東京本部)

先月司馬氏がなくなった。ここ数年彼の著作に興味を持つてその殆んどを読み漁っていたが、彼の考へている「日本人とは何か」の解釈が独特なものだけに、惜しい人物をなくしたと極めて残念な想いである。

凡そ歴史を学ぶことは、低学年では事実の羅列とその暗記なので恐ろしく退屈の限りと思つたが、高学年になると社会的経済的背景との組み合わせで歴史がいきいきして来て面白味を感じたものだ。

司馬氏は更に小説のスタイルをとつて歴史を現実に引き戻し、登場人物が生き活きと行動しているから彼の歴史の見方に説得力があるのだと思う。

最近のわが国は、日本人は一体どうなつてゐるのかと嘆く人も多いがこれが本来の姿だとは思えないし、又そう思いたくもない。想えば明治維新をやりとげ急速に日本を近代国家にさせた奇蹟を担つた人物群は我々のごく最近の先輩であり、又この国を敗戦から素晴らしい豊かな国にしたのも我々の間に、最近の世相は一寸おかしくなつて過去の栄光や自信を失いかけているのではないか。明治末期にはじめて我が国を訪れた

中国人が、客待ちの人力車の車夫が新聞を読みふけているのを自國のそれと較べて感心されたり、自分の経験でもタクシーの運転手が外國為替レートを話題にされたりするとニューヨークのタクシーのそれと全くちがうものを感じたものである。

何も江戸時代の「菜の花の沖」の主役の高田屋嘉兵衛や、「坂の上の雲」の秋山貞之等々の人物の再来を願わなくとも、勤勉で好奇心のえらく強いが平凡一般大衆が健在である限り、わが国の社会は充分世界に適応して過ごしうるものと氏の歴史小説を読みながら考えるこの頃である。

脳内革命

橋山 和生
(理事・大阪支部)

標題は今ベストセラーになつてゐる本のタイトル名である。

著者は、東洋医学の家に生まれ、東大医学部を卒業したあと西洋医学に従事し、東洋医学と西洋医学の集大成を目指している。

「病は氣から」とは昔からある諺であるが、これを医学的に証明した。同じ物事をプラスに受け止めると「脳内モルヒネ」が出る。両方の差は大きく、積年の間には人を変えてしまう。

今、がん等不治と言われる病が數々ある。これらの療法にも対処術としての西洋医学の他に、根本治療としての東洋医学が必要不可欠と説く。

一方、予防医学の重要さを説き、「病人が来たら医者は手をついて謝れ」と述べている。

ある朝食会の講師をしていただいた総合病院のオーピングセレモニーに参加した。

その中で「道はまだ半ばですが、これか

らの医学はかくあるべきとの強い信念だけは持っています」とスピーチされた。五六十才の著者であるが、とても若々に興味をも出すと言ひロシヤ・ジャパン基金として残るが、ロシヤは革命後もタクシーの運転手が外國為替レートを話題にされたりするとニューヨークのタクシーのそれと全くちがうものを感じたものである。

何も江戸時代の「菜の花の沖」の主役の高田屋嘉兵衛や、「坂の上の雲」の秋山貞之等々の人物の再来を願わなくとも、勤勉で好奇心のえらく強いが平凡一般大衆が健在である限り、わが国の社会は充分世界に適応して過ごしうるものと氏の歴史小説を読みながら考えるこの頃である。

二度目の敗戦

麻生 博
(理事・東京本部)

司馬遼太郎氏が死去された。私はその読みやすさと独特的の史観にひかれ、多くの作品に接した愛読者の一人である。特に、日清・日露戦争を背景に秋山好古・真之兄弟を中心にして「明治といふ國家」を書いた「坂の上の雲」と弘法大師の一生を書いた「空海の風景」は繰り返し読んだ。

「週間朝日」で、死の直前の対談「日本人への遺言」専事問題は「経済敗戦だ」と讀んだ。彼は昭和三十九年地価が安い理由から東大阪に引っ越しした付近にはねぎ畑(ねぎ一本七円)が多かつたが、宅地に転用すれば坪八万円、実際転用された時は二十万円になつていて。

「労働の価値が吹っ飛び、ものを作る喜びもない。このまま日本全国がそうなれば我々が千年以上もの長い間培つて来たモラルも崩壊するなどその時思った。

喜びもない。このまま日本全国がそうなると、何だか捨て鉢な気持ちです」と絶望的感想を述べている。

彼の作品を思い返した。「國盜り物語」の近江の商人から身を起こし美濃一国を収めた斎藤道二、「播磨灘物語」の秀吉に天下を取らした黒田官兵衛、「箱根の坂」の関東一円を平定した北条早雲、「世に棲む日日」の明治維新の起爆剤となつた吉田松陰と高杉晋作、「花神」の山口の寒村から出て、長州軍を率い東征、近代日本陸軍の基盤を創つた大村益次郎、「峠」の幕末討幕軍と徳川軍の間で長岡藩を中立国たらしめんと努力し倒れた河井継之助、「歲月」の日本に想像はその程度である。坪一億五千円、銀座の地価が坪一億五千円、こんなおとぎ話を人類は考えたことはない。ジャックと豆の木も、ここ掘れワソワソで小判が出来て来るのも荒唐無稽だが、人間の時出來る値段だ。」

西欧法制を導入した江藤新平、「翔ぶが如く」の維新の立役者西郷隆盛と大久保利通、「菜の花の沖」の高田屋嘉兵衛など思い浮かんで来る。何れも、日本の動乱期、戦国時代、幕末維新を日本らしく生き、活躍した人々でもある。

こうした人々を生んだ日本の歴史は素晴らしい。司馬氏が愛した日本人の姿

ポーツマス市に老人や孤児のためにつかつて下さいと申し入れた。ロシヤのウイッテも出すと言ひロシヤ・ジャパン基金として残るが、ロシヤは革命後もタクシーの運転手が外國為替レートを話題にされたりするとニューヨークのタクシーのそれと全くちがうものを感じたものである。

何も江戸時代の「菜の花の沖」の主役の高田屋嘉兵衛や、「坂の上の雲」の秋山貞之等々の人物の再来を願わなくとも、勤勉で好奇心のえらく強いが平凡一般大衆が健在である限り、わが国の社会は充分世界に適応して過ごしうるものと氏の歴史小説を読みながら考えるこの頃である。

全てが過渡期の中で、どの医学を選ぶかは自分自身の判断と選択が必要な時だと感じる。

彼は今日の状況を「太平洋戦争を起こし、負けて降伏したあの事態よりも深刻なのではないか、日本は再び敗戦を迎えたのではないかと考えています」

「ここまで傷んでいるんだぞ」という認識を国民全體が持たなければ、もうジリ貧もなくともいつのまにか日本という国が無くなってしまうかも知れない」

「少なくとも土地をいたぶつたという意味で決算をしておかないと、次の時代は来ない」「土地投機を苦々しく見てきた者としては、何だか捨て鉢な気持ちです」と絶望的感想を述べている。

彼の作品を思い返した。「國盜り物語」の近江の商人から身を起こし美濃一国を収めた斎藤道二、「播磨灘物語」の秀吉に天下を取らした黒田官兵衛、「箱根の坂」の関東一円を平定した北条早雲、「世に棲む日日」の明治維新の起爆剤となつた吉田松陰と高杉晋作、「花神」の山口の寒村から出て、長州軍を率い東

福岡市中央区渡辺通ホテルニユーワンタニにおいて、九州支部総会を開催いたします。

○五月二十四日(金)午後六時より、京都港区元赤坂明治記念館において通常総会を開催いたします。

○九二一七一四一一一

○五月二十四日(金)午後五時より、東京都港区元赤坂明治記念館において通常総会を開催いたします。

お知らせ

早く住専問題を解決して、健全な経済機構を再構築して、以前に増して明るい日本が羽ばたき、司馬氏の危惧が

続々と受け継いで来た素質でもあった。私の近くでも、バブル期に財テックに走り、多大の損失を出した会社がある。個人でも株・ゴルフ会員権・マンションなど財テックに走つて損をした人がいる。黙しているが、さぞ後悔しているようだ。

二度とこのような愚を繰り返す事もないであろう。日本人は心から反省しているようだ。

綿々と受け継いで来た素質でもあった。私の近くでも、バブル期に財テックに走り、多大の損失を出した会社がある。個人でも株・ゴルフ会員権・マンションなど財テックに走つて損をした人がいる。黙しているが、さぞ後悔しているようだ。

綿々と受け継いで来た素質でもあった。私の近くでも、バブル期に財テックに走り、多大の損失を出した会社がある。個人でも株・ゴルフ会員権・マンションなど財テックに走つて損をした人がいる。黙しているが、さぞ後悔しているようだ。

綿々と受け継いで来た素質でもあった。私の近くでも、バブル期に財テックに走り、多大の損失を出した会社がある。個人でも株・ゴルフ会員権・マンションなど財テックに走つて損をした人がいる。黙しているが、さぞ後悔しているようだ。

綿々と受け継いで来た素質でもあった。私の近くでも、バブル期に財テックに走り、多大の損失を出した会社がある。個人でも株・ゴルフ会員権・マンションなど財テックに走つて損をした人がいる。黙しているが、さぞ後悔しているようだ。

平成八年度事業計画案及び平成八年度予算案承認の件
(第一号議案)

平成七年度事業報告及び平成八年度決算報告承認の件
(第二号議案)

平成八年度事業計画案及び平成八年度予算案承認の件
(第三号議案)

理事の退任及び選任の件

○五月三一三四〇三一一一七一

○五月二十八日(火)午前七時より、東京都明治神宮外苑絵画館前広場に

おいて「警視庁機動隊観閲式」が開催されます。

参加される方は、五月十日(金)まで事務局までご連絡ください。

皆様の参加をお待ちしております。

今月の言葉

現代の文明社会においては、世の中の動きが非常に速く、ともすれば科学や技術の進歩とともに、人間社会の問題も急速に進歩しているかと思われ勝ちであるが、仲々そういうはなでないのである。

特に、人間の本質に係わる問題は、古代から今日まで洋の東西を問わず、同じようなことが何回となく繰り返されているが、われわれは、その中に今日的な視点からの教訓を見出している。

産業構造が大きく変化する中で、リストラの問題となると、上杉鷹山の伝記が、多くの人々にモテやされ、共感を呼ぶのは、士農工商という身分制の厳しい江戸時代に、武士階級の人々の意識改革をし、

クリントン米大統領来日警備見事完遂!



四月十六日から十八日までの三日間、クリントン米国大統領夫妻が国賓として来日された。橋本首相との会談や、米軍基地の視察など、在日は忙しいスケジュールをこなされたお二人であつたが、各地の機動隊員等の警備により、無事帰国のお途につかれた。

クリントン米大統領は、滞在中明治神宮外苑などを早朝ジョギングされ、一般の人たちと握手を交わしたり、ヒラリーフル夫人は、日本女性らと会食されるなどという一幕もあり、首相らとの会談の他にも、精力的にスケジュールをこなされた。

当時、いやしいとされた商人感覚での財政直しを実行した勇気と決断である。

勿論、新旧体制下の人々の間に激しい葛藤が繰り広げられたが、それを乗り越え、改革が成功したのは、その目的を國や民を

国際化が進み、各國との交流が急速に拡大する中で、日本人の感覚や考え方が欧米の人達から異端視されている一因に、日本人の無宗教的な感覚があるのではないかといわれている。

生活、文化の中に根付いている欧米のキリ

歴史に学ぶ

せ、かつ、根底に國や民に対する藩主の深い愛情があつたからである。トップ自らが率先垂範をし、単なる減量ではなく、積極的な拡大再生産や、新事業興しを行い、人に希望を与えるやり方は、今日の構造改革の中に

ストラ、民族や宗教を守るために命をかけているイスラム教等、宗教はそれぞれの國や地方の人々の心に、永年にわたり奥深く浸透し、生活や思想の原点になつてゐる。それに比べ日本人の生活の中には、冠婚

葬祭に、神道、仏教等が混在し、一貫した宗

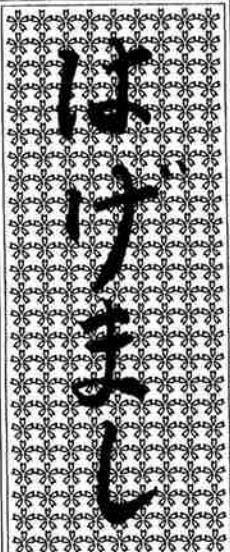
(理事・北海道支部長 小原信二)



▲隊旗



▲授与式のようす



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)



▲検問のようす



▲ホテルでの警戒

警察庁は五月八日、ハイジャックや銃器使用等の凶悪犯罪に対応するため

の警察の特殊部隊(「S A T」)を設立された各都道府県の機動隊長等二十一名が出席し、長官から各機動隊長に「S A T」

で隊旗授与式を行つた。

授与式には國松長官等の警察庁関係幹部のほか、特殊部隊が設置された各都道府県の機動隊長等二十一名が出席し、長官から各機動隊長に「S A T」の文字と稻妻を組み合わせた隊旗が授与された。

また、國松長官は、「特殊部隊は治安の最後の砦。強靭な体力と氣力、高度の専門知識と技能が要求される。いついかなる事案が発生しても対処できるよう万全の備え」と訓示した。

これを受け、隊員を代表して警視庁特殊部隊の隊長が、「いかなる困難な任務も、身命を賭して完遂することを誓つた」と力強い決意表明を行つた。

ハイジャック・テロ解決に 「特殊急襲部隊」発足

五月のテーマ 士気を高める方法

近畿管区機動隊



草野 竜也

平成八年三月で早くも、近畿管区機動隊滋賀小隊員として一年が経ちました。昨年は、阪神・淡路大震災の災害警備を始めとし、APEC警備等の各種警戒警備に精力的に従事しましたが、これら全ての警備実施期間中は、本当に長く、辛い時間でありました。しかし、今振り返ってみると、私の警察人生にとって本当に貴重な経験であつたと喜んでいます。

幾多の警備出動を経験しましたが、特にAPEC大阪会議の警備出動では、警備情勢は勿論のこと、あらゆる面で困難の多い警戒警備でしたが、無事任務を完遂できたのは、滋賀小隊全体の「士気」が高かつたからだと思います。辛く厳しい勤務の中でも、分隊長や先輩方の細やかな気配りのお陰で、精神的・肉体的疲労も回復し、知らぬうちに勤務に対する意気込みが高まつていったのです。このような分隊での雰囲気作りが、小隊全体の士気の高揚につながったものと思っています。

私も、四月からは先輩隊員となり、新隊員を引っ張つていく重要な立場となつた訳ですが、私は、滋賀小隊全体の士気を高める方法として、「率先垂範」を第一に心がけています。昨年よりも自分に厳しく、苦労は新隊員よりも先に買って出て、何事も自分から積極的に取り組む等、仕事に対する意気込みを見せつけたいと思っています。

こうすれば、他の隊員達も自然と積極性をもち、小隊全体の士気も絶対に上がるものと信じています。今年の私のテーマは、「滋賀小隊の先導役になること」です。

中部管区機動隊



猪坂 耕平

私は、部隊の士気の高揚は、個人の気の持ち方次第で達成できると考えます。

昨年度中、阪神・淡路大震災やオウム真理教関連事件等に伴う出動が重なり、いずれの場合もかつて経験がないぐらいの厳しい勤務環境、条件の中に置かれていました。このため肉体的にも精神的にも大きな負担となり、ややもすると部隊としての士気が低下しがちとなつたことは事実です。

確かに、災害警備等の出動は隊員各個に多大な負担を与えますが、それは仕事としてやらされていると考えるから辛いのではないかと思います。

私は以前、オリックスのイチロー選手があるスポーツニュースで、リポーターの「すごい練習をしていますが辛くないのですか」という取材に対して、「練習は楽しくて仕方ありません。バッティングマシンは僕のおもちゃです」と答えているのを聞き、仕事も遊びの感覚を持って取り組むと、気の持ちかたも変わつてくるなどと感心したのでした。

この後、私は隊員が何かにつけて辛そう顔をしている時は、「心の底から樂しんでやれよ」と声をかけ、自らも楽しむ心を忘れないよう心がけている次第です。

今年も迎えるであろう厳しい治安情勢の中、出動の都度、仕事であつても楽しむ心をもつて勤務に励み、士気の高い部隊になるよう頑張る決意であります。

私が機動隊の分隊長として、昨年四月に着任して以来、函館空港における全日

空機ハイジャック事件、APEC大阪会議に伴う特別派遣、豊浜トンネル崩落事故等多種多様な警備事案を経験した。

これらの部隊活動を通じて感じられたのは、部隊を迅速、的確に動かすためには、いかに部隊の士気を高めるかである。

そのためには、幹部と隊員との間に絶大なる信頼関係を築き上げることによる

部隊の一休感を作ることが大切である。

私は、分隊長二年目を迎えるにあつて、部隊の士気を高めるため「情熱的で先見性を持ち、部下に対する深い愛情に裏打ちされた厳しい指導と、結果に対する責任を持つ幹部」となるよう部下からの信頼を確立して、部隊全員の心を一つにしたいと思っている。

まだ、雪の残るグランンドで、士気みなぎる部隊を目指して、今日も隊員とともに警備訓練に汗を流している。

私が勤務する栃木県警察機動隊は、昨年は阪神・淡路大震災をはじめとして、一連のオウム真理教関連事件、APEC出動など、長期間の県外出動がありました。いずれの出動も概ね期間は二週間。そして、勤務は二交替制と過酷な勤務でした。

これらの出動の中で、私が実践している「士気を高める方法」をご紹介致しました。

それは、「走ること」です。私は、現在、機動隊員と駆逐特練員という二足のわらじを履いております。中学生時代から長距離選手として走つておりましたので、走ることは、生活の一部となつていて毎日走ることによって生活のリズムが保たれ、体調も最高の状態に保つことができます。出動先でも当番の朝、非番の日など、時間を見つければ走ります。こうして毎日走ることによって生きのびます。

これは、「走ること」です。私は、現在、機動隊員と駆逐特練員という二足のわらじを履いております。中学生時代から長距離選手として走つておりましたので、走ることは、生活の一部となつていて毎日走ることによって生活のリズムが保たれ、体調も最高の状態に保つことができます。そして、何よりも、汗をかくことにより過酷な勤務で溜まったストレス等が解消されて爽快な気分になります。

しかし、出動先で走る時に、特に私が走っているのは、病気や怪我です。

出動先で病気や怪我をすれば、「何しに来たんだ」ということにもなりかねませんので、疲労を残さないよう、走る時間

現在、小隊長となり二度目の機動隊勤務を命ぜられたが、機動隊を取り巻く環境が変化したことにより、治安警備の中核としての部隊以上に、高度な技術を有する機能別部隊が強く要求されている現状を痛感した。

しかし、部隊活動の根本はいつの時代も変わるものではなく、

「訓練で泣き、本番で笑え」

を実践することこそが士気のある部隊を築き上げるものである。

福井県警察機動隊



明 井上

「機動隊員たる者、常に士気を高く持ち、平素からの訓練に励み、有事に備えなければならぬ」私が機動隊に入隊して間もない頃、当時の隊長が教養された言葉です。

以来、私がこの言葉を教訓に、出動の際等に士気を高めるため実践している二点について紹介したいと思います。

その一点目が「声を出す」ということです。

機動隊員は、常に厳しい訓練を重ね、いざ出動という時にはその任務完遂のために、全力を尽くさなければなりません。

これまで、私がこの言葉を教訓に、出動の際等に士気を高めるため実践している二点について紹介したいと思います。

その二点目が「声を出す」ということです。

機動隊員は、常に厳しい訓練を重ね、いざ出動という時にはその任務完遂のために、全力を尽くさなければなりません。

「大きな声」を出すことによって、自分自身を奮い立たせ、厳しい訓練を乗り越えることができるものだと思います。

出動においても「声を掛け合う」ことは任務に緊張感を持たせ、事故防止につながるとともに、隊員の一致団結に大きく影響してくるのではないかと思います。

二点目は「仕事に誇りを持つ」ということです。

分隊長として、分隊員に対し、訓練で汗を流し、猛暑、嚴寒の中、共に訓練で汗を流し、猛暑、嚴寒の中、治安警備に従事していたものであるが、常に頭に置いていたことは

「隊員の先頭に立つ」ことであった。

何時如何なる時でも、士気旺盛にして精強な部隊の指揮官は、適時適切な判断力が要請される他、部隊の先頭に立ち、部隊を引っ張る力を有していない

たあとは、うがいをしたり保温をしたりと、アフターケアには万全を期します。以上が、私が実践している「士気を高める方法」です。

福井県警察機動隊



浩一 高嶋

滋賀県警察機動隊



谷村 肇

昨年は、阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件等オウム真理教に係わる一連の事件、銃器使用犯罪の多発など治安の根幹を握るがしかねない事案が発生するとともに、今後いつ何處で、何が発生するかも分からぬ治安情勢の中で、私たち機動隊員に対する期待は、大きいものがあります。

そこで、部下隊員の旺盛な士気を高めるため小隊長として、各種出動現場において、常に心がけ、考へていて、それを述べてみたいと思います。

第一に自らが自信と信念を持ち、任務を遂行することです。

第二に各隊員の個性、能力に合わせた具体的な任務の指示、指導です。

第三に隊員が勤務しやすい環境と雰囲気づくりです。

第四に各隊員の健康状態の把握です。

第五に各種受傷事故の防止です。

最後に、隊員に対する労いの言葉と感謝の気持ちを忘れてはならないと思います。

以上、士気の高揚を図るには、いろいろな方策が考えられます。私にとっての士気高揚の基本は、隊員とともに訓練で、現場で、汗を流し、苦楽と共にする中で生まれてくる連帯感、団結心だと考えてています。



西尾 透

遅く宿舎に帰るという厳しい勤務が続いていると思います。

第四に、各隊員に責任を持たせることです。いわゆる任務付与ですが、個々に責任を持たせることによって、「上司は自分にこれだけの信頼をおいてくれているのだ」という自信ができ、それが積み重なってきます。

極度に緊張するのでないでしょうか。以上のことでだけが、士気の高揚方策ではありませんが、これらの点を念頭におき、今後分隊長として、精強な部隊の育成に努めたいと思っています。

また、出動の度に「警備の主役は君だ」という、あの言葉を思い出し、士気を高めることに努めてきたものです。

現在私は機動隊の小隊長という立場にあるが、警備に臨む隊員には、個々の役割の重要性というものをよく認識させ、一人ひとりが警備の主役であるという自觉のもと高い士気を保持させることに努めています。

豊浜トンネル崩落事故 にっぽん 北から南から

北海道警察機動隊 救出活動



吉岡 茂生

北海道警察機動隊では、昨年六月発足した広域緊急援助隊を出動させ、被災者の救出・救助活動等に従事した。救出・救助活動は、風雪舞う厳寒期で、かつ国民が注視する中、トンネル上部壁を押し潰され、走行中の路線バスと普通貨物自動車を襲った。

我々機動隊は、集団警備力の中核として日々厳しい訓練を行っています。この集団警備力を充分發揮するためには、各隊員が一丸となることが必要です。私はこの任務を全うするための士気を高める方策として、次のようなことを考えております。

まず第一に、何か一つ全体の目標を作ることが必要です。そして、その目標を達成すべく、個々の隊員が一致団結した時、そこに初めて士気が生まれてくるのだと思います。

第二に、士気を高めるとは、結局個々にやる気を持たせるということです。そのため、まず仕事をするための環境作りを行うことが重要です。厳しい中にも楽しい環境があることによって、心にゆとりができ、今度は何かに取り組もうとする前向きの姿勢が生まれてくるのではないか。

第三に、任務の重要性を教えることが大切です。治安警備、災害警備等々の重要性を各隊員に認識させることによつてこれら警備訓練の際、気合のこもつた訓練ができる、実践においてこれが生き残ります。

「警備の主役は君だ」平成元年、昭和天皇の崩御に伴う大葬の礼警備出動の際、宿舎の壁に記されていた、我々派遣隊員に対する激励の言葉である。まだ日が暗いうちに宿舎を出発し、夜

若さと伝統 青山特殊鋼株 鈴木
頑張れ機動隊 實

片や縦横に交差する鉄筋等に阻まれ、困難を極めた。北海道警察広域緊急援助隊員は、救助を待つ被災者の早期救出を胸に秘め、懸命な救助活動に当たったが、被災者全員が死亡して発見されるという最悪の結果となつた。中でも被災した路線バス内の子供をかばうようにして発見された親子の姿は、救助に当たった隊員の涙を誘つた。今回の豊浜トンネル崩落事故災害警備を通じ、救助技術に上限がないことを痛感した。

日々訓練を合言葉にいかなる事態にも迅速的確に対処し得る技術の向上を目指し、装備資器材の習熟訓練に努める。ことはもとより、どんな困難な現場でも乗り越えることができる強靭な体力、気力の練成に努めるなどを決意したところである。

日々訓練を合言葉にいかなる事態にも迅速的確に対処し得る技術の向上を目指し、装備資器材の習熟訓練に努める。ことはもとより、どんな困難な現場でも乗り越えることができる強靭な体力、気力の練成に努めるなどを決意したところである。

車、放水車、投光車等の点検、取扱い訓練から始まり、その後、交通事故車両を想定して、エンジンカッター、オイルツールを活用し、ドアを切断したり、エアーダイヤッキにより、車を持ち上げ救出する訓練を行つた。時折、季節はずれの雪がちらつく中、各隊員はそれぞれの任務を確実にこなし、熱の入った訓練となつた。

当隊では、今後も車両、各装備資器材を一人ひとりが確実に使いこなし、現場で迅速に対応できるよう、また、県内に出動はもちろんのこと、県外派遣出動においても的確に対応できるよう、日々訓練視閲を行つて、訓練視閲を受けた。

当隊では、昨年以来、各種特殊車両とバースコープ等の各救助装備器材が配備強化され、その取扱いの習熟に向け、日々訓練に励んでいるところである。

今回の訓練視閲内容は、レスキュー

新装備の本部長視閲の実施

福井県警察機動隊

福井県警では、四月十一日、県機動隊、第一機動隊の本部長視閲を行つた。

部隊視閲の後、県機動隊員による特殊車両と災害救助資器材の展示、取扱い要領訓練視閲を受けた。

当隊では、昨年以来、各種特殊車両とバースコープ等の各救助装備器材が配備強化され、その取扱いの習熟に向け、日々訓練視閲を行つた。

第三に、任務の重要性を教えることが大切です。治安警備、災害警備等々の重要性を各隊員に認識させることによつてこれら警備訓練の際、気合のこもつた訓練ができる、実践においてこれが生き残ります。

「警備の主役は君だ」平成元年、昭和天皇の崩御に伴う大葬の礼警備出動の際、宿舎の壁に記されていた、我々派遣隊員に対する激励の言葉である。まだ日が暗いうちに宿舎を出発し、夜

者場の広読



カデシユの条約

塩田 保
(理事・名古屋支部)

トルコのイスタンブール考古博物館に、掌大ほどの二片の焼入れ粘土板があり、一部の欠落はあるが、全面にヒツタイトの楔形文字が刻まれている。これは、トルコ中央部アナトリアに在る古代ヒツタイト王国の都ハトウサの発掘によって発見されたもので、記録に残るものとしては人類史上最古の平和条約とされる「カデシユの条約」の一部分であるらしい。

時代は紀元前十三世紀の半ば頃、強大なエジプト王国と、西アジアのヒツタイト王国が現在のパレスチナ辺りを舞台に、永年戦火に明け暮れていた。(日本では未だ縄文の半ば頃で、弥生は更に千年程かかる)

そして、ラムセス二世率いるエジプトの大軍と、ヒツタイト王ムワタリヌの軍勢が、遂に、現在のベイルートとダマスカスの中間辺りのカデシユの地で対決し、総力を挙げての壮絶な戦反撃で、最終的には決着が付かず、両軍共に何万という人命の消耗だけが残ったようである。

その後暫くして、戦い疲れた両国の間で、今日でいう停戦平和条約が結ばれるに至った。この事は、エジプト側

にもカルナク神殿の碑文等の記録が残されているとのことで、事実に間違はない。案内書によると「ヒツタイトはエジプト人をラムセス王の下に送り返す。ラムセス王はその人達の罪をとがめず、家族共々一切の罰を受けることはない。若しこの約束を破つたものは、エジプトの神々、ヒツタイトの神々から厳罰を受けるであろう」との大意である。

今更言うまでもないが、この戦いのあつた辺りは、近年レバノン内戦で戦火の絶えることがなかつたし、その中での何十万、何百万の難民の姿は、我々の記憶に生きしい。又、少し離れたボスニア、或いはアフリカでも同様の事態が現在進行中である。むしろ世界各地に拡大する傾向すら感じられて、暗澹たる気持ちになつてしまふ。

カデシユの条約が結ばれてから三世紀の間に、果たして人類は進歩したのだろうか。尚、ニューヨークの国連本部ビルのロビーにこの「カデシユの条約」のコピーが飾られている。

カデシユの条約が結ばれてから三世紀の間に、果たして人類は進歩したのだろうか。

海の中橋本誠

(理事・北陸支部)

「五十の手習い」という事になるのだろうか、六年前の五十才の誕生日を迎える頃、通っていたスポーツクラブへ迎える頃、通っていたスクーバダイビングの講習を始める

もう年齢的に遅すぎるかと質ねると「そうでもない」と言う消極的肯定と受け取れる答えたので、早速、実技座学、海洋実習のテストを受けて

「Cカード」を取得、晴れてスクーバダイビングとなつたのだつた。

（日本では未だ縄文の半ば頃で、弥生は更に千年程かかる）

そして、ラムセス二世率いるエジプトの大軍と、ヒツタイト王ムワタリヌの軍勢が、遂に、現在のベイルートとダマスカスの中間辺りのカデシユの地で対決し、総力を挙げての壮絶な戦反撃で、最終的には決着が付かず、両軍共に何万という人命の消耗だけが残ったようである。

その後暫くして、戦い疲れた両国の間で、今日でいう停戦平和条約が結ばれるに至った。この事は、エジプト側

タンクを背負つて海の中へ入つて見ると、海とは人並み以上に縁はあつたのではない。本題の粘土板の記録の内容であるが、これがなんと難民、捕虜の取扱いという極めて今日的な問題らしい。案内書によると「ヒツタイトはエジプト人をラムセス王の下に送り返す。ラムセス王はその人達の罪をとがめず、家族共々一切の罰を受けることはない。若しこの約束を破つたものは、エジプトの神々、ヒツタイトの神々から厳罰を受けるであろう」との大意である。

佐渡の五月は、水温が十三度程度だが、カラ松林を思わせるような、黄色いわゆる行きつけの海水浴場がほとんどであつたからである。

ホンダワラの林立が見られるし、夏は一面の緑の藻の大草原、そしてそこに居る魚達は、予想外にフレンドリーで、身近に居て逃げる様子もない。又、沖縄のサンゴ礁や、カラフルな魚群、マンタの群れなどを見るに及んで、一気にダイビングの虜になつたのであつた。

夜の海も初めての経験だつた。ダイビングのガイドは経験年数、資格によつてコースが定まるが、最初のナイトダイビングの、スポットに向かうボート上は、初心者ばかりのせいで、みんな緊張から無口であつた。真黒の海の中へ、懐中電灯の一筋の光だけを頼りに潜ることは、お化け屋敷に踏み込むよな緊張を伴う。しかし、夜行性の海老や魚が泳ぎ廻る様や、昼間は開いていない花を咲かせているサンゴや、イソギンチャクが、電灯の光の中に浮かび上がつてくるさまは感激なのである。一方、夜行性でない魚達が、大小を問わず、岩蔭や小さな窟みに身を潜めて棲んでいる様も愛らしいものである。

海の中の世界は、陸上にも勝つても劣らず、豊かで変化に富んでいる。ダイビングを始めて友人から良く聞かれることが二つある。一つはその危険性であるが、「陸上のネオンの海を泳ぐよりも安全だよ。しかし万一の時も、護つてくれるオマワリさんも居ないけどね。」と答えているが、ここでも大自然が相手であれば、基本に忠実であることが要求される。

二つ目は、「せつから海へ潜り、なにも（魚や貝などを）獲つて来ないのか、

漁場をダイバーが荒らすことが潜れるスポットの制限になつていたが、ようやくマナーも向上し、スポットも数を増して来ている。

心配なのは、海の荒廃である。護岸工事等で海岸線がコンクリートで固められると陸との自然循環がそこで遮断されると、海の中は一般の目にふれないだけ小生にとつても、全くの別世界のよう感じられた。無理もない。海の中を見たのは七月、八月の水泳シーズンの、いわゆる行きつけの海水浴場がほとんどであつたからである。

ターンを背負つて海の中へ入つて見ると、海の中は一般的にふれないだけに自然破壊が急速に進んで居るようになり、ここでも人間の観智がためさる。ここでも人間の観智がためさる。ここでも人間の観智がためさる。

第47回全国植樹祭開催される

五月十九日(日)都内「辰巳の森浜公園」「中央防波堤内側埋立地」「檜原都民の森」の三か所において、「第四十七回全国植樹祭」が行われた。この

全国植樹祭は、戦乱による国土の荒廃から、緑豊かな国土を取り戻すための国土緑化運動の中心的行事であり、毎年国土緑化推進機構と開催県との共催により挙行されている。今年も、天皇皇后両陛下によるお手植えのご垂範をはじめ、全国各階層の代表者の記念植樹を通して、国民の森林に対する愛情を培うとともに、生活環境の緑化を図ることなどを目的として、一般参加者を含む千二百名によつて行われた。

今回は辰巳の森浜公園、中央防波堤内側埋立地の二会場で天皇皇后両陛下がヒノキやイチヨウ、ヤブツバキなどを手まき、お手植えされた。

これに伴い、警視庁では、五月七日から開催日には一万三千人を動員して

百点を押収するなど、不穏な動きも見られたが、普段の訓練の成果を発揮し、いずれも見事に任務を完遂されている。

夜の海も初めての経験だつた。ダイビングのガイドは経験年数、資格によつてコースが定まるが、最初のナイトダイビングの、スポットに向かうボート上は、初心者ばかりのせいで、みんな緊張から無口であつた。真黒の海の中へ、懐中電灯の一筋の光だけを頼りに潜ることは、お化け屋敷に踏み込むよな緊張を伴う。しかし、夜行性の海老や魚が泳ぎ廻る様や、昼間は開いていない花を咲かせているサンゴや、イソギンチャクが、電灯の光の中に浮かび上がつてくるさまは感激なのである。一方、夜行性でない魚達が、大小を問わず、岩蔭や小さな窟みに身を潜めて棲んでいる様も愛らしいものである。

海の中の世界は、陸上にも勝つても劣らず、豊かで変化に富んでいる。ダイビングを始めて友人から良く聞かれることが二つある。一つはその危険性であるが、「陸上のネオンの海を泳ぐよりも安全だよ。しかし万一の時も、護つてくれるオマワリさんも居ないけどね。」と答えているが、ここでも大自然が相手であれば、基本に忠実であることが要求される。

二つ目は、「せつから海へ潜り、なにも（魚や貝などを）獲つて来ないのか、



お知らせ

(第三号議案)
理事の退任及び選任の件

◎四月二十四日、匿名氏より五十万円のご寄付を頂戴しました。当会の運営のため、有効に使用させて頂きます。ありがとうございました。

◎六月十一日(水)午後五時より、東京都港区元赤坂二二二一「明治記念館」において、通常総会を開催いたします。審議される議案は、

(第一号議案)
平成七年度事業計画案及び平成七年度決算報告承認の件

◎七月十一日(木)午後五時より、千葉市中央区千葉港七一一「ホテルニユーツカモト」において、千葉支部総会を開催いたします。

◎四三二二四三一一一一一

皆様多数の参加をお待ち申し上げます。

今月の言葉

「TBSは今日死にました」と某有名キャスターが名文句?をつぶやいたら、「昨日までは健康に生きていたつもりなのか」と揚げ足を取られる始末。ワイドショーに限らず「偏向」までもいかないお粗末な番組作りの一端が図らずも衆目を集めた感じだが、これとて氷山の一角、誰も根本的に問題が解決されたとは思っていない。

テレビ文化が時代の寵児として一世を風靡し、これほど倫理や使命感が必要な職業もあるまいに、その見返りに許される、人も羨む高給取り生活にどっぷり漬かっているうちに、僅か五十年の年月も持ち堪えられずに腐

情 報

の 選 択

敗していく姿は「テレビよ、お前も人の子か」では済まされない。人の造るシステムが時と共に腐敗すること、この原則が政治、金融あらゆる世界で目の中に晒される現在、「これを糾弾するには結局は自らの耳目を鍛えるしかな

ど、人心惑乱罪というようなものが生まれ、と思ってしまう。言論の弾圧も自由なことに違いあるまいが、無責任な自由が造る罪も困ったものである。ある識者が「インターネット流行りだが、少なくとも現時点でのインプットされ

ている情報はゴミばかり」と喝破している。日本を代表するような知性でも碩学でもない単なる喋り屋さんであるニュースキャスターや、ましてやチンピラ人気タレントがディスクジョッキーと称していっぱいの評論家気取りでニュースを断

花太鼓が女性のみの手によりリズミカルに乱打され、その鳴り響く音は、若い隊員の日頃の労苦を吹き飛ばすかのようであった。太鼓に続いて新日鐵ハニーハワイアンズの歌とバンド演奏があり、会はいよいよ佳境に入つた。

（理事・九州支部 自見眞清）

万雷の拍手に迎えられ

第19回 九州支部総会開催

会員・隊員300名が一堂に



ほ
う
も
じ

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

第十九回九州支部総会並びに懇親会は、去る五月二十四日(金)午後六時より「ホテルニューオータニ博多」の「芙蓉の間」において盛大に挙行された。

総会は、鈴木本部理事長、支部役員、一般会員等約二百三十名の励ます会側の万雷の拍手に迎えられ、井野忠彦

九州管区警察局長殿、加藤孝雄福岡県

警察本部長殿を先頭に、「機動隊員をたえる歌」のメロディが流れる中を、九州管区警察局、福岡県警察本部の幹部並びに管区機動隊員、福岡県警察機動隊員等百十名の堂々の入場で始まつた。

まず、支部を代表して高橋支部長が立ち、「昨年は、阪神大震災、オウム真理教事件、APEC大阪会議への県外派遣が頻発したにもかかわらず、隊員の皆様が日頃の訓練で培つた團結力と行動力を發揮してその任を全うされたことに心から感謝と敬意を表するとともに、民生安定のために練度を高め、精銳としての活躍を期待する」と激励した。次いで、本部を代表して鈴木理事長が挨拶に立ち、まず機動隊員の日頃の労をねぎらい、治安警備に万全を期して頂くよう隊員を激励し、国民との架け橋となるよう努めるとの決意の

披露があつた。

次に来賓挨拶に入り、まず、井野九

州管区警察局長殿より当会の活動に対

する謝辞の後、昨年以来の機動隊員の活動状況が報告され、更に、管区内に

おいても「沖縄米軍基地の移転の問題

や大分県日出生台における日米共同訓

練、その他災害警備、警衛警備等が予

想され、治安維持の「要」である機動

隊の役割は、益々重要さを増している。

このような情勢の中、機動隊員が誇り

を持って任務を遂行できるのも、「励ま

す会」の暖かいご支援に負うところが

大きい」と当会への一層の理解と協力

が求められ、隊員に対しては「いつい

かかる事態においても『治安維持の最

後の皆』たる自覚と誇りを持つて、常

に全力を尽くして皆様の負託に応えて

いただきたい」と訓示があった。加藤

福岡県警察本部長殿からは、励ます会

の日頃の支援活動に謝辞が述べられる

とき、現代文明の貧困さを嘆かざるを得な

い。

現実の場面が混乱してきた時は昔から

いた。流行に惑わされることなく、人間の

歴史知新、古典に学べ、と言われて來

た。温故知新、古典に学べ、と言われて來

た。流行に惑わされることなく、人間の

歴史を通じて人の世の原理原則として伝

えられている先人の知恵にこそ学ぶ必要

がある時代であろう。

国民が国家に求める最大の要求、期待

は「安全」である。あらゆる世界の倫理

の使命は相対的にますます重要なものと

なっています。最後の砦を死守する覚悟

で頑張って頂きたいと思います。

（理事・九州支部 自見眞清）

警視庁より感謝状を頂きました

本年四月から五月にかけての、クリントン米大統領来日警護の際の当会の協力に対して、六月十一日に警視総監より感謝状を頂戴しました。当日は、警視庁高橋清孝警備第一課長が代理としてお越しくださいました。



▲右が高橋賢介第一課長、左は鈴木理事長

とともに、機動隊員に対する対応は、治安の扱い手としてひきつづき職務に精励し、たゆまぬ努力、訓練により、県民の皆様の信頼に応えてほしいとの訓示があつた。

次いで当支部の飯田理事の音頭で乾杯の杯が高々と挙げられ、懇談に入つた。

宴たけなわとなる中、大宰府の梅の花太鼓が女性のみの手によりリズミカルに乱打され、その鳴り響く音は、若い隊員の日頃の労苦を吹き飛ばすかのようであった。太鼓に続いて新日鐵ハニーハワイアンズの歌とバンド演奏があり、会はいよいよ佳境に入つた。

はじめ五人の機動隊員によりそれぞれ州管区警察局長殿より当会の活動に対する謝辞の後、昨年以来の機動隊員の活動状況が報告され、更に、管区内においても「沖縄米軍基地の移転の問題や大分県日出生台における日米共同訓練、その他災害警備、警衛警備等が予想され、治安維持の「要」である機動隊の役割は、益々重要さを増している。

このような情勢の中、機動隊員が誇りを持って任務を遂行できるのも、「励ます会」の暖かいご支援に負うところが大きい」と当会への一層の理解と協力が求められ、隊員に対しては「いついかかる事態においても『治安維持の最後の皆』たる自覚と誇りを持つて、常

に全力を尽くして皆様の負託に応えていただきたい」と訓示があった。加藤福岡県警察本部長殿からは、励ます会の日頃の支援活動に謝辞が述べられるとき、現代文明の貧困さを嘆かざるを得ない。

現実の場面が混乱してきた時は昔からいた。流行に惑わされることなく、人間の歴史知新、古典に学べ、と言われて來た。温故知新、古典に学べ、と言われて來た。流行に惑わされることなく、人間の歴史を通じて人の世の原理原則として伝えられている先人の知恵にこそ学ぶ必要がある時代であろう。

国民が国家に求める最大の要求、期待は「安全」である。あらゆる世界の倫理の使命は相対的にますます重要なものとなっています。最後の砦を死守する覚悟で頑張って頂きたいと思います。

（理事・九州支部 自見眞清）

そこで私は現在、剣道の特別訓練員として毎日のように武道小隊の先輩方と一緒に稽古を行っている。稽古は厳しいけれど、これも強い精神力を身につけ、強い機動隊員になるための一つの修業であると歯を食いしばつて頑張っている。

私はまだ機動隊員としてわからないことだらけの新隊員である。今のうちに分からることは先輩方によく聞き、また自ら勉強するなどして早く自分のものにするという意識と、何事も自ら積極的に元気よく取り組む姿勢をもつて、これまで先輩たちが築いてきた機動隊の伝統と誇りを守るため、一日も早く一人前の機動隊員になれるよう努力精進していきたい。

私は、平成八年三月二十二日、私は新隊員として第一機動隊の門をくぐった。
「第一機動隊勤務を命ぜられました」氣合を入れて申告した私の心中には、一瞬大きな期待と不安が広がった。それまで機動隊のことは、上司や先輩たちから聞いていたが、実際着隊してみると右も左もわからず、最初の頃は戸惑いの連続であつた。

そして、機動隊に着隊して、まず感じたことは、「活気がある」ということである。

初めて機動隊の勤務についていた私は、機動隊員の「機敏な動き」、「力強さ」、そして何よりもみんなが「誇りをもつて仕事をしている」という姿に感動した。と同時に私は、機動隊に来て本当に良かったという感激でいっぱいになつた。

だがその反面、今日にいたるまで先輩方が汗と血と涙で築いてきた機動隊の良き伝統と歴史を守り、そして後輩に引き継いでいるところだらうかといふ不

安を感じた。

私は「夢」は、次の二点である。

「警部補昇任試験合格」「各種、資格試験完全取得」

公言するには、あまりにも漠然すぎ実に実行しながら、今度こそ努力を惜しまず「夢」に向かつて邁進していくべき意味がない。

私は、今のこの気持ちを大切にし、若い隊員とともに分かれ合い、与えられた任務を部下とともに、一つずつ着実に実行しながら、今度こそ努力を惜しまず「夢」に向かつて邁進していくべきではないか。



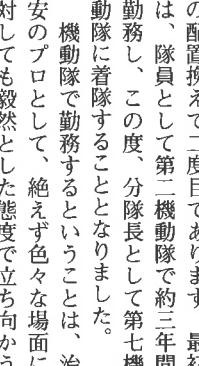
警視庁第一機動隊
長澤 康孝



警視庁第三機動隊
舟川 祐明



警視庁第五機動隊
瀧谷 真



6月のテーマ 新隊員としての抱負

今年も沢山の新隊員の皆さんのが機動隊へ入隊しました。混沌とする我が国の中を守る最後の一歩としての意気込みをお聞きしました。



警視庁第七機動隊
永友 博康



警視庁第九機動隊
岩井 一男

国籍が違ひ、かつ初対面であるにもかかわらず、同じ目的で警護する者として話が弾み、お互いの仕事のことからプライベートな家族の話に及び、お互いAPEC警備の成功を誓い合つた。

副大統領直筆のサイン入り写真が送られてきた。当隊員は、APEC警備に携わった者同士として友情が芽生えた結果であるという感激を新たにするとともに、今後もこの友情を大切にして親交を続け、「日米間の小さなかけ橋になれば」と決意している。

北から南から

クリントン米大統領来日警護や全国植樹祭警衛など、本年も大きな警備が続いています。このような忙しい合間にぬっての各県機の訓練の様子をお伝えします。

シークレットサービスとの親交

大阪府警察機動隊

梅田 雅彦

昨年秋に開催された「アジア太平洋経済協力会議」(APEC)大阪会議において、当隊の宗石隊員は車列警護部隊員として連日、緊張感をもつてその任務に従事していた。

当隊員は、その男性の笑顔の中にも鋭い視線や物腰などから「シークレットサービスではないか」と直感し、思ひ切つて「アーユーシークレットサービス?」と声をかけたところ、「イエス」との返答があつた。

以前からシークレットサービスに関心があつたことから、興味と若干の感激をもつて話をしていくと、彼はゴア副大統領のシークレットサービス、ロードニーエム・デハート氏であることが判つた。

国籍が違ひ、かつ初対面であるにもかかわらず、同じ目的で警護する者として話が弾み、お互いの仕事のことからプライベートな家族の話に及び、お互いAPEC警備の成功を誓い合つた。

副大統領直筆のサイン入り写真が送られてきました。

当隊員は、APEC警備に携わった者同士として友情が芽生えた結果であるという感激を新たにするとともに、今後もこの友情を大切にして親交を続け、「日米間の小さなかけ橋になれば」と決意している。

アкуア潜水訓練に思う

高知県警察機動隊
宇田 勤



写真中央 宗石隊員

同左がロードニーエム・デハート氏



▶当隊でのアкуア潜水訓練のようす

わが南国土佐は夏の游泳シーズンとなれば、各地から家族連れや若者たちが集まり、海水浴場やキャンプ場は人々で賑わいます。

しかしその反面、水難による事故が後を絶ちません。

その為我々機動隊員は水難事故に備え、常日頃からアкуア潜水訓練を実施しております。

訓練内容を紹介しますと、まず、同一のロープを数人の隊員が間隔をとつて掴み、一斉に潜水して横二列となり、

APEC警備が成功裏に終了して四か月後の本年三月末に、突然当隊員の自宅へ彼の近況を書いた手紙とゴア米副大統領直筆のサイン入り写真が送られた。

前進しながら目標物を捜索していく方 法や、二人組のバディによる捜索等があります。

泳ぎが達者でない私は訓練中、よく水を飲み、パニック状態となることもあります。

一度で、先輩やバディの人迷惑をかけます。

バディの先輩には叱られることもありますが、水深二十メートルを超える

ような深海で心細い時、安全確認の合図を送ってくれたり、誘導してくれる

バディの必要性、個人の責任を全うする事の大切さを痛感するのです。

最後になりましたが、一日でも早く

「あいつとバディなら安心だ」と思われるような自分の目標に向かって日々の訓練に励んでいきたいと思っています。

この時、バディの存在が、自分の不安を取り除いてくれ、余裕すら感じさせてくれるのです。

この時、バディの必要性、個人の責任を全うする事の大切さを痛感するのです。

最後になりましたが、一日でも早く

「あいつとバディなら安心だ」と思われるような自分の目標に向かって日々の訓練に励んでいきたいと思っています。

この時、バディの存在が、自分の不安を取り除いてくれ、余裕すら感じさせてくれるのです。

レンジャー訓練を体験して

熊本県警察機動隊 山本 貴

信頼の機動隊

治安の機動隊 球田 工業

高周波熱鍊

株式会社

山陽特殊鋼

株式会社

大洋製鋼

株式会社

日鐵流通センターベ

株式会社

村山鋼材

株式会社

上野百貨店

株式会社

大東港運

株式会社

岡谷鋼機

株式会社

豊田通商

株式会社

太陽シャーリング

株式会社

広島シャーリング工業

株式会社

自見産業

株式会社

北海鋼機

株式会社

東北支社

株式会社

(社)機動隊員等を励ます会

今年で機動隊に入隊して三年目を迎えます。昨年は、APEC大阪会議、阪神・淡路大震災に伴う災害警備等数々の特別派遣の他、管区学校での合同警備訓練等を経験した。

中でも最も印象に残っているのは、昨年の九月に小倉駐屯地で行われた「警察レンジャー訓練」である。

抜された機動隊員らが集まり、二週間自衛隊のレンジャー部隊に入校し、レンジヤー隊員に必要な特殊技能を修得する

という、まさにレンジャー隊員の登竜門である。

連日、渡橋訓練や、降下訓練など、厳しい訓練が続く。その訓練の中で、いちばん印象に残っているのが、台風の中で訓練練したことである。

朝から強い風で、こんな日は訓練しないだろうと油断していたところ、自衛隊の助教授が「災害に天気は関係ない」と言つても通り訓練が行われた。

今までただ漠然と訓練をしていた自分をはずかしく思うと同時に、自分の甘さを痛感した。

また、体力調整では個人の力も重要なが、全員の気持ちが一つになって皆でそろつてやりとげるこの大切さも学んだ。一人がくじけそうになると、周りの皆が「レンジャー、レンジャー」と激励の言葉をかけてくれるのである。

同じ目標を持つた者同志が、互いに励まし合い、助け合つて「レンジャー」という一つの言葉のおかげで全員そろつてやり遂げることができたのである。

この訓練が、今の自分の大きな自信となつており、どんな状況でも心にゆとりが生まれ、相手を思いやる余裕ができる

た。

この訓練で学んだことを、今後の「レンジャー隊員」としての機動隊生活に生かしていきたいと思う。

者場の広読

名古屋便り

岡谷 篤一
(理事・名古屋支部)



える良い機会になると思います。

対抗馬は知名度のあるカルガリー(カナダ)という強豪であり又我が国には財政問題又環境問題で多少の不協和音はありますが全国読者の皆様には二〇〇五年愛知での万博開催が出来る様応援をお願いします。

以上当地の話題、星野監督・徳川宗春そして愛知万博開催に共通して言える事は、東西の谷間であり地味な土地柄でありましたが、中央に過度の依存する事なく地域の活性化に目標を持つて進んでいる事だと思います。達成は容易ではありませんが、待つのではなく地域が自ら進んで変革を求める時代となり、少しでも目標に近づける様努力したいと思います。(五月十五日記)

低迷を続けていた中日ドラゴンズも、今シーズンは星野監督のもと、首位を独走しています。チームは、名古屋ドーム球場の完成を来春に控えて、今シーズンは少なくとも A クラス入りし、開幕試合を新球場で迎える事が目標です。強いリーダーシップの下でどの様な変革が出来るか、夏から秋へのペナントレースが楽しみです。

そして当地では、尾張七代藩主徳川宗春が今ブームです。ことし生誕三百周年ですが、当時質素・儉約をすすめる幕府を批判した宗春は祭りや芸能を奨励したとされています。良い事ばかりではありませんでしたが、当代の自由経済・規制緩和の流れにも沿った動きであり、「ムネハリズムで胸を張って」地域の活性化を大きく前進させようとの標語にもなりました。

「ニユーラ・ムネハリズム」で地域活性化を計る最大の目標は、当地域へ開催を前提として、万博開催国際事務局に現在申請中です。

そのテーマは新しい地球創造であり、二十一世紀最初の万博にふさわしい交流・技術・文化そして自然の調和を考え

警視庁機動隊創設48周年記念観閲式

設に入れない。実は、今まできあがつたばかりのビルにしてもテナント集めに苦労しており、採算はきびしい、といわれている。

では有識者を集めて今後のこと

新緑が目に眩しいほど好天に恵まれた今年の警視庁機動隊観閲式は、五月二十八日早朝に、明治記念館絵画館前において盛大に開催された。

力強い開式宣言にはじまり、国旗掲揚の後、警視総監による部隊査閲があり、威

風堂々たる行進はもとより、その装備や

最新技術を結集した特種車両には目を

見張るものがあり、今年で四十八周年を

初期二十平方キロであったのが、昭和六十三年には三十九平方キロになつた、

という。

しかし、こんな「国生み神話」も東京湾に埋め立てできる場所がある限りの話。いまや限界が近い。

江戸開府以来、拡大発展しつづけてきた東京だが、いまは、肥大化しすぎた、といつていのではないだろうか。

都市には本来、集積の効果、規模のメ

リットがあるはずだが、東京の場合は「過ぎたるは及ばざるに劣る」(家康家訓)になってしまったようである。能率、安全、経済性、快適性など、けつして一級の都市とはいがたい。

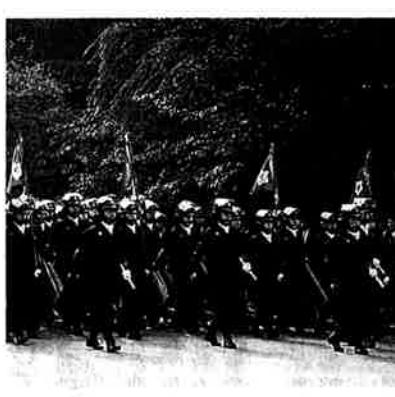
時あたかも、コンピュータや情報通信ネットワークの分野に大変革が起きている。仕事のしかたも、意思や情報の伝達方法も変わっていくだろう。いま

までは東京に一極集中することによつていろいろメリットを得ていたのが、逆の構図になるかもしれない。

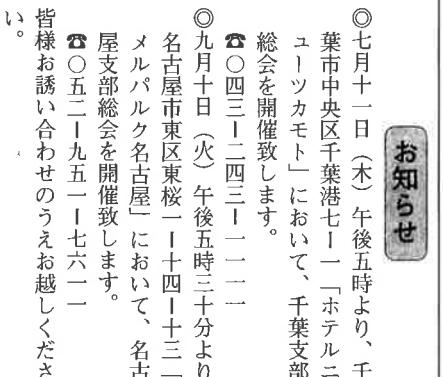
この際は、結論をいそがず、模様を

見るというのが「最善手」ではないか。

臨海副都心のあちこちに見られる漠たる空き地は、かえつて未来的の可能性を示唆する風景とも思えるのである。



▲井上警視総監



◎七月十一日(木)午後五時より、千葉市中央区千葉港七一一「ホテルニューツカモト」において、千葉支部総会を開催致します。

◎九月十日(火)午後五時三十分より

名古屋市東区東桜一ー十四ー十三「

メルパルク名古屋」において、名古

屋支部総会を開催致します。

◎五二一九五一一七六一
皆様お誘い合わせのうえお越しください。

今月の言葉

去る六月十二日、東京の明治記念館で第二十三回総会が盛況裡に終了しました。その際、國松長官殿の御元気な姿に一瞬身の引き締まる様な感動が会場に漲りました。

昭和四十年代は極左暴力集団講堂、企業爆破、浅間山荘事件等國民は今後本当にどうなるのだろうかと、云い得ぬ不安に毎日固唾をのんで見守っていました。

その激動期に今考える信じられない様な貧弱な装備、否、寧ろ徒手空拳に近い状態で年頃た。

少年達も今は立派に成長され、集団警備の中核として栄光ある伝統を継承されています。

他方当会に於ても大内名譽理事長、鈴木理事長を中心とした憂国の士、数十名

も自分らと変わらぬ学生の罵詈雑言にも堪え、治安活動に身命を賭していた若い隊員の苦悩を今尚忘れる事は出来ません。

あれから二十有余年、当時第一線の要職で活躍されており、又當時未だ幼い方々は四十代になられ我國警察の中枢の一

で始めた任意団体が今では強力な公益法人に成長しました。然して二十年の歳月は争えず皆一様に七十年代八十年代になりました。私の属する大阪支部では当時の世話を人半数以上の方々が他界されました。

否応なしに一つの時代が転換期に直面している様に思えてなりません。

は、絶大なる国民の協力と支援が得られるか否かにかかる事」と訓示されていますが、事は時代と共にその重味を増加しています。

こうした良好なる関係を維持増進するには特に若い世代の相互理解が必要です。昔軍隊時代に軍民一体の為の体験入隊とか家庭宿泊、見学会等があった様に記憶しているが、何らかの形で研究課題の一つとして検討しては如何かと思う。

当会も更に発展するには社会基盤の拡大が絶対必要です。この為各地区で極く少數の精銳を厳選し、本部が之を統括してこうした方向へ模索推進する任に当たらせては如何かと愚考しております。

本日は、私共の大勢の隊員をお招き頂きまして、ありがとうございます。また、機動隊員等を励ます会としましても、微力ではありますが、今後とも心からの激励を続ける所存であります。本日は短い時間ではありますが、日頃のご苦労を忘れ、存分にお楽しみ下さい」との挨拶があつた。

その後、会の功労者に対して鈴木理事長より表彰が行われた。

来賓からは、警察庁長官國松孝次殿より、「励ます会の皆様からは、二十二年間、物心両面からご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。昨年は、阪神・淡路大震災やオウム真理教事件など、我が国の史上に残る多事多難な年でありましたが、そのような中、励ます会の皆様からの心のこもった激励はなつたが、本年度は來賓として、警察庁長官國松孝次殿、警視総監井上幸彦殿が揃ってご列席下さり、多數の警視庁機動隊員の参加とあわせて会場は大いに盛り上がった。

懇親会の開催に先立ち、鈴木理事長より「昨年は重大警備事象が相次ぎ、隊員の皆様には一日とて心の休まる時もなく、大変な一年を過ごされたことと思います。未解決なままの事件も残されており、本年も皆様にとつては嚴

第23回通常総会並びに懇親会

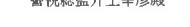


発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒1414
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



警察庁長官國松孝次殿



警視総監井上幸彦殿

二十年の回顧と課題

現在行われている諸事業それ自体立派な事である毎に「警察が公権を発動して本来の任務を完遂出来るか否か

は、必ずや我が國の治安を守る立派な機動隊員へと成長するよう、精一杯の努力を続ける所存であります」との力強い挨拶があつた。

その後、警視総監井上幸彦殿より、

この後、佐々木副理事長が音頭をとつて乾杯の杯をあげ、隊員と会員同士の懇親会へと移つていった。

会場内は、約三〇〇名の警視庁機動隊員と会員との懇談の輪があちこちで広がり、会は例年になじ盛り上りを見せた。

また、後半の時間は隊員たちの余興となり、生演奏を披露してくれた第五機動隊の音楽クラブの方々の演奏を始め、各隊から喉自慢が集いカラオケを熱唱した。女性隊員も堂々たる活躍を見せ、会場からひときわ大きな拍手を浴びた。

若々しい隊員たちの明るく伸びやかな様子に会員側としても笑顔を誘われると共に、現場においてもこのようないい雰囲気で活動を期待したいと強く感じた。

同時に、昨年来から未解決のまま残されている数々の凶悪事件の解決に向けて、我々励ます会としても微力ながらできる限りの応援を続けていきたいという決意を新たにした次第である。

7月のテーマ 私の理想とする機動隊員像

関東管区機動隊
浅川 智中部管区機動隊
栗田 賢

「まさか、自分が」と思っていた関東管区機動隊に入隊し、一年が経過した。そこで「管区機動隊は、その職務の特殊性から、他では体験できない様々な事を学ばさせてくれた。

第一に、自分の役割には責任を持つことである。隊員一人ひとりの無責任な行動は、部隊の士気を低下させるばかりでなく、部隊活動が乱れ、部隊に与えられた任務を完遂することができなくなる。

隊員一人ひとりが与えられた自己の役割を自覚し、責務完遂に向けて職務を遂行しなければならない。オウム真理教団警戒警備に出動した際、自信のない職務執行は、仲間に迷惑をかけるという教訓を得、常に各種法令の研鑽、実務能力の向上と強靭な体力を身につける努力を惜しきんではならないことを痛感した。

第二に、隊員相互の連帯を強めることである。機動隊は常に部隊として行動するため、一人でも遅れをとることは許されない。隊員相互が苦しい時こそ助け合いつつには互いに切磋琢磨しながら、責務を完遂させなければならない。

かつて肉体的にも精神的にも苦しかった時、仲間の厳しい中にも心のこもった叱咤激励の応援があったからこそ、様々な試練を乗り越えることができるのです。

だから私は、隊員間の意思の疎通、仲間を信じじることを大切にしたいと思う。

適切な職務執行ができるよう心掛けている。そして、何事にも積極果敢でありたい。それが私の理想とする機動隊員の姿であり、現在私はこの理想の姿に向かって日々努力している毎日である。

近畿管区機動隊
前田 太郎

私が管区隊員となつて、早くも一年がたちました。昨年は激動の一年間で、阪神・淡路大震災、一連のオウム騒動や警衛警備等のため出動も多く、右も左も分からぬ私たちにとっては大変な年であったと思いまます。

出動の現場で特に印象に残っているのは、山梨県上九一村でオウム真理教信者の子供たちを保護したことです。雨が降りしきり、報道陣が多數のカメラをかまえている中、私たちの部隊は第十サテインに入りました。

警察官よりも数の多いオウム真理教信者が子供の保護をやめさせようと騒いでいる中、私たちは阻止線を張り、隊員同事保護することができました。

その後、一部の信者が子供たちを取り戻そうと引き上げようとする私たちを追いかけてくるというトラブルもありましたが、これも小隊長はじめ、幹部の指示により部隊一丸となって防ぐことができました。

この貴重な体験の中で私が身にしみて実感したことは、いかなる場においても普段の訓練の成果を落ちとして、遺憾無く発揮できる強い部隊こそが難局を乗り越えることができるということです。そのため、日々の訓練に励んで強い自分を作り上げ、互いの信頼を深め、融和団結を作ります。

私たちも誰からも信頼される管区機動隊員を目指し、訓練に励んでいきたいと思います。

近畿管区機動隊
前田 太郎

備部機動隊に配置になりました。
そして、私の部隊は近畿管区機動隊第三大隊に編成されている部隊でもあります。

管区機動隊第三大隊は、五月から前期合同訓練で近畿管区警察学校に入校し、厳しい訓練を終了したところであります。

私が警察学校を卒業して第一線で勤務していた頃、管区機動隊を除隊になつた先輩と一緒に交番で勤務し、交通取締りや検問などに従事したことがありま

したが、その時、その先輩から受けた印象は「言葉遣いは良く、背筋を伸ばし、立派である」でした。

それ以後、私も先輩のような人になりたいとの願望を持ち続けておりました。

そして、今春の人事異動に際して「警備部機動隊勤務を命じる」との命を受けた時は、「瞬く間に機動隊でやつていてかるか」と一抹の不安を感じました。

が、先輩のようになりたいと思っていましたが、先輩のようになりたいと思つていた気持ちが「よし、やるぞ」という闘志を湧き立たせました。

そして、機動隊勤務となり、管区学校で厳しい訓練で汗を流し、仲間たちと寝食を共にした体験を通じて、機動隊が集団警備力の中核的存在である意義と、和歌山県警察機動隊の隊訓「誠実、融和、鍛成」の重みを痛感したところがありました。

私は、この隊訓をモットーに「人を慈しみ相手を氣づかう心を培う」「良き友との絆を培う」「心身を鍛え、常に最善を尽くす」

を心掛け、警察官としての誇りと使命感を持って、心の汗を出し、県民の信頼に応えられる警察官になるための努力を惜しまず、日々心の汗を流し訓練に励み、現場に臨みたいと思います。

四国管区機動隊
岡田 和義

言うまでもなく「警備実施の中核部隊」であり、「治安の最後の砦」である。我々が敗北する時は、國の治安が根底から崩壊する時であり、國がなくなる時である。ゆえに、我々機動隊は、常に勝者でなければならぬ。

しかし、現在の自分自身はまだ体力もなければ自分のことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるべき、まだまだ私の理想とする機動隊員像には及びません。

このような理想的機動隊員に一日でも早く近づけるように、そして先輩隊員の方々のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

は、もちろんのことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員を目指してこれから

北海道警察機動隊
坂下 貢

象が先程のような隊員像だったのです。そして、平成七年四月から実際に機動隊へ勤務する事となり、この私がもつていた印象は間違いではなかつたことが実感でき、自分もこのような機動隊員にならうと思いました。

しかし、現在の自分自身はまだ体力もなければ自分のことで精一杯で周囲の印象のようには体力はもちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員像として言つたものである。

「機動隊員として必要なのは三つのSである」

一つ目は、スピードである。完全装備で走るスピードも大切だが、有事に際して真先に駆けつけ処理に当たるという

迅速な行動力である。

二つ目は、スタミナである。風雨はもろろん、猛暑、嚴寒時等の厳しい気象条件下であるうとも、任務を完遂することのできる強靭な肉体である。

三つ目は、スピリットである。何者も恐れず、ひたすら社会正義のために全く不屈の精神力である。

この「三つのS」を身につけた隊員が理想的機動隊員であり、「三つのS」を有している部隊こそ真に精強な機動隊なのである。この「三つのS」を得るために、我々は今日も走り、学び、鍛えている。

恐れず、ひたすら社会正義のために全く不屈の精神力である。

この「三つのS」を身につけた隊員が理想的機動隊員であり、「三つのS」を有している部隊こそ真に精強な機動隊なのである。この「三つのS」を得るために、我々は今日も走り、学び、鍛えている。

私は、今年で機動隊勤務四年目となりますが、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

宮城県警察機動隊
田村 文英

私は、今年で機動隊勤務四年目となりますが、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

まず第一に、健康でなければならぬこと 것입니다。各種警備出動、各機能別訓練等日々忙しい毎日を送っていますが、やはり、心身ともに健康でなければ何をやっても十分な仕事が出来ない

ことです。私は、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

まず第一に、健康でなければならぬこと 것입니다。各種警備出動、各機能別訓練等日々忙しい毎日を送っていますが、やはり、心身ともに健康でなければ何をやっても十分な仕事が出来ない

ことです。私は、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

私は、現在まで約七年間にわたり、機動隊員として勤務しているが、機動隊は

た行方不明者の捜索やP.K.O警戒警備等の勤務を通じて得た機動隊の第一印

象が先程のような隊員像だったのです。そして、平成七年四月から実際に機動隊へ勤務する事となり、この私がもつていた印象は間違いではなかつたことが実感でき、自分もこのような機動隊員にならうと思いました。

しかし、現在の自分自身はまだ体力もなければ自分のことで精一杯で周囲の印象のようには体力もちろん、常に周囲に気を配り、部隊の團結力の中心となるよう機動隊員像として言つたものである。

「機動隊員として必要なのは三つのSである」

一つ目は、スピードである。完全装備で走るスピードも大切だが、有事に際して真先に駆けつけ処理に当たるという

迅速な行動力である。

二つ目は、スタミナである。風雨はもろろん、猛暑、嚴寒時等の厳しい気象条件下であるうとも、任務を完遂することのできる強靭な肉体である。

三つ目は、スピリットである。何者も恐れず、ひたすら社会正義のために全く不屈の精神力である。

この「三つのS」を身につけた隊員が理想的機動隊員であり、「三つのS」を有している部隊こそ真に精強な機動隊なのである。この「三つのS」を得るために、我々は今日も走り、学び、鍛えている。

恐れず、ひたすら社会正義のために全く不屈の精神力である。

この「三つのS」を身につけた隊員が理想的機動隊員であり、「三つのS」を有している部隊こそ真に精強な機動隊なのである。この「三つのS」を得るために、我々は今日も走り、学び、鍛えている。

私は、今年で機動隊勤務四年目となりますが、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

まず第一に、健康でなければならぬこと 것입니다。各種警備出動、各機能別訓練等日々忙しい毎日を送っていますが、やはり、心身ともに健康でなければ何をやっても十分な仕事が出来ない

ことです。私は、中堅として、また後輩を指導する立場となつて、改めて「理想的機動隊員像」について考えてみました。

私は、現在まで約七年間にわたり、機動隊員として勤務しているが、機動隊は

事案に際しても常に相手の立場に立つて、何を警察に望んでいるのかを最優先に考え、一般市民を思いやる「奉仕の心」を忘れずに職務に励んでいきたいと考えています。

機動隊勤務四年目とはいゝ、隊員として努力すべきことが山ほどあります。この三つのことを肝に銘じ、理想の機動隊員像に一歩でも一歩でも近づくよう一日一日を大切に頑張っています。

私も機動隊に着隊して二年が過ぎた。この二年間私は、千葉県の治安を守るために、またレスキュー小隊の一員として様々な警備活動や訓練を積んできました。

特に昨年は、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件、北海道内のトンネル崩落事故など数多くの人命が失われる事件事故・災害が多発しました。

大震災後発足した「広域緊急救援隊」にも我が小隊の隊員の多くが指定され、今まで以上に人命の重さについて感じると共に、我々に課せられた任務の重要性に機動隊員としてより一層の誇りと使命感に燃えて、日々の警備・訓練に励んでいます。

我々一人ひとりが常に「救助のプロフェッショナル」として、また「千葉県の治安を守る精強部隊」として厳しい訓練にも音を上げることなく不撓不屈の精神を持って取り組んでいます。

特に本県では、連日成田現地において極左暴力集団の不法活動防圧に日々精進努力しています。

今後、再び大震災や重大事件事故が発生した時は、我々一人ひとりが何時でも「俺任せろ」と胸を張って現場へ向かえるように、日々精進努力していきたいと思います。



千葉県警察機動隊
原 健一



岐阜県警察機動隊
松久 幸司

「最後の砦」我々機動隊員にとってこの言葉ほど輝かしく、誇らしいものがあるでしょう。「煮えたぎる使命感」と機動隊のことはこれ以下にもこれを感じられるものがあるでしょうか。

「機動隊員は桶を持つて走るんだ。何以上にも思つていませんでした。

しかし本部機動隊は、新入隊員の私を驚かせることばかりでした。爆発物処理部隊にレンジャー部隊、さらにアクアラング部隊、まさにプロフェッショナルの集団です。

「爆発物処理? 警察官がこんなことをやるのか」「冗談ではない。命懸けじゃないか。どんでもないところへ来てしまった」正直言つて第一印象はこんな感じでした。

しかし明日にでも出動事案があるかも知れません。失敗すれば部隊の失敗になり、他の隊員の命も危険にさらすことになります。早く技術を身につけて、与えられた責任を全うできるようにならなければそれが機動隊員の使命であることを私は知りました。

それにして、いざ出動となると皆顔つきが変わります。まさしくプロフェッショナルの顔つきです。「水に潜れば死ぬ危険性もある。もし爆弾が爆発したらどうして平然と対処できるのだろう」そこにはプロフェッショナルとしての誇りと、厳しい訓練によって得た自信があつたのです。

岐阜県警察の最終兵器はわが機動隊、我々の後にはだれもいないので。プロフェッショナル集団、機動隊の隊員も厳しい訓練に耐え、頑張つてきました

「小兵が大兵を制することができる」これは、武道でよく耳にしますが、現在の柔道界では、とても難しいことだと言われています。

ところが、この小兵が大兵を制したのが、平成八年四月二十九日に東京日本武道館で行われた。平成八年度全日本柔道選手権大会でした。

体重一〇〇キロ、身長一七〇センチと大会出場選手の中でも最も小さい当隊の柔道強化指定選手・竹村典久巡査長は、一回りも二回りも大きい強敵を、準々決勝までの三戦すべて一本勝ちで倒し、第三位に輝いたのです。

警察官がこの大会で入賞したのは、九年ぶりで、本人にとっても警察柔道界にとつても大変喜ばしいことでした。

今、竹村巡査長は、今秋の地元国体での優勝を目指し、稽古にトレーニングに汗を流しています。

午後は、今年の広島国体のメイン会場となる広島ビッグ・アーチ内で体力強化訓練を行いました。更に、一個班五名で各班ごとの持久走を行い、隊員は一致団結して、自己の限界に挑戦しました。

全隊員とも精強な部隊作りのために個人のレベルアップを図ると共に、隊員相互のチームワークの向上に努めました。

当小隊では今後、山火事消火・防火構築訓練、水難救助訓練、山中における体力強化・警備技術の向上・使命感との醸成と、精強な部隊作りを目指して訓練を行い、今秋開催される「ひろしま国体」警備の中核部隊として、その責務を全うしていく所存であります。

【全日本選手権大会第3位入賞】 広島県警察機動隊

北から南から

各種警察業務に精励しております。
警備訓練については、管轄入校訓練、月三回の中隊による在県訓練が行われておりますが、当小隊では、「気力・体力の充実、強靭な部隊作り」を目指し、本年五月から、毎月一回体力強化を重点とした、小隊独自の自署訓練を実施しております。

第一回の自署訓練は、五月二十八日、広島広域公園で行いました。

午前は、災害救助用装備器材の習熟のため、エアマイティ、チエーンソー、空気呼吸器等を使った災害警備訓練を行いました。

午後は、今年の広島国体のメイン会場となる広島ビッグ・アーチ内で体力強化訓練を行いました。更に、一個班五名で各班ごとの持久走を行い、隊員は一致団結して、自己の限界に挑戦しました。

全隊員とも精強な部隊作りのために個人のレベルアップを図ると共に、隊員相互のチームワークの向上に努めました。

当小隊では今後、山火事消火・防火構築訓練、水難救助訓練、山中における体力強化・警備技術の向上・使命感との醸成と、精強な部隊作りを目指して訓練を行い、今秋開催される「ひろしま国体」警備の中核部隊として、その責務を全うしていく所存であります。

学 嘉 悅 学 園	東 鋼 業 株
株 周 東 商 会	高 周 波 熱 鍊 株
次 郎 丸 嘉 介	杉 尾 篤 俊
木 村 政 次	東京テレメッセージ株
黒 田	丸 定 産 業 株
村 上 益	谷 本 鐵 鋼 株
三 和 鉄 構 建 設 株	宮 崎 精 鋼 株
中 條 鋼 材 株	一
新 洩 鋼 機 株	
不 動 鋼 板 工 業 株	
ブルマン株	
東 北 支	



「自署訓練」

中国管区機動隊

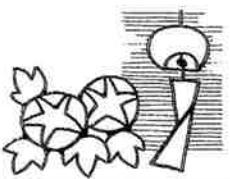


当小隊は、各種治安・雜踏・災害警備・警衛・警護等の出動の他、在県時に備え、警備訓練に励んでいます。

者場の広く読み

ごみポイ捨て一考

(理事・東北支部)



近江 八郎

(理事・東北支部)

先日或る駅のプラットホームで電車を待つ間ふと線路に目をやると空き缶、空き瓶、空き箱、紙屑、タバコ吸殻等が乱雑に投げ捨てられ、どうしてこんな所に迄捨てるのかと腹立たしく、不愉快な気分にさせられました。ごみのポイ捨てが各地で問題になっています。ここ数年ポイ捨て量は減ってきており依然として相当量のポイ捨てがあり、安全、衛生、景観、処理費用、モラルの点からも、強く関心を持たざるを得ません。ごみの種類は前述の他に菓子、弁当の容器、ペットボトル、衣類、洋傘、自転車等種々雑多です。ポイ捨ての場所は道路、公園、人の集まる所、公衆トイレの周辺、駅やビルの通路、出入口周辺、門や扉の上、街路樹・花壇の茂みの中、道路のわきの田んぼ・畑、家の前等よくもこんな所にと屎れ返るような場所に捨てられています。

このポイ捨てに対し夫々対策を講じ既に罰則付き条例を定めている都市もあります。山形の最上町、真室川町、横手市、水戸市、川崎市、横浜市、奈良市、和歌山市、福岡都市圏、北九州市等であります。わが仙台市は昭和三十七年三月健康都市を宣言し、その後『まちぐるみ清掃』『梅田川環境浄化運

動』『すてない、こわさない、よござない環境美化三ない運動』『ごみ持ち帰り運動』市の中心部を「クリーンモデル地区に指定」。昭和五十四年一月東一番町に全国初の『禁煙道路』を指定する等環境美化に努めてまいりました。なお、仙台市のポイ捨てゴミ処理費は年額約五億円も必要とするそうであります。更に仙台市は本年度から地域単位で「ポイ捨て禁止重点モデル地区」を設け、環境美化促進に取り組む予定です。その他、河北新報が『ポイ捨て追放できないかを目標に』本年五月に週にわたり夕刊特集版で三面を使って取り上げ、大きな反響を呼びました。この特集で皆さん 의견を集約しますと、

ポイ捨ては、

(一) モラルの問題であり地道に向上去を図る。地区単位で自主的な清掃活動を行政が支援してゆく

(二) モラルには限度がある。罰則付き条例の検討も必要ではないか

という論と、

き条例の検討も必要ではないか

という主張もあり、すぐ結論が出される

ことは未だ至っておりません。私は昭和二十六年以來現在地に住み毎朝のジョギングの後に家と近くのバス停周辺を

清掃しておりますが、四十数年も続けて

おりますとゴミの種類、捨て方、数量等

より何か世代の移り変わりを痛感させ

られています。一考を申し上げてみます

と、仙台市では罰則をつくる前にもう一

度モラルに訴えて見たら如何かと考え

ます。ごみポイ捨て追放について①幼小

者児童、生徒への躾の教育②青少年学生

に対する訴えと教育③一般社会人、自動

車使用者に対する訴えと教育④新

市街また一部町内会等で既に実施して

いますが(仙台市では約百カ所で実施)

とか日を決めて家族、町内会の方々等で

清掃会を行う⑤自動販売機、売店、駅の

ホーム等必要箇所にはごみ箱を設置す

る⑥喫煙所の指定

以上のようなことを考えていましたが皆様の地域では如何でしょうか。

悪魔の兵器

(監事・東京本部) 岩井 榮三

澄み切った青空にひばりが高く舞い上がり、緑の大木がどこまでも続く。

野原を子供達が駆け巡り、農夫が田の畔道をゆっくり歩いていく。どこにでもあるのどかな田園のたたずまい…。

突然、すさまじい轟音と共に地の底が炸裂し、農夫が一瞬の内に吹き飛ばされ、あっけなく息絶えた。

硝煙が消え去ると、今の出来事がまるで嘘のように、また元の静かな田園風景に戻っていく。

今、世界中の紛争地域で地雷が数多くの民間人を、恐怖と苦しみに落としている。戦争や内戦が終結し、平和が戻った筈の村が、何年経っても常に地雷の恐怖におびえながら生活している。いかなければならぬ。悲劇の一言で片付けるにはあまりに痛ましい。

カンボジア、アフガニスタンなど世界六十四カ国に、現在実に一億個以上

の地雷が埋設されており、その地雷に

おりますとゴミの種類、捨て方、数量等

により何か世代の移り変わりを痛感させ

られています。一考を申し上げてみます

(NGO) が懸命の除去活動を行って

るが、年間に除去出来る数は十万个足らずと言う。しかも、現在毎年二百万個以上が新たに埋設されているのだ

と言ふ。

何と恐るべき、愚かしい現実だろう。

戦争は夥しい数の生命を奪い、すべてを破壊しつづく。廃墟の中で民衆は

疲弊し、やがて停戦が実現、人々は平和の有り難さと、生きていることの喜びを噛みしめる。ところが対人地雷は、

そうした平和の訪れを決して許さない。

何十年先でも半永久的に、突如として何差別の人々を狙い続け、その狂暴さを發揮する。戦時下より、ある意味で

は和平の後だけに何倍も悲惨であり、非人道的である。「悪魔の兵器」と呼ぶにふさわしい。

幸い今、世界各国で地雷廃絶の動きが急速に広がりつつある。対人地雷除去の為の技術開発、あるいは一定の期間経過すると自動的に機能停止する自己破壊型地雷以外の製造禁止など、取り組むべき課題は多い。

人間の英知によつて、多くの子供達を巻き込む悲劇を一日も早く失くす努力に期待したい。

人が一つ一つ埋めていった悪魔を世

ている機動隊員の皆さんと合い通じて力を巻き込む悲劇を一日も早く失くす努力に期待したい。

人が一つ一つ埋めていた悪魔を世

ている機動隊員の皆さんと合い通じて力を巻き込む悲劇を一日も早く失くす努力に期待したい。

ガルーダ・インドネシア航空機事故

決死の救助活動

本年六月十三日に発生したガルーダ・インドネシア航空機炎上事故に際し、福岡県警察機動隊等は、被害を最

小限に食い止めるため、燃料タンクの爆発が予想される緊迫した状況の中で、

乗客、乗員の救出活動や捜索活動を行

い、うち隊員二十七人が火炎により負傷しました。

これらの機動隊員は、身の危険を省

みず、人命救助にあたつたが、われわれ励ます会としては国民の一人として感謝せずにはいられない。

このため、励ます会としては、負傷

乗客、乗員に対するお見舞いや従事された機

乗員に対する激励を行いましたところ、先

に、うち隊員二十七人が火炎により負

傷しました。

これらの機動隊員は、身の危険を省

みず、人命救助にあたつたが、われわれ励ます会としては国民の一人として感謝せずにはいられない。

このため、励ます会としては、負傷

乗客、乗員に対するお見舞いや従事された機

乗員に対する激励を行いましたところ、先

に、うち隊員二十七人が火炎により負



お知らせ

◎九月十日(火)午後五時三十分より

名古屋市東区東桜一一十四一十三
「メルパルク名古屋」において、名古

屋支部総会を開催致します。

○五二一九五一七六一

皆様のご参加をお待ちしております。

月刊誌に掲載された佐々淳行氏の連合赤軍「あさま山荘事件」が、このほど文芸春秋社から単行本として刊行されたのを機会に改めて通読させていたいた。

感動、共感とともに、ことにあたった関係者・機動隊員諸氏にたいし、改めて敬意と感謝の念を込めて、所感を申し述べたい。

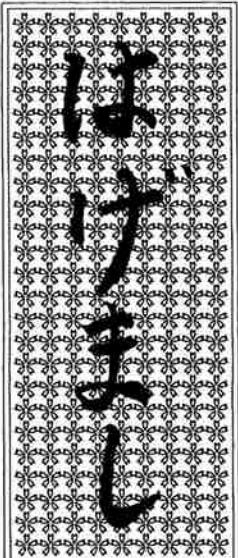
騒ぎが始まつたのは昭和四十七年二月十九日のこと、「連合赤軍軽井沢に現わる」の一報からこれを追いかけて銃撃による犠牲者を出しながらも、山荘に立てこもつた犯人を全員逮捕、人質を解放したのが二月二十

今月の言葉

八日であった。その十日間のドキュメントを、本書は息も継がせぬ迫力で、テレビに釘付けになつた当時を彷彿とさせ、一気に読み通してしまつた。著者の、信念に基づく対処の適切さ、深い教養を背景とした表現力の巧みさに、この事件に対する認識と、ここに語られている事実、現実との間に少なからぬギャップがあつた。

また、事件にあたつて現場主義の大切さ、この本は、内閣の閣僚でもなく、どこかの国の大天使でもない、全く名もない一主婦を、非人道的なテロリストの魔の手から救出するため自らの命を捧げた正義の戦士のための鎮魂賦であり、傷つき倒れた勇敢で忠誠な治安の戦士たちの勇気を讃える武勲詩であり、後世にその人々の名を残す顕彰碑なのである」と述べておられるが、共感の思

第20回中国支部総会 を盛大に開催



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5

TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



中国管区衛藤局長



広島県警察総本部長

去る、六月二十四日午後六時より、広島市厚生年金会館において、第二十回中国支部総会が開催された。当日は、中国管区警察局、広島県警察本部の幹部および機動隊員百三十名、励ます会会員一百二十名が参加し、盛りあつ活気あふれた総会となつた。特に今年は、会員企業から女性七十一名が出席し例年以上に和やかな雰囲気の総会となつた。

はじめに、中国支部を代表して堀口支部長が挨拶され「昨年は、サリン事件、阪神・淡路大震災など大きな事件があり、機動隊員の方々も昼夜分かたず活動された事に敬意を表します。今年もクリントン大統領の訪日など

の見方が立体的に、かつ正確になつた。いつの世もことに当たる者の困難や苦労は傍観者には理解の及ばぬものである。「他人の痛みは百年でも我慢できる」ということであつてはならないと肝に銘じたい。

した勇敢な男たちの武勲は、次ぎの世にまで語り継がれるべきものである。平成の人々は、今一度いまはあまり評価されない男たちの勇気と犠牲的の精神の尊さを見直すべきときがきているのではないかだろうか。

この本は、内閣の閣僚でもなく、どこかの国の大天使でもない、全く名もない一主婦を、世紀を経て風化されてしまうかに思えるが、昨年にはオウム真理教殺人集団の信じ難い犯罪が次々に暴かれ、何やらそれと共通する恐ろしさを感じた。

信じ難い犯罪が、今後も波打つごとに人々を襲うにちがいない。その意味で連合赤軍「あさま山荘」事件は普遍性をもつ。それ故に困難に立ち向かい、正義の戦士のための鎮魂賦であり、傷つき倒れた勇敢で忠誠な治安の戦士たちの勇気を讃える武勲詩であり、後世にその人々の名を残す顕彰碑なのである」と述べておられるが、共感の思

だき、大変有り難く、心強く思つてゐる。

連合赤軍「あさま山荘」事件は四半世紀を経て風化されてしまうかに思えるが、昨年にはオウム真理教殺人集団の信じ難い犯罪が次々に暴かれ、何やらそれと共通する恐ろしさを感じた。

信じ難い犯罪が、今後も波打つごとに人々を襲うにちがいない。その意味で連合赤軍「あさま山荘」事件は普遍性をもつ。それ故に困難に立ち向かい、正義の戦士のための鎮魂賦であり、傷つき倒れた勇敢で忠誠な治安の戦士たちの勇気を讃える武勲詩であり、後世にその人々の名を残す顕彰碑なのである」と述べておられるが、共感の思

いを込めて採録させていただく。

連合赤軍「あさま山荘」事件は四半世紀を経て風化されてしまうかに思えるが、昨年にはオウム真理教殺人集団の信じ難い犯罪が次々に暴かれ、何やらそれと共通する恐ろしさを感じた。

信じ難い犯罪が、今後も波打つごとに人々を襲うにちがいない。その意味で連合赤軍「あさま山荘」事件は普遍性をもつ。それ故に困難に立ち向かい、正義の戦士のための鎮魂賦であり、傷つき倒れた勇敢で忠誠な治安の戦士たちの勇気を讃える武勲詩であり、後世にその人々の名を残す顕彰碑なのである」と述べておられるが、共感の思

よて第二次世界大戦が終結して、早や五
一九四五年八月十五日、日本の降伏に



警視庁第二機動隊
大吉 騰明



警視庁第一機動隊
田中 義弘

平和とは、そもそも戦争がない穏やかな様子であります。共産主義の崩壊、冷戦の終わりなど、地球的大戦の可能性が少くなつてきましたが、依然として核を保有する国も増えているのが現状であります。しかし、世界の大半が平和に過ごしているのではないでしようか。大切なことは人種、生活環境、主義、主張の違う人間同志が助け合いながら共存することです。共存とは、共に生きることで自分本位の生活では成立しません。聖書の教えで「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」というのがあります。自分と同じように他人を愛することとは難しいことですが、この気持ちを心の隅にでもおいてほしいと思います。

首都東京の治安を維持することは、警視庁の責務ですが、「都民のために、都民とともに」により都民と共に深い信頼関係をつくることによって、凶悪、多様化していく犯罪に対応が出来ると考えられます。機動隊員は治安の最後の砦であり、その機動隊の分隊長として、都民が安心して生活できるように日々努力する所存であります。

私は、以前上司から「無線通話の内容次第で部隊の生死が決することを忘れて簡潔かつ正確な通話をすることは勿論、より一層の訓練や研鑽が急務である。私は、心に染みいる教えであった。

十一年目を迎えた。

この世界戦争は、膨大な物質資源や、富を破壊し、約六〇〇〇万人の人命を奪い、富は人類史上唯一の被爆国となつた。

日本は人類史上唯一の被爆国となつた。

「自由と平和」安定と秩序これこそ世界人類の共通の願望ではないだろうか。

の共通の願望達成に向け、機動隊員として、先輩方は血と汗を流し、私達は阪神・淡路大震災、オウム関連事件、人質事件に關し、迅速果敢に対処し、国民の信頼を勝ち得るため全力を傾注している。

警察がしっかりとしているから、私達は安心して生活できる。警察がパンパレーアリガトウ」の声を聞いたのは私だけではないで

しょう。今後も予想だにしない犯罪、見えない犯罪天災等が発生するだろうが、あらゆる事案に適切に対処できるよう日々研鑽していかなければならぬ。そして、日本を守る最後の一砦として自然災害や社会秩序を破壊する者(集団)に對して立ち向かっていこうではないですか。

平和を守るために。平和を守るために。平和を守るために。平和を守るために。平和を守るために。



警視庁第三機動隊
薄井三佐男

阪神・淡路大震災やオウム真理教関連の一連の凶悪事件に携わり、戦争を知らない世代である我々は、今、正に「平和を愛する優しさと、悪を許さない強い心」を再認識しなければならないと痛感する。

現在、私は通信係として無線機の保守管理、現場での無線通話、警備無線技能検定に向けての訓練、指導に当たっている。

現在、私は通信係として無線機の保守管理、現場での無線通話、警備無線技能検定に向けての訓練、指導に当たっている。

現在、私は通信係として無線機の保守

今、正に国内外激動の渦中。この激動の時代に俊敏に対応しながら、自らを磨き、熱き情熱を注いでいきたい。

機動隊を始めとする警察職員が与えられた職場、持ち場において、それぞれの責務を全うしてこそ、永遠の平和・治安の維持が図られる事を絶対に忘れず、決意を新たに日々努力する所存である。

三十歳の私は勿論戦争を体験したことではない。しかし、戦争体験者の両親、学校、書物、映像によりその悲惨さ、無益さについては十分認識しているつもりである。反面、「平和な現在に胡坐をかいられないか」と自問してみると、胸を張って答えられるようなものは何も持っていないか」ととて、いかに努力していなかったらいいのか。現実には、戦争の終結と新たな戦争の開始に挾まれた中間地點なのか、永遠に続く平和の五十一年目なのかもを考える時、有史以来の人類の足跡を思うと、樂觀的な結論は導き出せない。局地的な民族紛争は絶えることなく繼續しており、表面的には平和である国であっても、武力の保有により、均衡が保たれているのが現実である。つまり、安定というよりも、不安定な中にあって、バランスを上手くとつていて過ぎないと感じる。

日本の平和は、先人の苦い経験と弛まぬ努力によつて得られたものである。我々は、それを当然のように享受し、永遠のものであると錯覚して来た。我々は、永遠のものになる可能性が否定できない現在、優しく包み込んでくれた平和が、過去のものになる可能性が否定できない現在、我々は、平和を維持するために、何ができるかを考え、実行する時期に来ている。

私は、以前上司から「無線通話の内容はならない」と通信係の重要性について教えた。しかし、今まで世界のどこかで起こっている紛争を、テレビのブラウン管の中に対岸の火事として見ていて、それが「このようないい平和の大切さに対する意

ない世代が大半を占めるようになった。戦争はよその国の出来事と言つた風潮さえ見受けられ、「平和ぼけ」と批判されてもおかしくないような現状である。

反面、昨年の阪神・淡路大震災やオウム真理教による凶悪事件など、日常生活を脅かされた国民は危機感を募らせている。

私は現在第五機動隊で分隊長として勤務しているが、普段思うことは「非常事態に遭遇したとき、自分がいかにすべきか」である。機動隊は「治安の最後の一砦」といわれた。常に危機感を持つ、あらゆる事象を想定した訓練を積み重ねることにより、いざというときに本当の力が發揮できるのである。

「平和のために大切なこと」とは「平和を守る情熱」と「平和のためにいかに努力するか」である。「情熱と惜しみない努力」を仕事に注ぎ、自分の任務を確実に完遂させていかなければなるまい。

私は「自分の持ち場、立場で全力投球」をモットーに日夜の警備活動や訓練に汗を流している。私の力が少しでも「平和」に貢献できれば幸いと思いつつ。

私は「自分の持ち場、立場で全力投球」をモットーに日夜の警備活動や訓練に汗を流している。私の力が少しでも「平和」に貢献できれば幸いと思いつつ。

「わが家は現在、第一次育児戦争の真っ最中。長女は時には機関銃、時には爆弾のよう私に襲いかかってくる」等と言ふながら、私の生活は平和そのものです。

「戦争」というものを別世界に、育児戦争に手を焼いている私は、平和といふ言葉が、あればこそ言える比喩であるのが本当のところです。こうした平和に感謝してそれを維持していくことがこの世代を生きていく使命ではないでしょうか。

私が平和について考えていることは、人間として思いやりの気持ちを持つこと

・日本人として権利や義務を果たすこと

・警察官としてその職務を全うすること

・平和主義として、戦争の犠牲者の方々に対する慰霊すること

の四つです。

私たちには、いかに戦争が悲惨なものであるかを数少ない経験者の方から引き継がなければなりません。戦争経験のない私たちは、次の世代に引き継ぐことができることとは「命の尊さ」なのです。

平和を夢見て亡くなられた方々のこと

を忘れず、二度と戦争を繰り返さないことを誓い、この平和な世の中のまま、長女に引き継ぎたいと思っています。

警視庁第六機動隊
深谷 修



警視庁第七機動隊
清田 徹

終戦から半世紀が経過し、戦争を知ら

ない世代が大半を占めるようになった。戦争はよその国の出来事と言つた風潮さえ見受けられ、「平和ぼけ」と批判されてもおかしくないような現状である。

これから私の私たちに必要なことは、改めて平和とは何か、その為に大切なことは何かを考え、戦争を過去のものとせず、祖父母からの貴重な体験談を正しく次世代に伝えてゆく等、個々人ができることを実践していくことである。

その為にも、八月十五日に思う事をタシスの片隅にしまい込まないことである。



警視庁第八機動隊
佐藤 正人

広島・長崎への原爆投下という悲惨な末路の末、戦争は終結した。わずか五十一年前のことである。私の家族で唯一の戦争経験者であった祖父は、「数の少ない人ではあったが『戦争は悪である。しかし当時はそれが分からなかつた』と一言語つたのを覚えている。

日本は今、平和の中にあり治安も世界
一と言われている。警察官である我々はそ
れを肌で感じることも少なくない。
しかし、一方で我々はこの平和に慣れ過
ぎてゐるのではないかと思うことがある。昨
年末の地下鉄サリン事件等、日本の治安
を揺るがす凶悪事件が発生しているが、日
本の平和が崩れてしまうとまで思つて
人は少ないのではないか。

六月に春闌り来
新隊員詰名を終え
私は機動隊員としての第一歩を歩き始め
た。初めての機動隊勤務でとまどう事ば
かりであるが、我々は治安の最後の砦であ
るという意識を今、強く感じている。
先輩が血と汗を流し、平和を守つてきた
という事を忘れず、一日も早く一人前の
機動隊員として治安の維持にあたりたい
と思う。祖父が言ったように平和は崩れて
しまってから氣付いたのでは遅いのだから。

A black and white portrait photograph of a young man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

警視庁第九機動隊
安本 理

「平和」のために何が出来、何をすべきであるか、これは個人によつて、又その時の立場によって大きく違つてくる。

第九機動隊に着隊して一年が過ぎようとしているが、ます機動隊員として、自らの職務に全力投球することが何よりも大切であると考える。

現在私は、水難小隊に所属している。人の命を扱う現場での任務が多いことから訓練は厳しく、「もつと早く泳げ、それで人が助けられるか」と檄が飛ぶ中、くたくたになるまで訓練を行つている。

つい先日、「隅田川に人が落ちて行方不明になつてゐる」という通報を受け水深一〇メートルの川で検索活動を実施し

警察 視察小田代喜代三

通信指令室での 体験実習を実施

北海道警察機動隊



通信指令室での
体験実習を実施

北海道警察機動隊

本年も、豊浜トンネルの崩落事故による救出救助活動や皇太子・同妃両殿下來道に伴う警衛警備等、大規模な警備出動し、所期の任務を達成することができますが、部隊活動の経作用として重要な役割を果たしてゐる中隊伝令・小隊伝令を対象に無線電話要領の習熟と、無線通話技能の向上更には通信機器の性能と取扱方法の理解を目的として本部通信指令室での実習を実施した。

実習は当直勤務をし、課員のマンツマンの指導のもと、基本的な通話を要領説明を受けた後、実際に指令台につき理台から転送されてくる物件事故、駐勤情等の簡易な無線指令を行つた。

実習者らは、課員の指導の中で警備動における指揮・命令及び報告連絡警備実施の基礎的要素であること、多様の無線使用時は指揮・命令及び報告聯絡の通話が幅較するので、通話の基本原則である「簡潔・明瞭」「迅速」「的確」心掛けて通話をを行うことの重要性について改めて再認識した。

今後も、伝令として隊員の模範となり、的確な部隊活動の推進を図るべく心掛ける無線通話技術の向上を誓つた。

防災訓練



本年五月二十二日、佐賀県及び唐津市等各関係機関と合同で、平成八年度佐賀県総合防災訓練が実施された。

総合防災訓練は、集中豪雨による災害及び大地震による災害を想定して行われ、本県機動隊は、行方不明者捜索倒壊家屋等からの被災者救助訓練に従事した。阪神・淡路大震災を教訓に、地震災害を想定した被災者救助訓練では、機動隊員で構成する県警広域緊急援助隊と陸上自衛隊及び消防の三機関合同による倒壊家屋、損傷車両からの被災者救助訓練を実施する等、他機関との連携を強化し、災害現場での迅速かつ一体的な活動確保に資した。

家屋の倒壊状況を模した本番さながらの訓練現場で、隊員は自然災害の恐怖を再確認するとともに、終始緊張した面持ちで訓練に取り組み、有事に備えて気持ちを新たにした。

残暑お見舞い
申し上げます

残暑お見舞い
申し上げます
大野興業(株)
岡 部 (株)
高周波熱鍊(株)
光洋商事(株)
山陽特殊製鋼(株)
スカイコート(株)
平和農産工業(株)
高島浩一
西戸栄一
橋本尚吾
白神賢志
加納保成
明鋼材(株)
松田鉄鋼(株)
内外運輸(株)
堀口海運(株)
大川ランステイル(株)
金森藤平商事(株)
豊鋼材工業(株)
東北支部
特機動隊員等を励ます会

者場の広読



病を恐れ・恐れるな

楠部 德雄
(理事・中国支部)

「楠部さん、直腸に腫瘍がありますよ。」あれは今から丁度四年前の平成四年二月、広島赤十字原爆病院の人間ドック再検診を受け医師から腸のレントゲン写真を見せられた時のことです。

直径約五センチ位の丸い黒い影が写っているのを見て、五十数才に至るまで病気らしい病氣もしたこともなく健康だけには自信のあつた私ですが、その瞬間の驚きと信じられない気持ちちは、今も鮮明に覚えています。

その日から一週間後に手術。手術は無事成功したものの傷口の縫合の回復が思ひにくく、食事は勿論の事、一滴の水も飲めない入院生活を七十日も送るとは、夢にも思いませんでした。今思えば、毎日は大変辛く苦しい日々でありました。そんな私を看病する家族は、精神的・肉体的にもある意味では私以上に辛かつたことと思います。

しかし、早期発見と医師の適切な治療のお蔭で、無事退院することが出来ました。現在の私の健康状態は極めて良好であり、医師の説明では再発の可能性は殆どないであろうと聞いております。

考えますと、定期的検診が如何に大事な事であるかという事です。時々、健康診断等を受けた事がない

事を自慢している人の話をよく耳に致しますが、これは大きな間違いです。「備えあれば憂いなし」の例えのとおり、元気な時こそ健康に注意し病気を予防すべきであると考えます。

人は生まれて誰もが百点満点の持ち点を持つているそうですが、一点一点を大切に使い長生きして行きたいものです。

現在六十二歳。「今日も生涯の一日なり。」を座右の銘としてこれからも年に一度の人間ドックを怠ることなく一日一日を感謝し大切に致したいと心から思います。

ドーム雜感

村瀬 好孝
(東京本部)

先頃、秋田県大館市に出向いた。東北新幹線盛岡駅で降り、新緑の中、レンタカーで約二時間、秋田県営林局貯木場跡に目下壮大な建設工事が進捗中である。

それは県が施主となる大館

地区多目的ドームでスポーツ、レクリエーション、文化等の多様な分野にわ

たる県民のニーズの高まりに対応して計画された、秋田杉大断面アーチ構造の屋根を持つ木造としては世界最大級

の規模のものである。(野球場として使用の場合、両翼九〇メートル、センターライン二〇メートル、観客収容人員五千人)

東京ドームを始めとして通常ドームの

影響を考えて建物全体を五メートル

掘り下げ、更に公園側の屋根を十分の

勾配傾け低くした。(建物の高さがホ

ーム側三七メートル、センターライン側一七

メートルで二〇メートル差)、これは東

京都心の過密で狭い敷地条件からくる

苦肉の策である。然しながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

苦肉の策である。然しながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

苦肉の策である。然ながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

苦肉の策である。然ながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

ところでドーム建設のパイオニアは米国で、国民的なビッグスポーツとし夏の野球があり、それに勝るとも劣らない冬のアメリカンフットボールがある。広大な北米大陸で南部の炎天下の野球、あるいはカナダ国境付近の雪やブリザードの中のフットボールを快適なものとする為に一九六五年頃から建設され始めた。一九六五年のヒューストンのアストロドーム(鉄骨造)を皮切りに、一九七五年のデトロイト郊外のシルバードーム(エアドーム)と統々建設され、一九八八年に至りわが東京ドーム(エアドーム)が完成する。その後日本でも福岡、名古屋、大阪と多目的ドーム建設は花盛りである。

ここで少し東京ドームにまつわる話を集めてみる。

(1)大型エアドーム工法そのものは一九七〇年に開催された大阪万博のアメリカ館がルーツとされており、その後日本では定着せず、アメリカで完成した工法で、十八年かかつて帰つて来た技術といえる。

(2)傾斜屋根:二六〇年余の歴史ある特別史跡、名勝、小石川後楽園に隣接している為、公園の樹木への日照、風の影響を考えて建物全体を五メートル掘り下げ、更に公園側の屋根を十分の勾配傾け低くした。(建物の高さがホーム側三七メートル、センターライン側一七メートル差)、これは東京都心の過密で狭い敷地条件からくる苦肉の策である。然しながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

苦肉の策である。然ながら上記理由

で屋根を傾けたが、結果としてホーム

ラン軌跡に合致していた為、滅多に屋

根に打球が当らず、無駄な空間の節約

につながり、この合理性が評価され、

アーチ放電による落雷テストでも黒く焦げなかった。これらを勘案して耐用年数を二〇年としているが、それ以上保つのではないかとみられている。又東京ドームは二重膜になつてゐるがこれはにこもないよう配慮されている。

①内膜で音を拡散させ音がドーム内にこもれないよう配慮されている。

②内膜と外膜の間に四五度C程度の温風を吹き込み、融雪機能を持たせ断熱効果にも期待している。

さて万が一、破れた場合……東京ドームの屋根は二三五枚のパネルで構成されて熱効果にも期待している。

そこでまだまだ東京ドームにまつわる話題は尽きない。だから、巨人が負けても余り気にせず、快適空間に遊ぶ余裕をもつてピッグエッグにせつせと通つことにしてはどうでしょうか。

話題は尽きない。だから、巨人が負けても余り気にせず、快適空間に遊ぶ余裕をもつてピッグエッグにせつせと通つことにしてはどうでしょうか。

超橋円形の一体構造になつておる屋根が大変軽く無理な過重がかかっていな

いから……。

(4)東京ドームは地震に強い……建物がくらませたまま修理出来、休場になることはない。

災害警備の総合訓練を実施へ警視庁へ

警視庁機動隊では、自然災害や都市型災害に備えて、さる七月十六日午後、都内江戸川河川敷で、「災害警備総合訓練」を実施した。

訓練は、機動隊、広域緊急援助隊、國際警察緊急援助隊、機動救助隊、水難救助隊、航空隊(ヘリコプター一機)、東京水上署(警備艇五隻)、警備二課警備犬二頭など三千百人と車両百五十台が参加、本番さながらに救助、水防訓練が展開された。

救助訓練の内容は、國際警察緊急救援隊による被災ビルからの救助訓練や、堤防決壊による水防工法訓練など、様々な訓練が実施された。

救助訓練の内容は、國際警察緊急救援隊による被災ビルからの救助訓練や、堤防決壊による水防工法訓練など、様々な訓練が実施された。

警視庁では、常に技能の向上を目指して訓練を重ね、いかなる事態に遭遇しても、國民の安全への願いにスピーディに対応できるよう努めている。



○九月十日(火)午後五時三十分より名古屋市東区東桜一一十四一十三「メルバルク名古屋」において、名古屋支部総会を開催致します。

△○五一九五一一七六一

皆様のご参加をお待ちしております。



お知らせ

○九月十日(火)午後五時三十分より

名古屋市東区東桜一一十四一十三

「メルバルク名古屋」において、名古

屋支部総会を開催致します。

△○五一九五一一七六一

皆様のご参加をお待ちしております。



感謝状贈呈の状況

故 松村氏に感謝状贈呈

七月七日、理事・東京本部・株式会社周東商会代表取締役会長・松村貫一氏が永眠されました。

氏は、当会の発起人の一人であり、社団法人となつてから現在まで理事として会の運営にたずさわるとともに、当会の発展に多大な功績を残されました。

その氏の功績に対し、七月三十一日、周東商会議室において、警視総監から感謝状が贈呈されました。

今月の言葉

最近の日本の世の中はあちこちが歪んでしまった感じである。そして綻びが目立つ。

先ず第一に政治体制が歪んでいる。三十八年間の長きにわたつて統いた一党支配のいわゆる五十五年体制がやつと今から三年前に終焉したと思ったら、今度は本来対立関係の筈の政党が組んで政権についているというねじれた体制になつてしまつていて。決まるべきものが決まらず先送りされることは多く、決まつてもそれは玉虫色というような状態である。

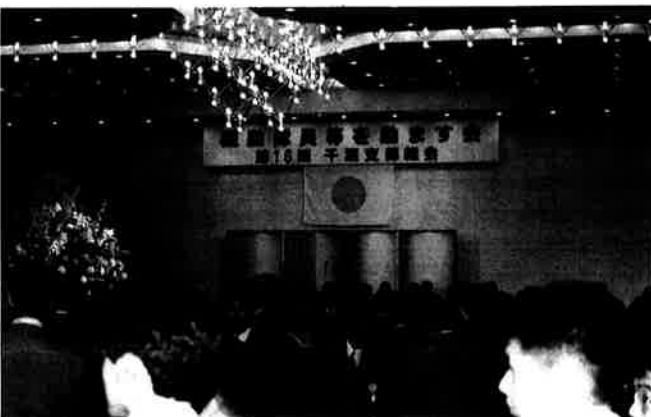
國民は何を信じたらよいかわからず政治不信が募るばかりである。来年四月か

く解消してあるべき姿に戻し、政治に対す
る信頼を取り戻してほしいものである。

最近の日本の世の中はあちこちが歪んでしまった感じである。そして綻びが目立つ。

先ず第一に政治体制が歪んでいる。三十八年間の長きにわたって統一た一党支配のいわゆる五十五年

第16回 千葉支部総会



はせ

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し今号の中には購読料を含む)

去る七月一日ニ莫ト
「ホテルニューツカモト」
において第十六回千葉支
部総会が開催された。

藤千葉県警察本部長殿を始めとする警察幹部の方々と、二百名にのぼる機動隊員の皆さんが参加し、また来賓として沼田千葉県知事殿、松井千葉市長殿(代理)がお越しくださるなど、盛大な会となりました。

会は、はじめに千葉支部長を代表して菅支部長と一緒に「私たちが枕を高くして寝られるのも機動隊員の皆さんのおかげであります。今日は十分楽しんでほしい」と挨拶があり

らの消費税五パーセントへの引き上げ問題でもかつて消費税そのものに反対していた民主党が賛成にまわった。連立政権を維持することに恋々として本来の主張を捨ててしまつたのではないかと田代わせる。この様なねじれ体制は一日も早く

この頃の日本

いように思う。それがあらぬか日本の企業においてはリスク管理が徹底していな
いとして海外では不信感が強まつてお
り、これ等の事件は日本企業の構造的な
欠陥によるものとの指摘もあるやに聞
く。企業人として自戒せねばならぬとこ

この際、社内管理体制について見直しをし、信用の回復に努めなければならないと痛感する。

刻な集団中毒事件が全く思いもかけず発生し、一般日常生活でも大きな継びが出るようなことになってしまった。局地的限定期的と思われていた食中毒が全国的に広がり、遂に伝染病予防法が適用されることとなつた。〇—一五七による集団食切な対策が打てなかつたものか。

して日本では一九九〇年と既に内外で前例があつただけに何とかもう少し早く適切な対策が打てなかつたものか。

テロ的暴力行為が今発生していないのは救いである。海外では相変わらずテロ事件が続発しており、つい先頃もオリンピック開催中のアメリカにおいて爆発事件があつた。しかし国境というものが無きに等しい今日、日本においてもいつテロ事件が起きないとも限らない。テロ事件発生となればまたまた機動隊員の出動が必要となり隊員がその身を危険に曝すということになつてしまうが、このような事態は何としても避けなければならぬ。いづれにしても平素黙々とその任についている機動隊員の存在が、平和のための重しとなつていることを忘れてはならないと思う。

い。いずれにしても平素黙々とその任についている機動隊員の存在が、平和のための重しとなつていることを忘れてはな

い。いずれにしても平素黙々とその任についている機動隊員の存在が、平和のための重しとなつてることを忘れてはならないと思う。

三浦新東京国際空港
警備隊長殿

A black and white portrait of a man from the waist up. He is wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. A small, light-colored boutonniere is pinned to his left lapel. He has dark hair and is wearing glasses. The background is a plain, light-colored wall.

清商子集目錄卷之三



優秀隊員の皆さん

昨年の阪神・淡路大震災やオウム真理教事件などの激務を乗り越えた隊員たちは、誇りと正義感にみちあふれ、会員との交流は時間を忘れて続いた。後半のカラオケ大会も盛り上がりを見せ、最後は加藤本部常任理事の万歳三唱で、年に一度の隊員と会員の交流の場である会は、盛況のうちに幕を閉じた。

葉をのべた。
二月東京国際空港警察課長交
表彰され、励ます会からハワイ警察事情
視察旅行に招待された六名が感謝の言

近畿管区機動隊
木佐 正善東北管区機動隊
渡部 秀吉

私は、六月十九日から自衛隊真駒内駐屯地で行われた北海道・東北ブロックレンジャー訓練に参加しました。訓練は、降雨の中での夜間縦走等、厳しく辛いものでしたが、訓練終了後夏期休暇をいただき、私の夏休みは北海道で始まりました。

初めての北海道は、すがすがしい青空が広がり、雄大な大地に圧倒されながらものんびりと過ごすことができました。北海道警の隊員は、私を仲間として接してくれ、私は管区機動隊員として改めて、全国の管区機動隊員は仲間だということを認識しました。

少し早かれた夏休みですが、初めての北海道での、北海道・東北の同じ隊員仲間との出会い等私には一生涯忘れることができない夏休みとなりました。

「文武両道」…これが、私の目標です。現在私は、近畿管区機動隊員として勤務する傍ら、某大学夜間部に通学しています。この最中に大学の前期試験が重なり、今年の夏は、六月から始まつたオウム真理教特別手配被害者に対する追跡捜査等に終始し、慌ただしく過ごす毎日でした。この最中に大学の前期試験が重なり、います。

今年の夏は、六月から始まつたオウム真理教特別手配被害者に対する追跡捜査等に終始し、慌ただしく過ごす毎日でした。この最中に大学の前期試験が重なり、います。

私が、六月十九日から自衛隊真駒内駐屯地で行われた北海道・東北ブロックレンジャー訓練に参加しました。訓練は、降雨の中での夜間縦走等、厳しく辛いものでしたが、訓練終了後夏期休暇をいただき、私の夏休みは北海道で始まりました。

初めての北海道は、すがすがしい青空が広がり、雄大な大地に圧倒されながらものんびりと過ごすことができました。北海道警の隊員は、私を仲間として接してくれ、私は管区機動隊員として改めて、全国の管区機動隊員は仲間だということを認識しました。

少し早かれた夏休みですが、初めての北海道での、北海道・東北の同じ隊員仲間との出会い等私には一生涯忘れることができない夏休みとなりました。

この夏の一番の思い出は、八月一日、二日と一泊二日で行われた水難救助訓練です。その訓練の中で特に印象に残ったのは、炊飯訓練です。私は官舎で自炊していきともあつて、炊飯訓練を軽く考えていました。

いざ始めてみると自炊とは訳が違いました。海辺ということで水の便が悪く、水を汲むことから大仕事でした。さらに、炎天下の暑さに加えて火の熱で大汗をかきながらの奮闘でした。メニューはカレーライス。たかがカレーと考えていましたが、野菜の皮剥きからして大変で、包丁を持つ手も様々。悪戦苦闘で出来上がった食事は、飯、ジャガイモ、人参が堅いまじめでした。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

管区機動隊員九名で、淡路島へ八月初旬に一泊二日の旅行をしようという計画がもちあがつたのは、七月も終わりにさしかかった頃だった。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

管区機動隊員九名で、淡路島へ八月初旬に一泊二日の旅行をしようという計画がもちあがつたのは、七月も終わりにさしかかった頃だった。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

管区機動隊員九名で、淡路島へ八月初旬に一泊二日の旅行をしようという計画がもちあがつたのは、七月も終わりにさしかかった頃だった。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

妻が大学時代に同じサークル活動で遊びに行つた思い出の地で、エメラルド色の海は今もある頃と変わらず、当時のままの姿で一人を迎えてくれました。

行き先は沖縄の石垣島で、ここは私は夫婦旅行だけで、其旅をしている妻は、友達の旅行の話を夕食時に持ちかけ、暗に今年の夏休みは旅行をしたい意思表示をしていました。

そこで妻のために、今年の夏は、三日間の夏休みの承認を得て、一人でハネムーン以来の旅行を思い切つて実行することにしました。

行き先は沖縄の石垣島で、ここは私は夫婦旅行だけで、其旅をしている妻は、友達の旅行の話を夕食時に持ちかけ、暗に今年の夏休みは旅行をしたい意思表示をしていました。

そこでも妻のためにも、今年の夏は、三日間の夏休みの承認を得て、一人でハネムーン以来の旅行を思い切つて実行することにしました。

妻が大学時代に同じサークル活動で遊びに行つた思い出の地で、エメラルド色の海は今もある頃と変わらず、当時のままの姿で一人を迎えてくれました。

早速、一人で海に入り、妻も普段の仕事や家事の疲れも忘れ、私も警備員の運動での疲労も感じることなく、きれいな透き通る海で思いつき海水浴を楽しみ、身も心もリフレッシュしました。

短かつたけれど三日間の旅行を終え、帰りの飛行機の中から眼下に広がる石垣島とその周囲の島々を見ながら、「次は子供と一緒に来たいね」と呟く妻の言葉を耳にしたとき、胸いっぱいの「幸せ」を感じ、小さい旅行の大好きな夏休みの意

私は、六月十九日から自衛隊真駒内駐屯地で行われた北海道・東北ブロックレンジャー訓練に参加しました。訓練は、降雨の中での夜間縦走等、厳しく辛いものでしたが、訓練終了後夏期休暇をいただき、私の夏休みは北海道で始まりました。

初めての北海道は、すがすがしい青空が広がり、雄大な大地に圧倒されながらものんびりと過ごすことができました。北海道警の隊員は、私を仲間として接してくれ、私は管区機動隊員として改めて、全国の管区機動隊員は仲間だということを認識しました。

少し早かれた夏休みですが、初めての北海道での、北海道・東北の同じ隊員仲間との出会い等私には一生涯忘れることができない夏休みとなりました。

この夏の一番の思い出は、八月一日、二日と一泊二日で行われた水難救助訓練です。その訓練の中で特に印象に残ったのは、炊飯訓練です。私は官舎で自炊していきともあつて、炊飯訓練を軽く考えていました。

いざ始めてみると自炊とは訳が違いました。海辺ということで水の便が悪く、水を汲むことから大仕事でした。さらに、炎天下の暑さに加えて火の熱で大汗をかきながらの奮闘でした。メニューはカレーライス。たかがカレーと考えていましたが、野菜の皮剥きからして大変で、包丁を持つ手も様々。悪戦苦闘で出来上がった食事は、飯、ジャガイモ、人参が堅いまじめでした。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

管区機動隊員九名で、淡路島へ八月初旬に一泊二日の旅行をしようという計画がもちあがつたのは、七月も終わりにさしかかった頃だった。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

妻が大学時代に同じサークル活動で遊びに行つた思い出の地で、エメラルド色の海は今もある頃と変わらず、当時のままの姿で一人を迎えてくれました。

行き先は沖縄の石垣島で、ここは私は夫婦旅行だけで、其旅をしている妻は、友達の旅行の話を夕食時に持ちかけ、暗に今年の夏休みは旅行をしたい意思表示をしていました。

そこでも妻のためにも、今年の夏は、三日間の夏休みの承認を得て、一人でハネムーン以来の旅行を思い切つて実行することにしました。

妻が大学時代に同じサークル活動で遊びに行つた思い出の地で、エメラルド色の海は今もある頃と変わらず、当時のままの姿で一人を迎えてくれました。

正直言つて、今回の旅行はあまり乗りかかった頃だった。

北海道警察警備隊
大西 利彦九州管区機動隊
水増 勝二

私はこの水難救助訓練から培つた小隊が一体となつた様に感じました。

私は等小隊の融和と団結を深めました。夏を終えようとしています。

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

北海道警察警備隊
大西 利彦

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

私は今年四月に管区機動隊員に指名された新隊員です。ただ夢中で先輩隊員に迷惑をかけまいと、訓練・警察署の仕事をと勵んできた私にとって、この度の水難救助訓練は、平素の訓練等では味わえない新しい経験をさせてくれました。

先輩後輩を超えて共に汗をかき、語り合つ、また腹の底から笑つたこの二日間は、我等小隊員となる決意をし、今九六年の夏を終えようとしています。

新潟県警察機動隊
藤田 喜也福島県警察機動隊
小松 博司

私の今年の夏休みは、隊の友人四人で、大自然いっぽいの北海道旅行をしました。泊三日と短期間でしたが、天候にも恵まれ、最高の旅行ができました。

さて、旅行のルートは、北海道の中心都市である札幌市、歴史と文化のロマンあふれる港町の小樽市、テレビドラマ「北の国から」のロケ地にもなった富良野市でした。

旅行先で、大変思い出に残っているのは、北の大地が壮大に広がる北海道のど真ん中、富良野の大草原の景色でした。車で地平線が見える真っすぐな道路を運転していると、広々とした牧草地や畑があちらこちらに見え、まるで大地がパックワーカーのような風景となつて広がつていました。また、美しく連なる丘陵や、五稟街道が、北欧に似た雰囲気をかもしだし、富良野の大地を存分に満喫することができました。今回の旅行では、壮大な自然や文化に接する事ができ、大変良い思い出となりました。

日頃、まとまった休暇を取る機会がありませんでしたが、今年の夏休みを終えた今、心身ともにリフレッシュすることができます。北海道旅行で養った銳気をこれからは仕事にぶつけて、頑張っていきたいと思います。

私は、本年四月新潟県機動隊に入隊し、機動隊員としての新しい生活が始まつた。厳しい訓練に明け暮れ、今までとは全く違った生活に戸惑うばかりであった。そんな生活にも月日の流れとともに慣れ、夏休みを迎えることになつた。

この夏休み私は、何か新しいことに挑戦することになった。この夏休みは、何か新しいことに挑戦することになつた。

ヤレンジをしてみたり、以前から憧れていたスキューバダイビングのライセンスを取得することにしました。講習は二泊三日で行われ、学科で基礎知識を勉強した後、実際潜ることになりました。最初は浅瀬で学科の復習をしながら練習し、そしてよいよ水中世界へと潜ることになりました。インストラクターの後に続き、ゆっくり海底へと向かって潜つて行く。目の前には美しい水中世界が広がり、水中世界の住人達が歓迎してくれているかのように私の前を通り過ぎて行く。これは潜った人にしかわからない感動であり、ダイビングの魅力の一つであると思った。

一步間違えれば死にもつながるダイビングではあるが、決して無理せず自分のペースで出来るスポーツである。本当にあの水中の興奮と感動は忘れられない。私は一生続けていきたいと思っている。こうして私は、無事ライセンスも取得でき、とても有意義に過ごせた夏休みであつた。

広島県警察機動隊
中本 悟志

北から南から



ビル災害の救助訓練

奈良県警察機動隊

奈良県警では、七月十七日、機動隊、第一機動隊の合同によるビル災害を想定した実戦的な訓練を行い、芦刈勝治本部長の視閲を受けた。

訓練は、奈良県北部を中心とするマグニチュード七の直下型地震が発生し、ビル、家屋が倒壊するなど被害が発生し、マンション内等に数名の被災者が閉じ込められたとの想定で行われた。エアーテンントの展張による臨時救護所開設が始まり、レスキューによる屋上からの救出移動式クレーン車を活用した救助等の訓練が、取り壊しを待つだけの老朽宿舎を用いて本番さながらに展開された。

訓練後、芦刈本部長は、「県民の信頼と期待に応え、任務を自覚しさらに訓練に励んでもらいたい」と講評した。

今回の訓練は、取り壊し予定の宿舎を被災マンションにみたてて行つたことから、災害用装備資器材を有効活用した実戦的な訓練となり、隊員の災害救助技術の習得につながった。

また、テラス鉄柵、窓枠の切断等、高所での救出救助活動には時間と費用を費やすが予想以上に体力と練度が要求されることが身をもつて体験できたことから、更に反復練続した訓練を行つておこなっている。



機動隊の短い夏

青森県警察機動隊

北国の短い夏は、「青森ねぶた」の閉幕とともに終わつた。

「青森ねぶた」は、重要無形民俗文化財として指定を受け、日本いや世界の火祭りとして知られている。

この日本を代表する火祭りにも、一チユード七の直下型地震が発生し、ビル、家屋が倒壊するなど被害が発生し、マンション内等に数名の被災者が閉じ込められたとの想定で行われた。エアーテンントの展張による臨時救護所開設が始まり、レスキューによる屋上からの救出移動式クレーン車を活用した救助等の訓練が、取り壊しを待つだけの老朽宿舎を用いて本番さながらに展開された。

精錬耐え抜く機動隊

愛知産業(株) 鈴木

青山特殊鋼(株) 草野産業(株)

高周波熱鍊(株) 小川運輸(株)

東海レバーリー鋼業(株) 上野百貨店

豊田通商(株) 浅田隆司

西野公庸

竹之上誠剛

日鐵物流(株)

南部建材工業(株)

三星金属工業(株)

藤田金属(株)

丸橋哲彦

北海鋼機(株)

自見産業(株)

東北支社

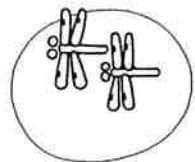
機動隊員等を励ます会

者場の広読

雑感—終戦記念日に思う—

藤瀬 宗績

(九州支部)



第二次大戦終結から半世紀を超えて、五十一回目の終戦記念日を迎えた八月十五日、東京の日本武道館で開かれた「全國戰没者追悼式」の模様をテレビニュースで見ながら、その日の夕刊に掲載された橋本首相の式辞の全文を読んだ。

「先の大戦が終わりを告げてから、早くも五十一年の歳月が過ぎ去りました。苦難に満ちた往時をしおぶとき、感慨今なお新たなものがあります。あの苛烈を極めた戦いの中で、祖國の安泰を願い、家庭を案じつゝ、戦場に散り、戦禍に倒れ……」と読み進むうちに、思い出していた。

終戦の時、中学二年生であつた私は、鎮西学徒通信隊の一員として速成の通信訓練をうけていた。生まれたのが満州事変の年ですから、生まれてからそれまで、いわば徹底した軍國主義教育を叩き込まれ、「悠久の大義に生きる」とか「死報國」「滅私奉公」などのスローガンの下に「欲しがりません勝つまでは」と唱えながら、物資や食糧が日ごとに不足してくる戦時下の窮乏に耐え、國家のために生命を投げ出すことに何の疑いをもつこともなく、当然のことと受けとめていた。

金メダルの重さ

天野 東和

(東京本部)

BS放送が一日二十三時間もオリエンピックの放送をしてだったので、夜遅く帰つてもついテレビの前に座ることが多くなり、寝不足の二週間が過ぎました。そんな訳で、普段あまり目にするこのない競技も含め、多くの種目を見ているうちに、いくつかの疑問が沸いてきたので、そのことを書いてみようと思います。

最初の疑問は、各種計測機器によつて一〇〇分の一秒までも客観的に判定するトラック競技や競泳など、一つに何の疑いをもつこともなく、当然複数の審判の目によつて判定する競技は果たして平等か、ということでした。

「欲しがりません勝つまでは」という式辞となっていたことにホッとした。「欲しがりません勝つまでは」という以外のなにものでもない。今でも侵略戦争を否定して自衛戦争であつたし、アジア解放のためであつたと主張する人は決して少なくないが、二十一世紀へ向けて日本の将来像を考えると、戦後の復興と経済の発展が平和に支えられていたことに目を据えるとともに歴史直視の必要をあらためて痛感した。

今でも侵略戦争を否定して自衛戦争であつたし、アジア解放のためであつたと主張する人は決して少なくないが、二十一世紀へ向けて日本の将来像を考えると、戦後の復興と経済の発展が平和に支えられていたことに目を据えるとともに歴史直視の必要をあらためて痛感した。

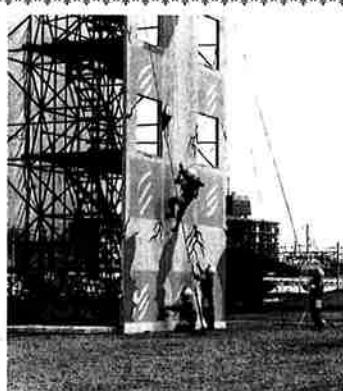
二つ目の疑問は、競技種目はどこまで増えるか、ということです。今ではオリエンピックや国際大会ですつかり定着した柔道も、東京オリンピックで正式種目になったときは、正直言つて主催国のメダル獲得数の面子のためかなと思つたものでした。オリエンピックも今後はアジアやアフリカの諸国で開催されることになるでしょう。そのためには主催国の得意な競技が増えてゆくような気がします。

最後は、同じ競技と言つても、体力の限界に挑戦して四一・一九五キロを走り抜くマラソンや、レスリング・ボクシングに代表される格闘技と、遊び感覚のビーチバレー(ビーチバレー協会さんごめんなさい)とが、同じ競技としてひとくくりにできるのか、といふ疑問でした。

こう見てくると、私の偏見かも知れませんが、金メダルの重さには差があるのかな? そんなことを感じたオリエンピック観戦でした。

防災の日

官民一体となつた訓練実施



◎八月二十六日午後二時十分ごろ、大阪市此花区桜島二丁目ゴルフ北港跡地において、大阪府警察第三機動隊が震災総合訓練のため、被災者救助訓練を実施中、隊員が地上約五メートル転落し、地上の隊員に衝突すると

写真はいずれも七都県市合同防災訓練の様子
※神奈川県警察提供

お知らせ

られた。訓練の内容は、住民による消防活動・救助・交通規制や倒壊家屋からの救助のみならず、電気・ガス・水道などの復旧等、様々な訓練が実施され、参加者全員が真剣な眼差しで取り組んだ。

訓練では、機動隊員の正確で機敏な行動はさすがにプロ、という印象を強く受けた。万が一災害が起つた時には住民の協力が不可欠なのは事実であるが、まさかに備えて常に厳しい訓練を重ねている機動隊員や自衛隊員の活躍はやはり別格であり、一般市民百姓の力であることを改めて実感させられた。災害が起らぬことを願うと同時に「備えあって憂いなし」の言葉を今一度噛みしめた一日であった。

活動・救助・交通規制や倒壊家屋からの救助のみならず、電気・ガス・水道などの復旧等、様々な訓練が実施され、参加者全員が真剣な眼差しで取り組んだ。

今月の言葉

近頃は奇々怪々な理解し難い事件が次々に起こる。薬害エイズ事件、O-O-1五七給食禍事件等枚挙にいとまがない。

血友病患者の非加熱血液製剤による薬害エイズ問題は四百人を超す死者を出し、遂に重大な刑事事件として当時の研究班長らと厚生省の責任が問わされている。またこの夏にはO-O-1五七型大腸菌による集団感染事件が起り、感染経路を特定できなくなってしまった。これらの犠牲者が出て深刻である。いずれも初期段階で迅速且つ適切な対策がとられて



第21回名古屋支部総会開催

若い熱気で包まれて



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



愛知県警察本部長
漆間巖 殿



中部管区警察局長
松崎彦彦 殿

備えあれば憂い無し

いればの感が強い。

学校給食のO-O-1五七禍について云えば、大量の食材を一括配送する点に集団中毒を懸念する声が早くからあり、起ころぐして起つたとの見方もある。早くから始まる配達は九時頃までかかり、

手に回り被害を増大させた点で、ここに是全く「備え」が無かつたと云われても仕方が無い。今や日本は情報化社会の先端に居るのだから世界の医事問題の最新情報を取りアラカルトにキャッチして、危険予知を含めた有事対応マニュアルを確立して欲しいと願わざるを得ない。即ち

統いて、本部の鈴木實理事長が挨拶に立ち、「日頃の訓練および警備活動ごく機動隊員としての『誇り』と『日本を愛する信念』をもって、重責を全うして欲しい」との激励の挨拶があつた。

し、冒頭、支部を代表し、宮田満世話

人代表(東海鋼材工業株式会社社長)

より、治安の要である機動隊の日頃の訓練および心身の鍛錬に敬意を、また多岐にわたる警備活動に感謝の意を表し、その労をねぎらうとともに、「これからも治安の良い平和な日本を築くべく、機動隊員としての『誇り』と『日本を愛する信念』をもって、重責を全うして欲しい」との激励の挨拶があつた。

ついで、愛知県警察本部長漆間巖殿より当会の日頃の支援に謝辞が述べられると共に「治安を預かる警察にとっては、取り組むべき課題が山積しておき、本年後半も依然として厳しい状況が続くと思われる。治安維持の『要』である各隊員は、「治安の闘士」たることを胸に秘め、たゆまぬ努力と訓練により、国民の期待に応えて欲しい」との激励のお言葉があつた。

および隊員の方に大変喜んでいた

立派なパフォーマンスに入った。

警察側ご来賓の代表挨拶に入り、中部管区警察局長松崎彦彦殿より当会の支援活動を進めております」と述べられ、諸活動に対する認識・理解を訴えられた。

そこで、愛知県警察機動隊長永井賢二殿から、我々励ます会会員に対し「お礼の言葉」が述べられるなども、会場の全員が一つの輪となり、「この世界には地域のボランティア活動が認められ、愛知県知事表彰を受賞」の歌や演奏とともに最高潮に達し、会場も割れんばかりの大拍手で、時間が経過するのも忘れる程の盛況であった。

かくする中、警察幹部・機動隊幹部

も時間を増す毎に熱気に満ち、アトラ

クションのサウンドグリーブ「サン

ド・アンド・ライト」(現在瀬戸署員が

中心となり老人ホーム、幼稚園、地域

冷蔵設備の不十分な学校では廃棄処分に意識と設備の両面で問題が無かつたか、管理の在り方を見直す必要がある。米国では、O-O-1五七型大腸菌の防疫態勢は万全と聞くに及び、厚生省の対応が後

「備えあれば憂い無し」である。
ところで暗い話題を吹き飛ばしてくれたのが米大リーグ、ドジャーズの野茂投手の快挙であろう。ナショナルリーグ最強のロッキーズ打線を相手のノーヒット

ノーランは見事である。素質や努力もさることながら、根性や度胸と云つた精神力が素晴らしい。彼に「心・技・体」を極めた希有の真的スポーツマンを見た気がする。

それに比べ、史上最大数の選手役員を送り込んだアトランタオリンピックは、前評判に反して惨敗であつた。選手達は日頃の実力を出し切れず、自己のベスト記録を更新できなかつた。「より速く、より高く、より強く」を合言葉に努力をしたであろうが、その前にもつと大切な最も基本となる「心」の鍛錬に課題を残したようである。

先日機動隊の観閲式に同席する機会を

得たが、最近は科学部隊や婦人部隊もあ

り、益々の充実ぶりに日進月歩の感を強くするに同時に、精悍且つ気迫のこもつた行進を目の当たりにして、日頃の弛まぬ厳しい鍛錬ぶりが窺われて大変頗もし感動した次第である。

日本国は治安のため日夜使命を全うされている機動隊員の皆さんへの努力に我々國民は感謝しなければならない。目に見えぬ卑劣な社会の破壊者達に対して「備え」を充分に、毅然と対処されることをお願い申し上げると共に、機動隊員と家族の皆さんの益々のご健勝を心からお祈り申し上げる次第です。

現在、アサヒビールはビール業界において、キリンビールに次ぐシェアを誇っていますが、「前例がない、だからやる」という本は、アサヒビール会長である樋口廣太郎氏がそれまでの経営不振に陥つていた会社をどのように立て直していったのかが書かれています。

その原因の一つとして、企業利益を追求するあまり、お客様をないがしろにしているという面がありました。そこで「お客様第一主義」への意識変換を行い、前例にないものへの挑戦が始まりました。この中には、社員の意識改革や情報の大切さ、著者独自の経営理念等が述べられています。

特に印象に残ったことは、常に前向きに取り組む意識を持つ重要性についてである。一偏にビールの味を変えると言つても、そもそも飲料品は味の嗜好に保守性があり、コカコーラのように味を変えることによって業績を悪化させた会社がいくつもあるとのことでした。しかし、あえてそれに挑戦し、スープードライ等のヒット商品を生み出すことになります。これは、先人達が残された財産を全て否定するということではなく、常に進歩していくかねばならないという事であり、この本には、この他にもいくつも私達警察官の仕事に相通じるものがあると述べられており、一読の価値はたくさんあると思います。

私がまだ子供の頃のことである。世界文学全集なるものが我が家にあった。まだ小さかった私は、別に気にも留めていなかつたのだが、中学生になり、世の中というものが気になり始めた頃、突然、文部省の「10月のテーマ」で「私の愛読書」を書くよう命ぜられた。そこで、この本の中でも、私の心を引きつけたのが、イギリス十九世紀の文豪、チャーチルズ・ディケンズの「大いなる遺産」という長編小説であった。「一人の貧しい鍛冶屋の少年が、ある日突然、莫大な遺産を相続し、その運命に翻弄される」というのも大変ユニークで、私は、主人公と同化し、泣き、笑い、またヒロインに淡い恋心を抱きながら夢中で読んだものである。最近になって、また読み返す機会を得たが、今回は、特にストーリーよりも作品の時代背景に感銘を受けた。時あたかも産業革命により資本主義の台頭してきた時代、資本家に苛酷な労働を虐げられた労働者のその心の乾きがディケンズをして、このような夢物語を創らせたのかもしれない。

文学は、その時代の人々の心を映す鏡と言えるだろう。西洋文学などと取つても、そもそも飲料品は味の嗜好に保守性があり、コカコーラのように味を変えることによって業績を悪化させた会社がいくつもあるとのことでした。しかし、あえてそれに挑戦し、スープードライ等のヒット商品を生み出すことになります。これは、先人達が残された財産を全て否定するということではなく、常に進歩していくかねばならないという事であり、この本には、この他にもいくつも私達警察官の仕事に相通じるものがあると述べられており、一読の価値はたくさんあると思います。

私の読書は、特にジャンルを問わず、いつでも、その本を手にするのに時間はかかりませんでした。そして表紙には、躍動感あふれる鯨の絵巻図。私は、即座に「これがいい」と思つたのでした。

物語の主人公甚助は、紀州・太地の鯨捕りですが、ある時、鯨漁の最中に、鯨に襲われ腕を失つてしましました。失意の底にある彼を、幕末の海防の要を説く侍、松平貞頼は、密偵に取り立てて琉球に送り込みました。密偵として活動する甚助は琉球で様々な苦難に出会い、ついに海外に目を向ける様になり、遂に外國人ジム・スカイとして新たな人生を歩んでいくのです。

その中で城山三郎という作家の『小さな戦士たち』という作品を皆さんに紹介したい。この作品は、風采の上がらぬ

夫をあきらめた妻が、身勝手な夢を子供に託し、妊娠、育児、更に成人に至るまで、徹底した管理、英才教育を施し、エリートに育て上げようとするのだが、意外にもその子供(長男)は、割り箸さえも割れないと、世間知らずの人間となってしまった。そして、皮肉にも自由奔放に育つた次男が、一流大学を経て一流企業に入社し、人生のサクセスストーリーを歩むという内容である。

私はこの作品から、「子供に対する愛情には、いかなる打算もあつてはならない」ということを学んだが、それは勤務や部下の指導育成にも通じている。予見しがたい不透明な時代だからこそ、無理・無駄をなくし、更に打算や妥協のない勤務を通じて、部下の指導育成に努めることの重要性を痛感する次第である。

現在、アサヒビールはビール業界において、キリンビールに次ぐシェアを誇っていますが、「前例がない、だからやる」という本は、アサヒビール会長である樋口廣太郎氏がそれまでの経営不振に陥つていた会社をどのように立て直していったのかが書かれています。

その原因の一つとして、企業利益を追求するあまり、お客様をないがしろにしているという面がありました。そこで「お客様第一主義」への意識変換を行い、前例にないものへの挑戦が始まりました。この中には、社員の意識改革や情報の大切さ、著者独自の経営理念等が述べられています。

警視庁第一機動隊
佐藤 高広10月のテーマ
私の
愛読書警視庁第二機動隊
三坂 太

私は、NHK大河ドラマ「信長」を見て、戦国時代を描いた歴史小説に興味をもつようになつた。そんな時、私が出会つたのは、「信長の愛弟子と呼ばれた名将」とのサブタイトルが付いた「蒲生氏郷」という一冊の本であった。この人物は、天才織田信長をして、その俊敏にして大胆な器量に舌を巻かせ、「我が後継者」とまで言わしめた名将である。

警視庁第五機動隊
木内 賢一

私は、N.H.K.大河ドラマ「信長」を見て、戦国時代を描いた歴史小説に興味をもつようになつた。そんな時、私が出会つたのは、「信長の愛弟子と呼ばれた名将」とのサブタイトルが付いた「蒲生氏郷」という一冊の本であった。この人物は、天才織田信長をして、その俊敏にして大胆な器量に舌を巻かせ、「我が後継者」とまで言わしめた名将である。

江洲日野六万石の小領主から身を興し、信長と秀吉という二人の天下人にはえた。その後、会津若松城主として、九二万石の大名に成長したが、天下への野望は、四〇歳の若さで病没したため潰えてしまつた。

氏郷は、三歳の時、織田信長に人質として差し出された。しかし、単なる人質として一生を送るのではなく、自ら信長の供として加えてもらえるよう願い出たのである。苦境の地において、死にもの狂いで努力する若い氏郷の姿には、途轍もない力量が感じられた。

やがて氏郷は、戦いに明け暮れる毎日の中で、信長の戦略の非情さに疑問を感じ、秀吉の処世感に引かれるようになる。信長を反面教師として、一流の戦術を身で覚えるながら成長していく氏郷は、信長の良き所、悪しき所を確実に見極めていた。

私は、このような隠忍自重の中で常に自己を磨いていくことを忘れない氏郷の生き方に、痛烈な感銘を受けたのである。

じて幕末期における日本の姿がドラマチックに描かれています。又、片手を失い、一度は鯨捕りを諦めた男が、様々な人間と出会い、苦難に立ち向かっていくことにより、再び海外で鯨捕りとしての人生を歩んでいく姿に、男のロマンが感じられて非常に感動しました。私もこの主人公の様に強く生きていきたいと思いました。

警視庁第六機動隊
河野 好輝

「脳内革命」、この本を読んだ事のない方は、この題名を聞くだけで重い内容と間違われそうですが、実はどうではなぐ、「ヘルシーライフのススメ」と言つた内容の本なのであります。

現在まだ明確になつてない「脳」であります。この本の内容は、脳の研究発表について書いてあります。

とにかくストレスの多い昨今、嫌だなと思う事が度々あります。それが脳に「毒」となつて作用しています。

そんな時、プラス発想をすると脳に良い働きをするといった内容であります。この本を読んだからといって人生観や思考まで変わるという訳ではありませんが、今まで落ち込んだりイライラしたりといった事が「プラス発想」のおかげであります。

又、このプラス発想は長生きや健康にも良いのでこれからも続けて行きたいと思います。

私は、この本を読みました。少しゆとりがもてるようになりました。

しかし、单なる人質として一生を送るのではなく、自ら信長の供として加えてもらえるよう願い出たのである。苦境の地において、死にもの狂いで努力する若い氏郷の姿には、途轍もない力量が感じられた。

やがて氏郷は、戦いに明け暮れる毎日の中で、信長の戦略の非情さに疑問を感じ、秀吉の処世感に引かれるようになる。信長を反面教師として、一流の戦術を身で覚えるながら成長していく氏郷は、信長の良き所、悪しき所を確実に見極めていた。

私は、このような隠忍自重の中で常に自己を磨いていくことを忘れない氏郷の生き方に、痛烈な感銘を受けたのである。

私は、この本を読みました。密偵として活動する甚助は、琉球で様々な苦難に出会い、ついに海外に目を向ける様になり、遂に外國人ジム・スカイとして新たな人生を歩んでいくのです。

その中で城山三郎という作家の『小さな戦士たち』という作品を皆さんに紹介したい。この作品は、風采の上がらぬ

立場の中、悪い方へとばかりに考えてい

るが結果は良い。医学の世界でも心で考えることは抽象的な観念などではなく、きちんと物質化されて良くも悪くも体に作用することである。云々とは、春山茂雄著「脳内革命」の一節です。

最近、私は警備訓練中に負傷し、入院治療のため勤務が出来ない時期がありましたが、その頃この本に出会いました。

立場の中、悪い方へとばかりに考えてい

た自分に、「天を憎むのではなく、自分が起る全てベストに思え」と記されている部分に特に、共感を覚えたのでした。自分の考えをプラス思考にすることによって回復も早く、元の状態に戻ることができたのも、私の心中でマイナス思考をプラス思考が打ち破ったことが大きな要因であると考えます。

「脳内革命」、この本に出会い良かったと思える事がまだ沢山あります。が、人間というのは「弱い」生き物であります。精神の強弱、硬軟等で人生を左右する事があるということを知りました。たとえ思っている事があるとしても、日々努力精進していく事です。

警視庁第八機動隊
金子 隆志

現在は、ケガも癒え勤務に従事していますが、「脳内革命」で読み得た知識を今後の力として、日々努力精進していく事です。

警視庁第九機動隊
蛭坂 隆

私は、見識を広め、感性を豊かにするには、続編が出たのである。その他、クラブ・カッスラー著作のダークピットシリーズ(海洋冒險小説)など次々と発刊されるのを楽しみにしている。

私は、見識を広め、感性を豊かにする意味で、今後も外国小説を愛読したい。

警視庁特科車両隊
長島 良太郎

医の鋭い感覚と知識を持つ対処しなければならないことを強く感じさせられた内容であった。

この本は、そういつた監察医の経験が興味深く書かれており、是非おすすめしたい一冊である。

大災害からの教訓を胸に

鹿児島県警察機動隊

任務の完遂
光れ機動隊

(学)嘉悦学園

高周波熱鍊(株)

(株)周東商会

東京テレメッシュージ(株)

大洋製鋼(株)

(株)日鐵流通センター

村山鋼材(株)

木村利秋(株)

大東港運(株)

岡谷鋼機(株)

橋山和正(株)

東海鋼材工業(株)

宮崎精鋼(株)

太陽シャーリング(株)

北越メタル(株)

早達運送(株)

クレイグ・トマス著作の『ファイヤー・フォックス』も後に映画化されたものであります。

小説(原作)と映画を見比べると面白い。主人公は冴えない英國情報員であるが、まさにスパイのプロであり、ソヴィエト情報部(KGB)や米国情報部(CIA)との対決、駆け引きなど奇想天外に展開する。特に防諜、尾行、KGBの内部組織については、仕事に役立つことが有り大変参考になつたものである。

私は、外国小説を愛読している。ジャンル別では、海洋冒險、スパイ小説、戦闘アクション、サスペンスなど幅広く読んでいます。

外国小説を読むきっかけとなつたのは、外事第一課勤務の時上司から、ロシンア人の名前で馴染むには、外国小説を読むのが良いと助言を受けたからである。最初は、長編で興味も無かつたことから、途中でやめたくなつたが、次第に面白くなりのめり込んでしまつた。

スパイ小説では、ブリーマントル著作のチャーリーマフィンシリーズが面白い。主人公は冴えない英國情報員であるが、まさにスパイのプロであり、ソヴィエト情報部(KGB)や米国情報部(CIA)との対決、駆け引きなど奇想天外に展開する。特に防諜、尾行、KGBの内部組織については、仕事に役立つことが有り大変参考になつたものである。

外国小説は、映画化されることもあり、小説(原作)と映画を見比べると面白い。『ファイヤー・フォックス』も後に映画化されたものである。

北から南から



災害訓練の様子。

鹿児島県では、古くから「犠牲者がないと梅雨はあけない」と言い伝えられ、また「台風銀座」とも呼ばれるほどの台風の常襲を受けやすい地形を有している。平成5年夏、本県は記録では、豪雨により大災害を被つた。梅雨期の長雨に続き8月1日、六日と、台風の集中豪雨、八月九日、九月三日の台風襲来に伴う大雨で県本土全域が連続的大雨災害に見舞われ、一連の災害により死者一二〇名、行方不明者一名の犠牲者を出したほか、家屋の倒壊七一軒では、今回の災害を「一〇〇年に一度あるかないかの大災害」と言われているが、本県警察にとつても、一棟、道路損壊八〇三ヶ所等大きな被害をもたらした。

巷では、今回の災害を「一〇〇年に一度あるかないかの大災害」と言われているが、本県警察にとつても、一棟、道路損壊八〇三ヶ所等大きな被害をもたらした。

災害警備の連続実施であった。

救助活動の在り方や、装備資器材の不備など多くの問題点に直面するとともに、貴重な教訓を得ることができた。

今本県警察では、装備資器材の年次計画的整備を図る一方、いかなる災害にもプロとして専門的技能を發揮できるよう、「災害に強い警察」を目指して、日々災害訓練に励んでいる。

我々警察官は、時として人の死に立ち会う職業であり、何よりも犯罪を許さない立場にあることから、死にいかない立場にあるところである。この著者も自分の経験から見て、検死をしなければならないと思われる死体を簡単に見過ごし、形式処理で終わらせている場合が多くあることを指摘している。

事件の背景、連合赤軍の恐ろしさ、陰険さ、そして機動隊員個々の活動も詳細に書かれ、教えられることも大変に多かった。二度とこの様な犯罪は起こさせない、絶対に許すことが出来ない犯罪である。

あさま山荘事件で活躍した先輩に、同じ機動隊員として誇りに思うとともに、先輩の築き残した栄光、そして伝統に恥じることがないよう努力精進しようとしている。

者場の広読

シーボルト展を見て
滋岡 長平

(東京本部)



幕末、日欧の文化交流に大きな業績を残したフランツ・フォン・シーボルトの生誕二百年を記念した展覧会が日本、オランダ、ドイツ及びオーストリア四カ国協力で実現した。私は六月の初め一日を費して、江戸東京博物館でその展示を見た。父フランツと次男ハイインリッヒの持ち帰ったコレクションは恐らく数千点を越えるであろうが、その中から精選された約七百点がライデン、ミュンヘン、及びワインの博物館からもたらされたのである。蒐集された物は、美術工芸品や動物植物の標本類も含まれるが、日本の食物、食器、調理具、化粧道具、衛生用品、茶道、香道、喫煙具、旅具、祭礼具、衣服、織維製品及び紙製品、家具、遊具玩具類の他、農具、漁具、建築用具及びその材料、凡て二十五分の一に縮小された人形や模型等々、國民生活と産業経済を網羅する豊富な物件や絵画でその多くは現代既に失われたものが多い。従つて十九世紀にタイムカプセルに閉じ込められた我々祖先の國民生活の諸相が万華鏡の如く開いて再現された感じがする。それと共に蘭印監督の調査要請を超えて、些事すら見逃さぬ徹底した科學的探求心はドイツ人固有の氣質であり、日本人と日本

文化に対する限りない彼の愛情と興味が偲ばれる。因に東京の展示は六月末を以て終り、八月から十一月十九日迄大阪の民族博物館で展示されるので一看をすすめたい。

云う迄もなく、シーボルトはドイツ名門の出身で俊秀の医者であると共に勝れた科學者であった。極東の魅力に惹かれて、オランダ政府の要請で軍医少佐として長崎蘭館に派遣されたのは三十歳のときであった。從来の医官と異なり長崎市民を診療して評判となり、彼の指導を求める医學生は全國から集つた。時の長崎奉行高橋重賢は衆望にこたえ、診療と學習のため鳴滝に家屋の新設を許可し逐次拡張した。最初の弟子は凌長安、美馬順三、岡研介であり、伊東石井、高伊藤、高野と續く中で高野長英は抜群の秀才であった。また世襲の通辞達、吉雄、櫛林両家の人々からも敬愛された。診療には殆ど対價を求めるなかつたから患者は礼物を持参し、彼のコレクションの手助けをしたりした。若くて怜俐な愛人其扇(そのぎ)滝を得たのは前年の秋であった。

一八二六年(文政九年)二月、彼は館長スチュアートに随行、画家川原慶賀らを伴つて、七月七日迄一四五日、念願の江戸参府旅行に出発する。彼の「参府紀行」に詳述されて居るが、水陸共に詳細な觀察を行つた地誌を記録した他、各地の名士と交流する。五月一日一十七日間江戸長崎屋に逗留、館長に随行、將軍家斎以下に表敬した外、島津重豪父子、桂川再賢、天文方高橋景保、最上徳内、間宮林藏、土生玄磧らと交流、相互に資料の交換を行つて居る。參府旅行の間、既に高名なシーボルトは商館長の嫉妬心に悩まされた。出島に帰つた翌一八二七年(文政十年)五月末、滄が稻を出港した。(稻は後年我が国最初の女医となる)翌二十八年にかけて平穏な日は續き蒐集品は逐次

稲佐浜で座礁、中から禁制の地図類が発見され、所謂シーボルト事件が起つてある。即ち十月、幕府の天文方兼書物奉行、高橋作左衛門景保は部下と共に逮捕され評定所で訊問を受け、交換を自供する。十二月長崎奉行所員は出島に赴き地図類の他の提出を求める。漸く地図一枚を提出するも、シーボルトは関係者を庇つて一切を黙秘し数回の取調にも屈しなかつた。三月二十日、高橋景保は獄死。六月二十一日長崎奉行所の訊問は終了。關係者一同逐次釋放され。シーボルトの不屈の精神と人柄は江戸、長崎でも却つて同情を生んだが、童頭蛇尾に終つたこの事件は一体何であつたのか。先づシーボルトは軍医であり、國王ウイレムやバダビア總督の命令で我國の軍事機密を探るスペインと次男ハイインリッヒの持ち帰つたコレクションは恐らく数千点を越える

稲佐浜で座礁、中から禁制の地図類が発見され、所謂シーボルト事件が起つての野外訓練を昭和三十七年富士登山を皮切りに毎年実施している。その間警備事象等により、何回か実施出来なかつた年もあつたが、富士五湖周辺や近郊の山岳地において実施することから、機動隊員にとつては楽しみの一つになつてゐる。

そして本年は、八月十八日(日)から八月二十八日(水)までの間、機動隊十個隊約二千八百名が、群馬県多野郡万場町所在の「みかば高原自然村」において野外訓練を実施した。

機動隊員は、平素における首都警備の激務や都内の喧騒から離れ、テントを設営して隊長以下全員大自然の中に溶け込み、普段経験することの出来ない「健脚訓練」や「球技大会」等を通じ、明日への銳気を養うとともに体力・体力の鍛磨に努めた。

隊員の中にはきのこ狩りに夢中になつてみたり、「童心」にかえりカブト虫やクワガタなどを採つてきては、他の隊員に自慢する者が出ていた。大いに自然を満喫していた。

また、夜間ににおける「バーベキュー」や「キャンプファイヤー」においては、

隠れた才能と個性豊かな演技も飛び出し、笑いの木靈が周辺の山々に尽きる

ことがなく、士氣の高揚と隊員相互の絆を結んだ彼が、帰國後ドイツで儲け

大 自 然 の 中 で 野 外 訓 練

警視庁機動隊



お知らせ

◎十一月六日(水)午後六時より、仙台市青葉区本町「ホテル仙台プラザ」

において、東北支部総会を開催いたします。

電話○二二二二六二一一

り、新潟市下大川通「新潟グランド

ホテル」において北陸支部総会を開催いたします。

電話○二五二二八一六二一

において、大阪支部総会を開催いたします。

電話○六一九四四一六五五五

皆さまの参加をお待ち申しあげます。

門弟知友と別れて、一八三〇年(文政

◎十一月三日(火)午後五時三十分より、新潟市下大川通「新潟グランド

電話○二二二二六二一一

り、新潟市下大川通「新潟グランド

電話○六一九四四一六五五五

皆さまの参加をお待ち申しあげます。

今月の言葉

中心であるこの地方を、天下に喧伝したのは、次の三つの出来事である。今回はその一つについて述べることにする。その一つとは弓削の道鏡が皇位をうかがった時、天皇の命で、和氣の清麻呂が宇佐八幡に遣わされ、その御神勅をいただき、これを防いだ一件である。今回は、宇佐八幡について述べることとする。では、宇佐八幡とは一體どのような神であろうか。

中津から車で十キロのこの小天地に、昔、宇佐の国造（みやっこ）と称する神様たちが存在していた。参道に足を運べば、太鼓橋の手前の右側に宮成家が、渡つて左側に到津家があるが、いづれも古事記や日本本書

過日 大事な方を案内して中津をまわつたが、何にも知らず十分な案内ができず恥ずかしい思いがしたので、故郷のことについて少し想いを向けてみることにした。出来上がったのがこの一文である。

中津市は昔「豊の国」と言われた。その

第20回 東北支部総会開催



本居宣長

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

「第二十二回東北支部総会並びに懇親パーティー」がさる十一月六日(水)午後六時よりホテル仙台プラザにおいて盛大に開催された。

ついで鈴木理事長は、「日頃の警備、警護活動及び凶悪犯罪への対応に取り組んでいる隊員の姿に感謝と敬意の意を表すとともに、励ます会としても一生懸命取り組んでまいります」と述べた。

会場は、ピアノ、テナーサックス、ドラムス、ベースによる生バンドによるBGMが流れ、中警察幹部、機動隊員、会員の輪が和やかな内にも熱気溢る。二。

私の故郷（豊前中津について）

過日、大事な方を案内して中津をまわつたが、何にも知らず十分な案内ができず恥ずかしい思いがしたので、故郷のことについて少し想いを向けてみることにした。出来上がったのがこの一文である。

中津市は、昔、「豊の国」と言われた。その中心であるこの地方を、天下に喧伝したのは次の三つの出来事である。今回はその一つについて述べることにする。その一つとは、弓削の道鏡が皇位をうかがつた時、天皇の命で、印氣の青猿呂が子左

紀時代から続いた古い家柄である。それらの先祖である宇狹津彦とその宇佐津姫が、昔、この地を支配していたが、その宇佐の神を奉るのが宇佐宮である。その宇佐宮の先祖が中津郊外の台上にあるコモ神社であつて、コモ神社のご神体は池である。宇佐八幡の最大の行事は、神職たちがやつてきてこの池のマコモを刈り取りこれをも

賞の講話が述べられ、一隊員の皆様の日々の活動に感謝の意を表し、「二十回を節目により一層の支援活動を充実させたい」と挨拶があった。

それでは宇佐宮はいつの時点から宇佐八幡宮となつたのであろうか、八幡神とは、どのような神様であつたのであろうか等々、色々と判らない点もあるが、一口に言うと秦氏と言う渡米族の神であつたようである。これが在地勢力の宇佐一族と会合して宇佐八幡が出現したと考えられる。そして、これらを演出した中心人物は、渡

れた。
次に、千賀孝理事（新日本製鐵株東北支店長）の乾杯の音頭により、懇親パーティに入った。

い隊員への支給を述べられた。
最後に、二階堂正男副支部長（東開工業
株常務取締役）の音頭で万歳三唱した後、
閉会の言葉で盛会裡に幕を閉じた。

「した」として、支部長に感謝状が贈呈された。

総会は栗林伸至評議員(日鐵商事)、東北支店長の司会で進められ、最初に支部を代表して東北支部長柴田秀次朗氏(日鐵)より感謝状を受けた。統いて宮城県警察本部長篠原弘志殿が挨拶に立ち、「近年の警備情勢は、予想つかない事案が発生している。厳しい情勢の中で、機動隊は『治安維持の最後の砦』として、日夜警備技術の鍛磨に努め、國民の付託に応えていく」と決意表明された。

高々に合唱した。
ここで、機動隊員による飛び入りのエール交換が行われ、会場の盛り上がりは最高潮に達した。続いて、岩手県機動隊長千葉俊夫殿から「御礼の言葉」が述べられるとともに今後の力強い決意表明と若

女性も数多く見受けられた。
総会に先立ち、二十周年を迎えた当支部に対し、東北管区警察局長並びに宮城県警察本部長より「多年にわたる機動的」との祝辞を受けた。

け機動隊員は集団警備力の要として、毎
区内外の警備等に日頃の訓練の成果を遺
憾なく發揮している。今後とも「一敵同
して任務を全うします」と力強い決意が

こうした中、ステージ上には各县機動隊員が掲げる隊旗と警察幹部及び当会役員が上がり、出席者全員が肩を組み込みました。

機動隊員等一五〇名のご出席をいただき、また当会からは本部の鈴木理事長をはじめ、支部役員、東北六県からの評議員一般会員等約三〇〇名の参加があり、

長浅川章殿より当会の支援活動に対する謝辞があり、「厳しい治安情勢の中で、故人警察は国民が安全で平穏な生活が出来るよう総力を挙げて取り組んでいる。とりや

「福引」が行われた。警察幹部及び当会役員が交互に登壇、抽選し、司会者が当選番号を読み上げると、そのたびに歓喜の声が上がり、次々と隊員に賞品が手渡され

「第二十回東北支部総会並びに懇親パーティー」がさる十一月六日(水)午後六時よりホテル仙台プラザにおいて盛大に開催された。

ついで鈴木實理事長は、「日頃の警備、警護活動及び凶悪犯罪への対応に取り組んでいた隊員の姿に感謝と敬意の意を表すとともに、励ます会としても一生懸命応援していくので頑張ってほしい」口の激励の言葉を述べられた。

会場は、ピアノ、テナーサックス、ドラムス、ベースによる生バンドによるBGMが流れる中、警察幹部、機動隊員、会員の輪が和やかな内にも熱気に満ちあふれた。

第一機動隊は、「国民文化祭とやま・警衛警備のため九月二・六日から六日間、隊長以下二六八名が富山県下へ特別派遣となりました。

派遣先での警衛警備という重要な任務であり、隊長から、「当庁は大警備時には、いつも道府県警の応援をいただいている。今回はその恩返しだ。」といわれ、私たちは、「失敗は許されない。厳しくても警備を完遂するぞ」と心に

〈今月のテーマ〉

今年の警備

今年も残すところわずか。米大統領来日警備など今年も数々の重大任務を果たしてきました。そこには、ベテラン隊員の信条に基づいた警備あり、新人隊員の目覚ましい成長などがあるようです。ここで隊員の方々に一年を振り返って頂きましょう。



ウム真理教関連警備のほか、米国大統領来日及び全国植樹祭に伴う警衛警備警備、その他の重要警備があり、警備計画に従事した一人として感慨無量です。

私は、警備計画の策定にあたり、三つの機を基本にしています。

この機とは、「天機」「人機」「地機」の三つです。

「天機」とは、時の流れの中で、「今だ！」という時のことです。これは、現場の実態や情報（問題点等）の伝達がタイミングよく行われることです。

「人機」とは、人の心や動きが適切な状態になつていること。特に一人ひとりが真剣に問題点を取り組み、「あの位置は警戒の盲点になつているのでは

私は、このような派遣を体験して富山県民の温かい励ましに感謝するとともに、各種警察活動には住民の協力が不可欠であることを再認識し、今後も使命感に燃えて仕事に従事していく決意を強めました。

強く刻み込み、富山県へ向かつたのであります。警衛沿道の実査の際、自分の担当区域を確認するために歩いてみると、画面で見るのは遠い大変広く、奉迎者も何人出るかわからないと言われ、正直言つて多少不安になりました。上司から「どんな問題点があつても、それに対処するのがプロの警備だ。」と言ふたのです。

準備の万全を期した。

一、気持ちの準備

投手が登板に合わせて集中力を高めていくように、私も新聞等、マスコミの警備関連情報に常に目・耳を向けて、情勢の厳しさを認識し、危機感と問題意識を持って警備に臨むべく、気持ちの準備に努めた。

二、体の準備

気力と体力は一対を成している。普段からの剣道の訓練は当然のこと、体のみの日も体力の維持向上に多くの時間を費やした。決して若くない私の体も、日々鍛えると、体力の向上が実感でき、それが仕事に対する自信にもつながつた。

A black and white portrait of Kanno Masahiro, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

であり、夜間は、更に車両の速度も増すことから、一瞬の気の緩みも許されない緊張の連続の警備でした。本警備により、警備現場の事前実査の重要性や装備資器材の有効的な活用方法、あるいは部隊間における綿密な連携プレー、無線の早さと正確さの重要性について身をもって体験することが出来ました。

また、ある当番日には、朝から雨が降り続き体が震えるほど寒さの中を踏ん張り、任務を全う出来たことは、私にも少しは忍耐がついたのではないかなと自信を持つことができました。

最終日、クリントン大統領一行が私の目の前を通過する際は、私の心の中でも、警視庁が一丸となつて警備に従事

第八機動隊に着隊し、早くも一年が過ぎましたが、この一年間で、数多くこの貴重な経験を積むことができました。中でも、本年の米国クリントン大統領来日警備では、当隊は高速道路対策に従事し、私は谷町ジャンクションで不審車両や右翼車両等の検挙及び阻止の任務に当たりました。

高速道路上での任務は、非常に危険であり、夜間は、更に車両の速度も増

「治にいて乱を忘れず」の戒めを肝に命じ、今後も警備の万全を期し、警備係員として「万策尽きて、なお一策」を合言葉に全力をもって取り組む覚悟である。

「治安の砦」としての機動隊の使命であるが、いつ、また身命を賭して、都民の安全を守る事態に遭遇するかはわからない。有事に際して強い力を発揮するのが、隊員一人ひとりの「やる気」に負うところが大きい。

一連のオウム真理教関連事件が発生した昨年に比べると、昨今の治安情勢は、比較的平穏に推移しているものの、

第四七回全国植樹祭に伴う一連の警衛警備、更には松本智津夫公判に伴う法務省地区対策警備等、幾多の警備任務を完遂し、都民の信頼と期待に応えることができた。

これらの警備を通じて感じたことは、かつて私が隊員当時経験した、集団警備力を必要とするデモ警備等が少なくなってきたている反面、少人数での活動が多くなってきており、隊員個々の「現場対応能力」の重要性である。特に警衛沿道対策等の任務においては、咄嗟の時の判断対応は、現場における隊員個々の力量にかかっており、

してきただから無事に通過して欲しくないと感じるような思いで警戒警備に従事しました。何事もなく、無事羽田から離陸した瞬間、長時間に亘る警備の労が報われ、基幹隊員として任務を完遂した喜びと充実感がこみ上げて来ました。

本年当隊は、初日の出暴走族対策警備を皮切りに、これまでクリントン米国大統領一行来日に伴う空港対策警備、第四七回全国植樹祭に伴う一連の警衛警護警備、更には松本智津夫公判に伴う法務省地区対策警備等、幾多の警備に従事し、一人の脱落者もなく、その任務を完遂し、都民の信頼と期待に応えることができた。

これらの警備を通じて感じたことは、かつて私が隊員当時に経験した、集団警備力を必要とするデモ警備等が少なくなってきており、隊員個々の活動が多くなってきており、隊員個々の「現場対応能力」の重要性である。

特に警衛沿道対策等の任務においては、咄嗟の時の判断対応は、現場における隊員個々の力量にかかっており、隊員一人ひとりの「やる気」に負うところが大きい。

一連のオウム真理教関連事件が発生した昨年に比べると、昨今の治安情勢は、比較的平穏に推移しているものの、いつ、また身命を賭して、都民の安全を守る事態に遭遇するかはわからない。有事に際して強い力を發揮するのが「治安の砦」としての機動隊の使命である。

本年も余すところわずかとなつたが、「治にいて亂を忘れず」の戒めを肝に命じ、今後も警備の万全を期し、警備係員として「万策尽きて、なお一策」を合言葉に全力をもつて取り組む覚悟で

北から南から



にっぽん
北から南から
横須賀の丘に咲く桜の花びらが、制帽にひらひらと落ちる頃、昭和五四年の東京サミット以来、十七年振りに米国大統領が今、神奈川の地に舞い降りようとしている。

クリントン米国大統領来県という歴史的大警備に部隊員の緊張がいやがうえにも最高潮に達していたその時、横須賀基地前に右翼団体が現れ、執拗に抗議街宣を行った。そこで、満を持して、我が第二機動隊「暴騒音取締部隊」の登場である。「現在〇〇デシベル」との測定班からの連絡に基づき警告を発するも、「一向に停止する気配がない。飛んだその瞬間、被疑者を現行犯逮捕したのである。後日、被疑者関係の家宅捜索において、けん銃及び多数の実弾を押収し、凶悪なテロリストを社会から隔離することができたのである。

神奈川県では、平成四年「拡声器の使用による暴騒音の規制に関する条例」が制定され以来、県機動隊を中心とした取締部隊が日夜、取締技能の向上、法令の研究等を重ね市民生活を脅かしてきた右翼団体の「暴騒音」に立ち向かい、県内において開催された「全教大会」に特別派遣され、被疑者を現行犯逮捕したところである。

我々は、この様な輝かしい実績を伝統のページに付け加えられるよう、今日もまた、精進しているところである。

今回の訓練を通じて、限られた時間内に被災者を救出するためには、指揮官的確な判断により、現有資器材を有効に活用して救助にあたらなければならぬことや、また、災害現場においては、隊員の二次災害の防止にも十分配慮して行わなければならないことなど、多くの教訓を得ることができた。

訓練では、まず先行情報班からの情報に基づいて、「雨水をろ過し飲料水を作り、併せて握り飯を作る補給訓練」、「ファイバースコープ及び生存者探査機を活用した生存者探査訓練」「煙の充満する車庫内でのガス測定器及び暗視カメラを使用した煙中捜索訓練」等を実施した。

今回の訓練を通じて、限られた時間内に被災者を救出するためには、指揮官的確な判断により、現有資器材を有効に活用して救助にあたらなければならぬことや、また、災害現場においては、隊員の二次災害の防止にも十分配慮して行わなければならないことなど、多くの教訓を得ることができた。

訓練では、まず先行情報班からの情報に基づいて、「雨水をろ過し飲料水を作り、併せて握り飯を作る補給訓練」、「ファイバースコープ及び生存者探査機を活用した生存者探査訓練」「煙の充満する車庫内でのガス測定器及び暗視カメラを使用した煙中捜索訓練」等を実施した。



また、より実戦的な訓練とするため、隊員には現場の状況を事前に知らせず指揮官が想定現場に応じて部隊の運用、資器材の選択等をその場で判断して被災者を救出する応用訓練を重点に実施した。



原稿・猪野剛彦さん
写真後方中央

栗田工業(株) 東鋼業(株) 山陽特殊製鋼(株) 高周波熱鍊(株)
木村政次(株) 三榮商会(株) 杉尾榮俊(株) 黒田一(株) 谷本鐵鋼(株)
中京製線(株) 明鋼材(株) 丸定産業(株) 三和鉄構建設(株)
堀口海運(株) 中越通運(株) 丸辻(株) 東北支社(株)

「暴騒音取締隊」の活躍

神奈川県警察機動隊

愛知県警察機動隊

「広域緊急援助隊」の実戦的な訓練

深度潜水訓練の実施について

愛媛県警察機動隊

第十二回機動隊対抗レスキュー技能競技大会

警視庁警備部

昨年は、オウム真理教関連事件の警備活動にあたり中止され、十月二三日、二年ぶりの開催となつた機動隊対抗レスキュー競技大会。さわやかな秋晴れの立川総合警備訓練場にて実施された。レスキュー隊、広域緊急救助隊、国際警察緊急救助隊の合計三七〇名の選手たちによる、工作資器材操作や渡橋、登ほん、そして事故車両からの救助などの競技種目を本番ながらに行われ競い合い、会場内は熱気に満ち溢れ大いに沸き上がっていた。本大会は、日頃の技能を腕試しする場であると共に、各隊それぞれの連携の高さが試される場でもあり、競技に出場していない選手たちも一緒にになって声援を送つていた。中には、白熱するあまり悔しさに涙する隊員、そしてその者の肩を抱き慰める仲間、そんな隊員間の絆の強さも垣間見られた。大会会長である板東警備部長より、今回の熱戦ぶりにお褒めの言葉を頂くと共に、今後のレスキュー活動への期待が述べられた。まず第一に救助のプロとしての技能向上。二つ目に工作資器材の開発改善と操作習熟。そして二つ目に二次災害の防止と自傷事故の防止を挙げられ、明日から救助活動への新たな思いを胸に大会の幕は閉じられた。



上約一〇〇メートル沖合の二箇所に沈めたアンカーの間を、経験のある先輩隊員と初体験の新隊員でバディを組み、り船艇の組立、操作訓練に始まり、海上航行・潜行・捜索・浮上等の反復訓練が実施されました。

本番さながらの訓練に全員が真剣に取り組み、緊張して臨んだ新隊員も、事故防止についての認識を強めるとともに潜水技術の向上についての決意を新たにし、事故なく無事訓練を終了しました。

